

総 務 文 教 委 員 会

令和 4 年 9 月 9 日 (金)
10 時 00 分 ~ 時 分
全 員 協 議 会 室

【委 員】 永見委員長、三浦副委員長、
肥後委員、大谷委員、芦谷委員、佐々木委員、西田委員

【議長・委員外議員】

【執行部】 砂川副市長

(総務部) 坂田総務部長、佐々木防災安全課長、山根人事課長、
湯浅行財政改革推進課長

(地域政策部) 邊地域政策部長(教育部社会教育担当部長)、岸本政策企画課長、
永田まちづくり社会教育課長(学校教育課社会教育担当課長)、
濱見人権同和教育啓発センター所長

(教育委員会) 岡田教育長、森脇教育部長、猪木迫教育部幼児教育担当部長、
松山教育総務課幼児教育担当課長、山口学校教育課長、
田中文化スポーツ課長

(消防本部) 琴野消防長、大橋警防課長

【事務局】 松井書記

【議 題】

1 陳情審査

- (1) 陳情第 53 号 (仮称) 長沢サブセンター建設に係る陳情について
- (2) 陳情第 54 号 浜田市庁舎管理規則第 7 条第 14 号に規定する別に定めるものを定める
要綱の第 2 条(1)(2)について、適用除外が必要な理由等の説明を求める
陳情について
- (3) 陳情第 55 号 浜田市の重要な計画にわかりやすい KGI の設定の検討を求める陳情に
ついて
- (4) 陳情第 56 号 浜田市の郷土資料館の資料についてデジタル化の具体的な検討を求める
陳情について
- (5) 陳情第 62 号 元職員の処分隠ぺいの可能性について、「白」明言の検討を求める陳情
について

2 議案第 53 号 浜田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について

3 議案第 55 号 浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について

4 議案第 56 号 浜田市幼児教育センター条例の制定について

5 同意第 2 号 浜田市教育委員会委員の任命について

6 同意第 3 号 人権擁護委員候補者の推薦について

(裏面あり)

7 執行部報告事項

- (1) 台風 11 号による被害状況等について【防災安全課】
- (2) 周布川の増水時の対策について【防災安全課】
- (3) 浜田市の災害協定について【防災安全課】
- (4) 浜田市総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン及び総合戦略の進捗管理について【政策企画課】
- (5) 石見まちづくりセンター（仮称）長沢サブセンター建設整備計画に係る検討状況について【まちづくり社会教育課】
- (6) 令和 4 年浜田市成人式（延期分）の開催について【まちづくり社会教育課】
- (7) （仮称）浜田市人権尊重のまちづくり条例の制定について【人権同和教育啓発センター】
- (8) 浜田高校硬式野球部甲子園出場への応援に向けたふるさと納税型クラウドファンディングの実施結果について（速報値）【学校教育課】
- (9) 浜田郷土資料館見学会の開催状況について【文化スポーツ課】
- (10) その他

8 所管事務調査

- (1) 市職員の特別休暇取得状況について【人事課】
- (2) 市職員の新型コロナウイルス感染症感染による業務への影響について【人事課】
- (3) コロナ禍の部活動中止の対応について【学校教育課】
- (4) ふるさと郷育の現状について【学校教育課】
- (5) 救急搬送の現状について【警防課】

9 その他

- ・【要望書】令和 5 年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い
(委員会に配付)

10 【取組課題】多様性社会の推進について（委員間で協議）

令和 4 年 9 月浜田市議会定例会議 条例議案新旧対照表

（総務文教委員会）

新 旧 対 照 表 の 見 方

1 最上部に一部改正する条例の名称及び条例番号を表記しています。

2 新旧対照表の表記は、次のとおりです。

- (1) 左欄の「現行」が改正前、右欄の「改正後（案）」が改正後の内容
- (2) 改正のある条のみ表記
- (3) 改正のある条の中の改正のない項及び号は「〔略〕」で表記
- (4) 変更のある箇所を下線で表記

〔新旧対照表例〕

浜田市●●●条例（平成●●年浜田市条例第●●号）新旧対照表 （下線部分が改正箇所）

現行	改正後（案）
（見出し） 第●条 市長は、○○○○○○○○、 <u>●●●●</u> とする。 2 〔略〕	（見出し） 第●条 市長は、○○○○○○○○、 <u>▲▲▲▲</u> とする。 2 〔略〕

目 次

議案第53号	浜田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	…	1ページ
議案第55号	浜田市立幼稚園条例の一部を改正する条例について	…	8ページ

現行	改正後（案）
<p>（育児休業をすることができない職員）</p> <p>第2条 育児休業法第2条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)・(2) 〔略〕</p> <p>〔新設〕</p> <p>(3) 次のいずれかに該当する非常勤職員 以外の非常勤職員</p> <p>ア 次のいずれにも該当する非常勤職員</p> <p>(ア) その養育する子（育児休業法第2条第1項に規定する子をいう。以下同じ。）が1歳6月に達する日（以下「1歳6月到達日」という。）（第2条の4</p> <hr/> <p>の規定に該当する場合にあっては、2歳 に達する日）までに、その任期（任期が更新される場合にあっては、更新後のもの）が満了すること及び任命権者を同じくする職（以下「特定職」という。）に引き続き採用されないことが明らかでない非常勤職員</p> <p>(イ) 〔略〕</p> <p>イ 第2条の3第3号に掲げる場合に該当する非常勤職員（その養育する子が1歳に達する日（以下この号及び同条において「1歳到達日」という。）（当該子について当該非常勤職員がする育児休業の期間の末日とされた日が当該子の1歳到達日後である</p>	<p>（育児休業をすることができない職員）</p> <p>第2条 育児休業法第2条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。</p> <p>(1)・(2) 〔略〕</p> <p>(3) 浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成27年浜田市条例第40号）第4条第3項の規定により任期を定めて採用された短時間勤務職員</p> <p>(4) 非常勤職員であって、次のいずれかに該当するもの 以外の非常勤職員</p> <p>ア 次のいずれにも該当する非常勤職員</p> <p>(ア) その養育する子（育児休業法第2条第1項に規定する子をいう。以下同じ。）が1歳6月に達する日（以下「1歳6月到達日」という。）（当該子の出生の日から第3条の2に規定する期間内に育児休業をしようとする場合にあっては当該期間の末日から6月を経過する日、第2条の4の規定に該当する場合にあっては当該子が2歳に達する日）までに、その任期（任期が更新される場合にあっては、更新後のもの）が満了すること及び任命権者を同じくする職（以下「特定職」という。）に引き続き採用されないことが明らかでない非常勤職員</p> <p>(イ) 〔略〕</p> <p>イ 次のいずれかに該当する非常勤職員</p> <hr/> <hr/> <hr/>

現行	改正後（案）
<p><u>場合にあっては、当該末日とされた日）において育児休業をしている非常勤職員に限る。）</u></p> <p>〔新設〕</p> <p>〔新設〕</p> <p><u>ウ その任期の末日を育児休業の期間の末日とする育児休業をしている非常勤職員であって、当該育児休業に係る子について、当該任期が更新され、又は当該任期の満了後に特定職に引き続き採用されることに伴い、当該任期の末日の翌日又は当該引き続き採用される日を育児休業の期間の初日とする育児休業をしようとするもの</u></p> <p>（育児休業法第2条第1項の条例で定める日）</p> <p>第2条の3 育児休業法第2条第1項の条例で定める日は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める日とする。</p> <p>(1)・(2) 〔略〕</p>	<p><u>（ア） その養育する子が1歳に達する日（以下「1歳到達日」という。）（当該子について当該非常勤職員が第2条の3第2号に掲げる場合に該当してする育児休業の期間の末日とされた日が当該子の1歳到達日後である場合にあっては、当該末日とされた日。以下この（ア）において同じ。）において育児休業をしている非常勤職員であって、同条第3号に掲げる場合に該当して当該子の1歳到達日の翌日を育児休業の期間の初日とする育児休業をしようとするもの</u></p> <p><u>（イ） その任期の末日を育児休業の期間の末日とする育児休業をしている非常勤職員であって、当該任期を更新され、又は当該任期の満了後引き続いて特定職に採用されることに伴い、当該育児休業に係る子について、当該更新前の任期の末日の翌日又は当該採用の日を育児休業の期間の初日とする育児休業をしようとするもの</u></p> <p>〔削る〕</p> <p>（育児休業法第2条第1項の条例で定める日）</p> <p>第2条の3 育児休業法第2条第1項の条例で定める日は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、当該各号に定める日とする。</p> <p>(1)・(2) 〔略〕</p>

現行	改正後（案）
<p>(3) <u>1歳から1歳6月に達するまでの子を養育するため、非常勤職員が当該子の1歳到達日（当該子を養育する非常勤職員が前号に掲げる場合に該当してする育児休業又は当該非常勤職員の配偶者が同号に掲げる場合若しくはこれに相当する場合に該当してする地方等育児休業の期間の末日とされた日が当該子の1歳到達日後である場合にあっては、当該末日とされた日（当該育児休業の期間の末日とされた日と当該地方等育児休業の期間の末日とされた日が異なるときは、そのいずれかの日））の翌日（当該子の1歳到達日後の期間においてこの号に掲げる場合に該当してその任期の末日を育児休業の期間の末日とする育児休業をしている非常勤職員であって、当該任期が更新され、又は当該任期の満了後に特定職に引き続き採用されるものにあつては、当該任期の末日の翌日又は当該引き続き採用される日）を育児休業の期間の初日とする育児休業をしようとする場合であつて、次に掲げる場合のいずれにも該当するとき 当該子の1歳6月到達日</u></p> <p>〔新設〕</p>	<p>(3) <u>1歳から1歳6月に達するまでの子を養育する非常勤職員が、次に掲げる場合のいずれにも該当する場合（当該子についてこの号に掲げる場合に該当して育児休業をしている場合であつて第3条第7号に掲げる事情に該当するときはイ及びウに掲げる場合に該当する場合、市長が定める特別の事情がある場合にあってはウに掲げる場合に該当する場合） 当該子の1歳6月到達日</u></p> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <p>ア <u>当該非常勤職員が当該子の1歳到達日（当該非常勤職員が前号に掲げる場合に該当してする育児休業又は当該非常勤職員の配偶者が同号に掲げる場合若しくはこれに相当する場合に該当してする地方等育児休業の期間の末日とされた日が当該子の1歳到達日後である場合にあっては、当該末日とされた日（当該育児休業の期間の末日とされた日と当該地方等育児休業の期間の末日とされた日が異なるときは、そのいずれかの日））の翌日（当該配偶者がこの号に掲げる場合又はこれに相当する場合に該当して地方等育児休業をする場合にあっては、当該地方等育児休業の期間の末日とされた日の翌日以前の日）を育児休業の期間の初日とする育児休業をしようとする場合</u></p>

現行	改正後（案）
<p>ア 当該子について、当該非常勤職員が当該子の1歳到達日（当該非常勤職員が_____する育児休業の期間の末日とされた日が当該子の1歳到達日後である場合にあっては、当該末日とされた日）において育児休業をしている場合又は当該非常勤職員の配偶者が当該子の1歳到達日（当該配偶者が_____する地方等育児休業の期間の末日とされた日が当該子の1歳到達日後である場合にあっては、当該末日とされた日）において地方等育児休業をしている場合</p> <p>イ 〔略〕 〔新設〕</p> <p>（育児休業法第2条第1項の条例で定める場合）</p> <p>第2条の4 <u>育児休業法第2条第1項の条例で定める場合は、1歳6月から2歳に達するまでの子を養育するため、非常勤職員が当該子の1歳6月到達日の翌日（当該子の1歳6月到達日後の期間においてこの条の規定に該当してその任期の末日を育児休業の期間の末日とする育児休業をしている非常勤職員であって、当該任期が更新され、又は当該任期の満了後に特定職に引き続き採用されるものにあつては、当該任期の末日の翌日又は当該引き続き採用される日）を育児休業の期間の初日とする育児休業をしようとする場合であつて、次の各号のいずれにも該当するときとする。</u></p> <p>〔新設〕</p>	<p>イ 当該子について、当該非常勤職員が当該子の1歳到達日（当該非常勤職員が前号に掲げる場合に該当してする育児休業の期間の末日とされた日が当該子の1歳到達日後である場合にあっては、当該末日とされた日）において育児休業をしている場合又は当該非常勤職員の配偶者が当該子の1歳到達日（当該配偶者が同号に掲げる場合又はこれに相当する場合に該当してする地方等育児休業の期間の末日とされた日が当該子の1歳到達日後である場合にあっては、当該末日とされた日）において地方等育児休業をしている場合</p> <p>ウ 〔略〕</p> <p>エ <u>当該子について、当該非常勤職員が当該子の1歳到達日（当該非常勤職員が前号に掲げる場合に該当してする育児休業の期間の末日とされた日が当該子の1歳到達日後である場合にあっては、当該末日とされた日）後の期間においてこの号に掲げる場合に該当して育児休業をしたことがない場合</u></p> <p>（育児休業法第2条第1項の条例で定める場合）</p> <p>第2条の4 <u>育児休業法第2条第1項の条例で定める場合は、1歳6月から2歳に達するまでの子を養育する非常勤職員が、次の各号に掲げる場合のいずれにも該当する場合（当該子についてこの条の規定に該当して育児休業をしている場合であつて次条第7号に掲げる事情に該当するときは第2号及び第3号に掲げる場合に該当する場合、市長が定める特別の事情がある場合にあっては同号に掲げる場合に該当する場合）とする。</u></p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>(1) 当該非常勤職員が当該子の1歳6月到達日の翌日（当該非常勤</p>

現行	改正後（案）
<p>(1) 〔略〕</p> <p>(2) 〔略〕</p> <p>〔新設〕</p> <p><u>（育児休業法第2条第1項ただし書の条例で定める期間）</u></p> <p>第2条の5 育児休業法第2条第1項ただし書の条例で定める期間は、57日間とする。</p> <p>（育児休業法第2条第1項ただし書の条例で定める特別の事情）</p> <p>第3条 育児休業法第2条第1項ただし書の条例で定める特別の事情は、次に掲げる事情とする。</p> <p>(1)～(4) 〔略〕</p> <p>(5) 育児休業（この号の規定に該当したことにより当該育児休業に係る子について既にしたものを除く。）の終了後、3月以上の期間を経過したこと（当該育児休業をした職員が、当該育児休業の承認の請求の際育児休業により当該子を養育するための計画について育児休業等計画書により任命権者に申し出た場合に限る。）。</p> <p>(6) 〔略〕</p> <p>(7) 第2条の3第3号に掲げる場合に該当すること又は第2条の4の規定に該当すること。</p> <p>(8) <u>その任期</u>の末日を育</p>	<p><u>職員の配偶者がこの条の規定に該当し、又はこれに相当する場合に該当して地方等育児休業をする場合にあっては、当該地方等育児休業の期間の末日とされた日の翌日以前の日）を育児休業の期間の初日とする育児休業をしようとする場合</u></p> <p>(2) 〔略〕</p> <p>(3) 〔略〕</p> <p>(4) 当該子について、当該非常勤職員が当該子の1歳6月到達日後の期間においてこの条の規定に該当して育児休業をしたことがない場合</p> <p>〔削る〕</p> <p>〔削る〕</p> <p>（育児休業法第2条第1項ただし書の条例で定める特別の事情）</p> <p>第3条 育児休業法第2条第1項ただし書の条例で定める特別の事情は、次に掲げる事情とする。</p> <p>(1)～(4) 〔略〕</p> <p>〔削る〕</p> <p>(5) 〔略〕</p> <p>(6) 第2条の3第3号に掲げる場合に該当すること又は前条の規定に該当すること。</p> <p>(7) 任期を定めて採用された職員であって、当該任期の末日を育</p>

現行	改正後（案）
<p> 児休業の期間の末日とする育児休業をしている非常勤職員が、当該育児休業に係る子について、当該任期が更新され、又は当該任期の満了後に特定職に引き続き採用されることに伴い、当該任期の末日の翌日又は当該引き続き採用される日を育児休業の期間の初日とする育児休業をしようとする。 </p> <p>〔新設〕</p> <p>〔新設〕</p> <p>（育児短時間勤務の終了の日の翌日から起算して1年を経過しない場合に育児短時間勤務をすることができる特別の事情）</p> <p>第11条 育児休業法第10条第1項ただし書の条例で定める特別の事情は、次に掲げる事情とする。</p> <p>(1)～(5) 〔略〕</p> <p>(6) 育児短時間勤務（この号の規定に該当したことにより当該育児短時間勤務に係る子について既にしたものを除く。）の終了後、3月以上の期間を経過したこと（当該育児短時間勤務をした職員が、当該育児短時間勤務の承認の請求の際育児短時間勤務により当該子を養育するための計画について育児休業等計画書により任命権者に申し出た場合に限る。）。</p> <p>(7) 〔略〕</p> <p>（育児短時間勤務をしている職員についての浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の特例）</p> <p>第15条の2 育児短時間勤務をしている職員についての浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例（平成27年浜田市条例第40号）の</p>	<p> 児休業の期間の末日とする育児休業をしているものが、当該任期を更新され、又は当該任期の満了後引き続いて特定職に採用されることに伴い、当該育児休業に係る子について、当該更新前の任期の末日の翌日又は当該採用の日を育児休業の期間の初日とする育児休業をしようとする。 </p> <p>（育児休業法第2条第1項第1号の人事院規則で定める期間を基準として条例で定める期間）</p> <p>第3条の2 育児休業法第2条第1項第1号の人事院規則で定める期間を基準として条例で定める期間は、57日間とする。</p> <p>（育児短時間勤務の終了の日の翌日から起算して1年を経過しない場合に育児短時間勤務をすることができる特別の事情）</p> <p>第11条 育児休業法第10条第1項ただし書の条例で定める特別の事情は、次に掲げる事情とする。</p> <p>(1)～(5) 〔略〕</p> <p>(6) 育児短時間勤務（この号の規定に該当したことにより当該育児短時間勤務に係る子について既にしたものを除く。）の終了後、3月以上の期間を経過したこと（当該育児短時間勤務をした職員が、当該育児短時間勤務の承認の請求の際育児短時間勤務により当該子を養育するための計画について育児短時間勤務計画書により任命権者に申し出た場合に限る。）。</p> <p>(7) 〔略〕</p> <p>（育児短時間勤務をしている職員についての浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の特例）</p> <p>第15条の2 育児短時間勤務をしている職員についての浜田市一般職の任期付職員の採用等に関する条例_____の</p>

現行	改正後（案）
規定の適用については、次の表の左欄に掲げる同条例の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。	規定の適用については、次の表の左欄に掲げる同条例の規定中同表の中欄に掲げる字句は、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。
〔略〕	〔略〕

浜田市立幼稚園条例（平成17年浜田市条例第91号）新旧対照表 （下線部分が改正箇所）

現行	改正後（案）										
<p>（名称及び位置）</p> <p>第3条 幼稚園の名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <table border="1" data-bbox="107 347 1122 764"> <thead> <tr> <th>名称</th><th>位置</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浜田市立原井幼稚園</td><td>浜田市高田町65番地ノ6</td></tr> <tr> <td>浜田市立石見幼稚園</td><td>浜田市黒川町3753番地</td></tr> <tr> <td>浜田市立長浜幼稚園</td><td>浜田市熱田町820番地1</td></tr> <tr> <td>浜田市立美川幼稚園</td><td>浜田市内田町1117番地2</td></tr> </tbody> </table> <p>〔新設〕</p> <p>〔新設〕</p>	名称	位置	浜田市立原井幼稚園	浜田市高田町65番地ノ6	浜田市立石見幼稚園	浜田市黒川町3753番地	浜田市立長浜幼稚園	浜田市熱田町820番地1	浜田市立美川幼稚園	浜田市内田町1117番地2	<p>（名称及び位置）</p> <p>第3条 幼稚園の名称及び位置は、次のとおりとする。</p> <p>〔削る〕</p> <p>(1) 名称 浜田市立浜田幼稚園</p> <p>(2) 位置 浜田市熱田町820番地1</p>
名称	位置										
浜田市立原井幼稚園	浜田市高田町65番地ノ6										
浜田市立石見幼稚園	浜田市黒川町3753番地										
浜田市立長浜幼稚園	浜田市熱田町820番地1										
浜田市立美川幼稚園	浜田市内田町1117番地2										

台風 11 号による被害状況等について

1 気象情報

- ・ 9 月 6 日 2 時 36 分 暴風、波浪、高潮警報発表
- ・ 9 月 6 日 14 時 58 分 暴風、波浪、高潮警報解除

2 台風 11 号の状況（※浜田市最接近時刻 6 日 9 時 00 分時点）

- ・ 中心気圧 965hPa 最大風速 35m/s、最大瞬間風速 50m/s
- ・ 最大風速（浜田） 6 日 9 時 32 分 16.3m/s
- ・ 最大瞬間風速（浜田） 6 日 8 時 08 分 27.8m/s

3 被害状況 ※7 日 15 時 00 時点

- ・ 人的被害 なし
- ・ 住宅被害 床下浸水 なし、床上浸水 なし
- ・ 非住家被害 2 戸（床下浸水）
- ・ 道路冠水 市道 6 路線、私道 1 路線

【通行止め】

- ① 市道浜田 277 号線（港町 ゆめタウン浜田付近） 延長 70m
通行止め：9 月 6 日 7 時 30 分から 15 時 30 分まで
- ② 市道浜田 260 号線（瀬戸ヶ島町 厳島神社付近） 延長 110m
通行止め：9 月 6 日 7 時 40 分から 15 時 30 分まで
- ③ 市道浜田 15 号線（外ノ浦町 対岸側） 延長 290m
通行止め：9 月 6 日 9 時 00 分から 15 時 30 分まで

【道路冠水のみ】

- ④ 市道浜田 271 号線（港町 テックランド浜田港町付近） 延長 90m
- ⑤ 市道浜田 275 号線（港町 テックランド浜田港町付近） 延長 50m
- ⑥ 市道浜田停車場港町線（港町 西川病院付近） 延長 80m
- ⑦ 私道（港町 アクティブ工房付近） 延長 20m
- ・ その他被害 市道等への倒木 10 件（撤去済）
- ・ 停電情報 配電線故障により蛭子町、真光町、新町、杉戸町、竹迫町、天満町、野原町の約 90 戸に停電発生（15 時 02 分復旧済）

4 避難所の開設状況

- ・ 5 日 18 時 00 分 市内全域で自主避難所（14 箇所）を開所
（内訳）浜田 4 箇所、金城 6 箇所、旭 1 箇所、弥栄 2 箇所、三隅 1 箇所
- ・ 6 日 14 時 58 分 市内全域の自主避難所（14 箇所）を閉所

5 避難状況

- ・ 最大避難者数 3 世帯 3 名（6 日 8 時 00 分時点）
（雲城まちづくりセンター 1 世帯 1 名、三隅支所 1 世帯 1 名、
安城まちづくりセンター 1 世帯 1 名）

周布川の増水時の対策について

1 周布川流域の避難情報発令判断基準の見直しについて

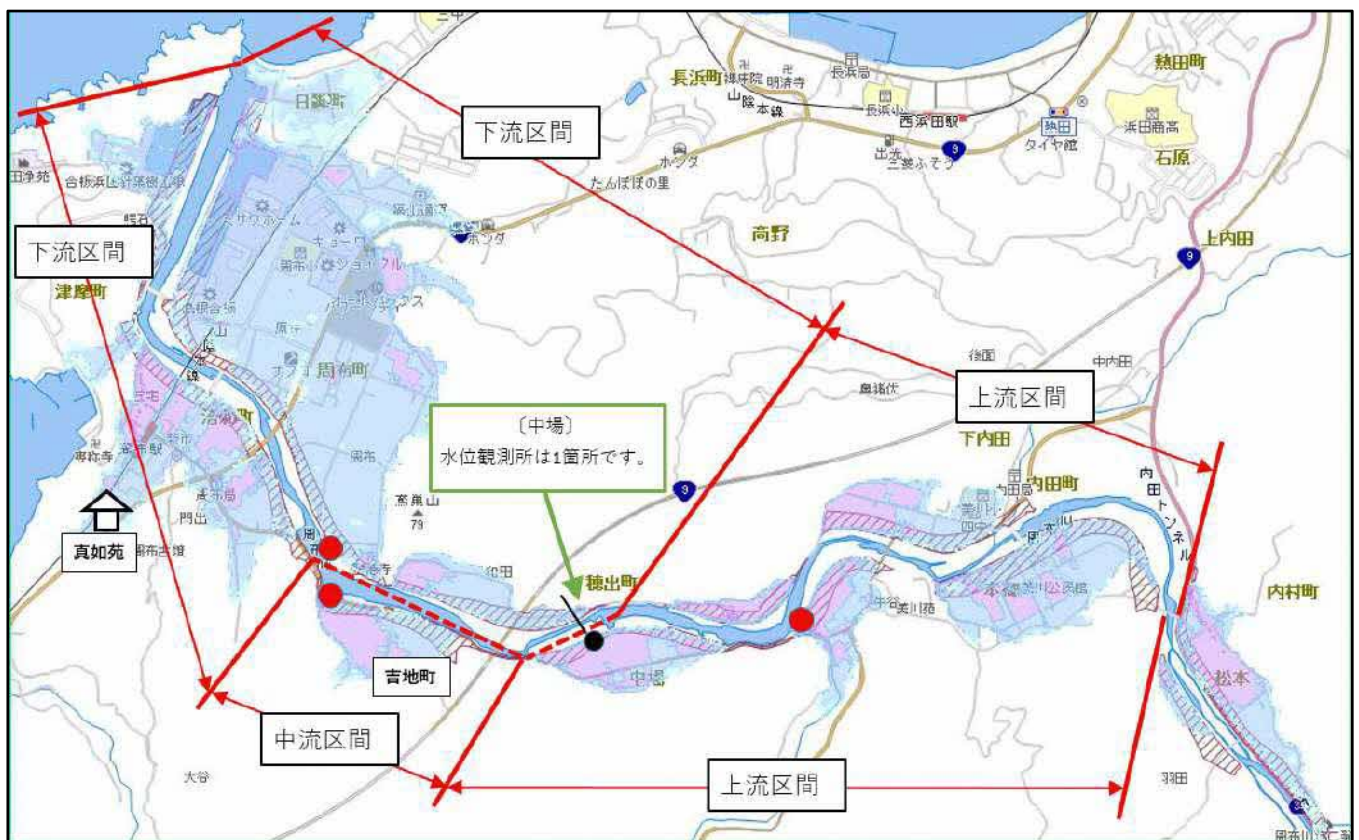
これまで、穂出町中場水位観測所における水位観測により、周布川流域全体に同時に避難情報を発令していたが、島根県河川課の水位基準の見直しを踏まえ、以下のとおり、避難情報の判断・伝達マニュアルの内容を見直した。

その後、周布川流域の行政連絡員等に7月14日・15日に説明会を行うとともに、流域の住民に対して全戸回覧を行った。

区域	避難情報（高齢者等避難）発令の判断水位	発令のタイミング
上流域	中場水位観測所の水位が 3.60m に到達で高齢者等避難の発令を判断	これまでより遅い
	中場水位観測所の水位が 3.80m に到達で避難指示の発令を判断	
中流域	中場水位観測所の水位が 2.90m に到達で高齢者等避難の発令を判断	これまでと同じ
	中場水位観測所の水位が 3.10m に到達で避難指示の発令を判断	これまでより早い
下流域	中場水位観測所の水位が 4.80m に到達で高齢者等避難の発令を判断	これまでより遅い
	中場水位観測所の水位が 5.10m に到達で避難指示の発令を判断	

※ 上流域…穂出町、内田町、内村町 中流域…吉地町 下流域…日脚町、津摩町、周布町、治和町

【周布川流域の位置図】



(裏面へ)

2 暫定的な避難所の確保について

(1) 締結先 宗教法人真如苑島根支部（浜田市治和町ハ 9-11）

(2) 締結日 令和 4 年 7 月 25 日

(3) 想定災害 洪水害、土砂災害等の自然災害

(4) 経緯

周布川の水位上昇に伴う避難情報が最も早く発令される吉地町近辺に避難所として使用できる安全な建物がないことから、範囲を拡げて複数施設について検討を行い、暫定的な一時避難所として、施設を使用する覚書を締結した。

宗教法人真如苑は京都府など他自治体においても避難所として使用する協定を結んでいたことから、吉地町住民を含めて真如苑と折衝を行い、覚書締結に至った。

(5) 使用について

地域住民が、避難が必要と判断したとき、地域住民から真如苑島根支部に避難所開設を依頼し避難する。開設後は施設から市に連絡する。

3 避難所の確保について

周布川流域の東側においては、第三中学校が災害時の避難拠点となっているが、西側については、災害時に地域住民の避難拠点となる避難所がないため、この地域の避難所の確保を検討する必要がある。

今後、地元住民や関係課と意見交換を行いながら、周布川流域での適切な避難所の確保を図ってまいります。

浜田市の災害協定について

1 災害協定の目的

浜田市では、災害発生時に人的・物的支援を民間事業者や関係機関に求める場合等に備え、その内容をあらかじめ明文化し、速やかな災害対応を可能とすることを目的として、以下の団体と協定を締結しています。

2 浜田市の災害協定の一覧

件数	年度	締結日	内容	協定先(※)
1	8	平成8年2月1日	災害時の相互応援	県内市町村
2	17	平成17年6月2日	災害関連情報緊急放送	石見ケーブルビジョン(株)
3		平成19年2月19日	飲料水支援	(株)ケイ・エフ・ジー
4		平成19年2月19日	飲料水支援	コカ・コーラウエストジャパン(株)
5	18	平成19年2月19日	生活必需品支援	(株)ジュンテンドー
6		平成19年2月19日	生活必需品支援	(株)ナフコ浜田店
7		平成19年3月15日	消防相互応援	北広島町
8	19	平成20年3月24日	避難所指定	西日本電信電話(株)島根支店
9		平成20年3月24日	避難所指定	島根県歯科医師会
10	20	平成20年9月25日	緊急・救援輸送支援	(公社)島根県トラック協会浜田支部
11	21	平成21年8月19日	災害時の相互応援	益田市・長門市・萩市
12		平成22年2月12日	電気設備等の復旧支援	島根県電気工事工業組合浜田支部
13	23	平成23年7月1日	災害時の情報交換	国土交通省中国地方整備局
14		平成24年3月16日	災害時の相互応援	茨城県鉾田市
15	24	平成24年5月22日	防災対策協力	松江地方気象台
16		平成24年10月2日	災害時の相互応援	山陰都市連携協議会
17		平成26年2月6日	生活必需品支援	生活協同組合しまね
18	25	平成26年3月6日	緊急用LPガスの調達支援	(一社)島根県LPガス協会、(一社)島根県LPガス協会浜田支部
19		平成26年3月13日	特設公衆電話の設置・利用	西日本電信電話(株)島根支店
20	26	平成26年10月31日	災害時の緊急車両等への給油	島根石油(株)
21		平成26年10月31日	災害時の緊急用石油製品の調達	(株)浜田昭石、島根石油(株)
22		平成27年5月22日	水難事故時の救助活動	(特非)浜田ライフセービングクラブ
23	27	平成27年7月21日	災害時における優先的な給水	(独)国立病院機構浜田医療センター
24		平成27年8月10日	生活関連物資支援	(株)ポブラ
25		平成27年10月26日	災害時の福祉専門職の派遣協力等	島根県社会福祉協議会、島根県
26		平成28年1月29日	災害発生時における段ボール製品の調達	セッツカートン(株)
27		平成28年8月18日	災害に係る情報発信等	ヤフー(株)
28	28	平成28年10月1日	ダム放流警報施設情報伝達 (大長見・御部・第二浜田ダム)	島根県浜田県土整備事務所
29		平成28年11月14日	下水道管路施設の復旧支援	(公社)日本下水道管路管理業協会
30		平成29年3月10日	災害発生時における浜田市と郵便局の協力	浜田市内の全郵便局
31		平成29年3月29日	下水道施設の復旧支援	日本下水道事業団
32	29	平成29年12月22日	防災備蓄支援自動販売機設置	ダイードリンコ(株)
33		平成30年3月28日	災害時における地図製品等の供給	(株)ゼンリン
34	30	平成30年11月1日	災害時の相互応援	北広島町
35	R1	令和2年1月30日	災害時における情報発信及び防災啓発	(株)エフエム山陰、(株)山陰放送
36		令和2年2月4日	災害時における道の駅施設利用	国土交通省中国地方整備局浜田河川国道事務所
37		令和2年5月18日	停電に関する連絡・協力体制	中国電力ネットワーク(株)浜田営業所
38		令和2年9月28日	災害時における資機材レンタル	(株)ライト
39		令和2年9月28日	災害時におけるドローンによる協力	(株)ライト
40	R2	令和2年9月28日	災害時におけるバスによる緊急輸送等	(有)ぜん
41		令和2年9月28日	災害時におけるバスによる緊急輸送等	(有)浜田交通
42		令和2年9月28日	災害時における救援物資(食料品等)の供給	(株)油屋
43		令和2年9月28日	災害時における救援物資(食料品等)の供給	(株)吉寅商店
44		令和3年2月16日	災害時における物資供給に関する協定	NPO法人 コメリ災害対策センター
45		令和3年11月24日	災害時における介護資機材等のレンタル	(株)岩多屋
46	R3	令和3年12月20日	災害時における宿泊施設の提供等	ワシントンホテル(株)ワシントンホテルプラザ事業部
47		令和4年1月20日	災害時における資機材のレンタル	(株)ナガワ
48		令和4年8月25日	災害時における車両の提供等	(株)ホンダクリオ島根
49	R4	令和4年8月25日	災害時における支援協力	(株)イズミ

※協定先の名称は、協定締結時の名称となります。

浜田市総合振興計画、定住自立圏共生ビジョン 及び総合戦略の進捗管理について

1 進捗管理の対象計画について

以下の 4 つの計画について、K P I 等の達成状況調査及び内部評価を行うとともに、浜田市総合振興計画審議会による検証（意見交換）を行う。

なお、後期基本計画については、計画期間が令和 4 年度からであるため、進捗管理は来年度から実施する。

(1) 第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画

①計画期間	2016 年度～2021 年度（6 年間）の 6 年目
②目 標 数	144 項目 ※うち総合戦略抽出 52 項目
③評価方法	目標値に対する 2021 年度（令和 3 年度）実績値について、進捗状況の内部評価を行う。

(2) 浜田市定住自立圏共生ビジョン

①計画期間	2016 年度～2021 年度（6 年間）の 6 年目
②成果指標数	32 項目
③評価方法	総合振興計画に同じ。 成果指標の 32 項目については総合振興計画から抽出しているため、同じ進捗評価とする。

(3) 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(4) 浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス

①計画期間	2015 年度～2021 年度（7 年間）の 7 年目 ※戦略プラスは 2021 年度（1 年間）のみ
②基本目標の数値目標数	7 項目
③K P I 数	52 項目
④戦略プラス K P I 数	8 項目
⑤地方創生交付金 K P I 数	4 項目
⑥評価方法	総合振興計画に同じ。 総合振興計画と重複する K P I の 52 項目については同じ進捗評価とする。 戦略プラス及び地方創生推進交付金を活用した事業についても検証を行う。

2 進捗管理体制

(1) 内部協議

①名 称	総合振興計画等進捗管理会議
②構 成	18 名 ※市長、副市長、教育長及び部長（部長に相当する職位の者を含む。）及び市長が指名する職員をもって構成。

(2) 外部体制

①名 称	浜田市総合振興計画審議会
②委 員	25 名 ※団体推薦及び公募委員
③任 期	4 年間（2021 年度～2024 年度）
④所掌事務	「第 2 次浜田市総合振興計画」、「浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「浜田市定住自立圏共生ビジョン」の進捗管理

3 進捗管理スケジュール

〔2022 年度〕

時期		事務局・議会	内部（会議）	外部（審議会）
5 月	上旬			
	中旬			
	下旬	達成状況等照会		
6 月	上旬	↓		
	中旬			
	下旬	達成状況等回答		
7 月	上旬			
	中旬		進捗管理会議（19 日） ・進捗評価決定	
	下旬			
8 月	上旬			第 1 回審議会（9 日） ・内部評価説明 ・意見交換・検証
	中旬			
	下旬			
9 月	上旬	議会報告（9 日） （委員会）		
	中旬			
	下旬	議会最終報告（29 日） （全協）		
10 月	上旬			第 2 回審議会 ・最終報告 ・部会報告、意見交換
	中旬			
	下旬			

第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画の進捗評価について

【 総 括 】

平成 28 年度～令和 3 年度を計画期間とする第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画について、6 年間の取組結果の検証を行った。

(1) 目標達成率の状況

前期基本計画では、基本構想に掲げる 7 つの「まちづくりの大綱」に基づく『部門別計画』と、地域の個性を活かしたまちづくりを目指す『地域別計画』、そして『開かれた行政運営の推進』の大きく 3 つの計画の中で各目標を設定した。

それらの各目標において設定された目標値に、実績値がどれくらい近づいたかを示す【表 1】では、100%以上の達成率となった項目が評価対象全 139 項目中 52 項目（37.4%）となった。

また、計画別に見ると、100%以上達成された目標は、『部門別計画』では全 110 項目中 40 項目（36.4%）、『地域（自治区）別計画』では全 27 項目中 10 項目（37.0%）、『開かれた行財政運営の推進』では全 2 項目中 2 項目（100%）であった。

【表 1】目標達成率の状況（実績値における目標値までの到達割合）

	項目数	達成状況					
		100%以上	75%～ 100%未満	50%～ 75%未満	25%～ 50%未満	0%～ 25%未満	0%未満
部門別計画	110	40 (36.4%)	13 (11.8%)	12 (10.9%)	5 (4.5%)	10 (9.1%)	30 (27.3%)
Ⅰ 産業経済部門	26	7 (26.9%)	4 (15.4%)	3 (11.5%)	2 (7.7%)	2 (7.7%)	8 (30.8%)
Ⅱ 健康福祉部門	14	8 (57.2%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	3 (21.5%)
Ⅲ 教育文化部門	21	6 (28.6%)	3 (14.3%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)	2 (9.4%)	9 (42.9%)
Ⅳ 環境部門	6	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	2 (33.2%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)
Ⅴ 生活基盤部門	21	10 (47.6%)	1 (4.8%)	4 (19.0%)	1 (4.8%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)
Ⅵ 防災・防犯・消防部門	9	2 (22.2%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (33.4%)
Ⅶ 地域振興部門	13	6 (46.2%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	2 (15.3%)	3 (23.1%)
地域（自治区）別計画	27	10 (37.0%)	3 (11.1%)	5 (18.6%)	1 (3.7%)	3 (11.1%)	5 (18.5%)
1 浜田地域（自治区）	2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 金城地域（自治区）	5	4 (80.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
3 旭地域（自治区）	5	2 (40.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)
4 弥栄地域（自治区）	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	2 (28.5%)
5 三隅地域（自治区）	8	2 (25.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)	2 (25.0%)	1 (12.5%)
開かれた行財政運営の推進	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合 計	139	52 (37.4%)	16 (11.5%)	17 (12.2%)	6 (4.3%)	13 (9.4%)	35 (25.2%)

(2) 進捗評価の状況

目標達成に向けて計画どおりに進んでいるかどうかを示す【表 2】では、6 年間の取組成果として、計画どおり又はそれ以上の成果があった A 評価の項目が、評価対象全 139 項目中 57 項目（41.0%）となった。

また、計画別に見ると、A 評価の目標項目は、『部門別計画』では全 110 項目中 43 項目（39.1%）、『地域（自治区）別計画』では全 27 項目中 12 項目（44.5%）、『開かれた行財政運営の推進』では全 2 項目中 2 項目（100%）であった。

これらの項目の中には、新型コロナウイルス感染拡大以前の 4 年間に目標達成に向けて順調に進んでいた項目や、「ヒラメ稚魚育成尾数の増加」「携帯電話不感地域の解消」などのように感染拡大の影響をあまり受けなかったもの、あるいは「ふるさと郷育ネットワーク団体数の増加」「U・I ターン相談件数の増加」のように新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも対策を図り、目標を達成できた項目などがあった。

【表 2】進捗評価の状況（目標達成に向け 6 年間の取組が計画どおりかどうかを評価）

	項目数	進捗状況				
		A 評価	B 評価	C 評価	D 評価	E 評価
部門別計画	110	43 (39.1%)	41 (37.3%)	20 (18.2%)	6 (5.4%)	0 (0.0%)
Ⅰ 産業経済部門	26	7 (26.9%)	11 (42.4%)	7 (26.9%)	1 (3.8%)	0 (0.0%)
Ⅱ 健康福祉部門	14	8 (57.2%)	3 (21.4%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
Ⅲ 教育文化部門	21	6 (28.6%)	10 (47.6%)	5 (23.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
Ⅳ 環境部門	6	1 (16.7%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)
Ⅴ 生活基盤部門	21	12 (57.2%)	4 (19.0%)	4 (19.0%)	1 (4.8%)	0 (0.0%)
Ⅵ 防災・防犯・消防部門	9	2 (22.2%)	4 (44.4%)	1 (11.2%)	2 (22.2%)	0 (0.0%)
Ⅶ 地域振興部門	13	7 (53.8%)	6 (46.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
地域（自治区）別計画	27	12 (44.5%)	6 (22.2%)	5 (18.5%)	4 (14.8%)	0 (0.0%)
1 浜田地域(自治区)	2	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 金城地域(自治区)	5	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
3 旭地域(自治区)	5	3 (60.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
4 弥栄地域(自治区)	7	2 (28.6%)	1 (14.3%)	2 (28.6%)	2 (28.5%)	0 (0.0%)
5 三隅地域(自治区)	8	3 (37.5%)	3 (37.5%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
開かれた行財政運営の推進	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合 計	139	57 (41.0%)	47 (33.8%)	25 (18.0%)	10 (7.2%)	0 (0.0%)

《評価概要》

「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果があった

「B」 計画を少し下回る成果があった

「C」 計画の半分程度の成果となった

「D」 計画を大きく下回る結果となった

「E」 ほとんど成果がなかった

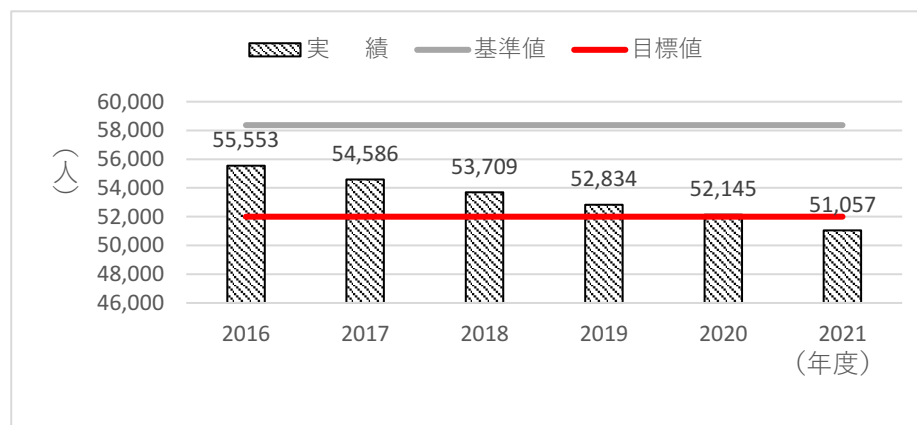
(3) 基本指標

基本指標	現 状 (基本構想策定時)	令和 7 (2025) 年度 (目標・推計値)
人 口 (国勢調査)	平成 27 (2015) 年推計値 58,367 人	52,000 人
出生数 (住民基本台帳)	平成 26 (2014) 年度実績値 年間 442 人	年間 400 人
社会増減数 (住民基本台帳)	平成 26 (2014) 年度実績値 年間 ▲319 人	年間 ▲200 人

基本構想に掲げる「人口」・「出生数」・「社会増減数」の 3 つの基本指標については、令和 3 年度末現在、人口 51,057 人、出生数 302 人、社会増減数▲458 人となった。

◆ 人口 (目標値 : 52,000 人【2025 年度目標値】)

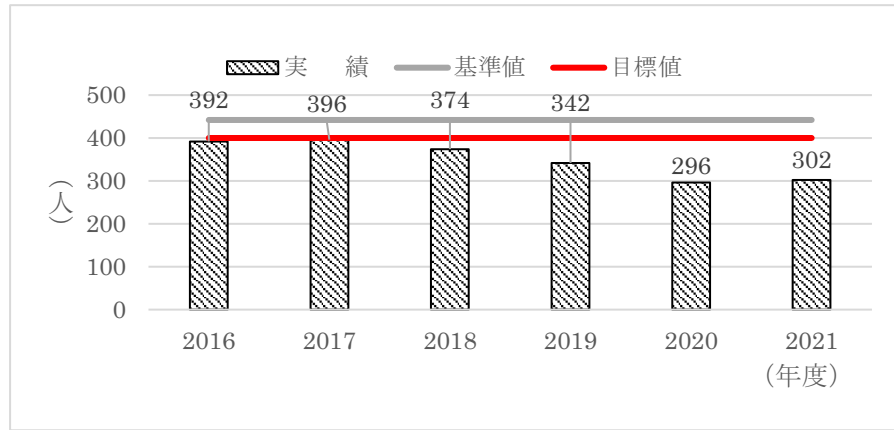
	2014 年度基準	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
実 績	58,367 人	55,553 人	54,586 人	53,709 人	52,834 人	52,145 人	51,057 人



人口については、自然増減、社会増減ともに大きく減少が見られ、年間増減数では前期基本計画中の過去 6 年間で最も大きい人口減となった。

◆ 出生数（目標値：年間出生数 400 人【2025 年度目標値】）

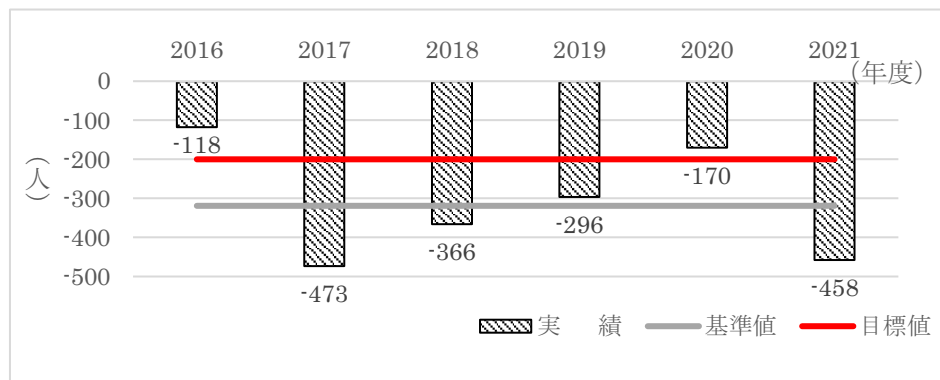
	2014 年度基準	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
実 績	442 人	392 人	396 人	374 人	342 人	296 人	302 人
達 成 率		▲625.0%	▲575.0%	▲850.0%	▲138.1%	▲247.6%	▲233.3%



出生数については、若者の減少に歯止めがかからないことがその要因の一つと考えられることから、「若者が暮らしやすいまちづくり」を中心とした施策の取組みが求められる。

◆ 社会増減数（目標値：年間社会増減数▲200 人【2025 年度目標値】）

	2014 年度基準	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
実 績	▲319 人	▲118 人	▲473 人	▲366 人	▲296 人	▲170 人	▲458 人
達 成 率		340.7%	▲261.0%	▲79.7%	39.0%	252.5%	▲235.6%



社会増減については、年度別で見ると大きく減少しており、「転勤」を理由とした転出者の増が大きい一方、「同伴」を理由とした転入者の減など、新型コロナウイルス感染拡大による内外の人の移動への影響が考えられる。

また、「就職」による転出者も増加していることから、地元企業への就職者数の増加に向けた施策が必要である。そして、地元企業の魅力化や職場環境の整備に向けた施策に引き続き取組んでいくとともに、ふるさと郷育や若者の地域活動への参画といった面からも、地元に残りたいと思える施策へ取組む必要がある。

(4) 今後の取組み

本市が抱える最重要課題の一つは「人口減少」であり、特に若い世代の減少は著しい状況にある。

人口減少は、一朝一夕に解決できない構造的な課題であり、その課題解決に向けては多岐にわたる分野の取組を結びつけ、相乗効果が発揮されるよう対策を進めることが不可欠である。また、施策を総動員し、人口減少に係る課題に対して切れ目のない取組を実施していく必要がある。

今年度からの第 2 次浜田市総合振興計画後期基本計画の取組みでは、「若者が暮らしたいまちづくり」を目指した施策の一体的な推進を図るが、その実施にあたっては、これまでの課題の分析を基に長期的な展望を持って政策を総合的に進めていくとともに、その進捗管理を適切に行い、適宜見直しを図ることとする。

第2次浜田市総合振興計画前期基本計画 掲載目標の総合評価

(2016年度～2021年度)

1 調査方法

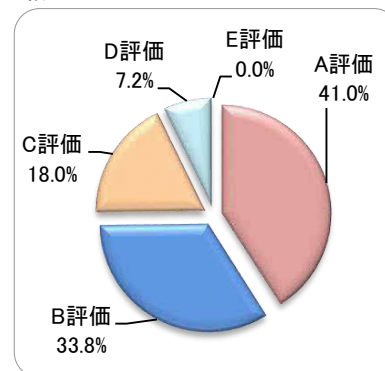
前期基本計画139項目の目標に対し、
6年間の成果について評価をした。

2 調査結果

(1) 概要

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果があった
「B」 計画を少し下回る成果があった
「C」 計画の半分程度の成果となった
「D」 計画を大きく下回る成果となった
「E」 ほとんど成果がなかった

構成比



(2) 「目標」の進捗状況

	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
部門別計画	110	43	41	20	6	0
Ⅰ 産業経済部門	26	7	11	7	1	0
Ⅱ 健康福祉部門	14	8	3	3	0	0
Ⅲ 教育文化部門	21	6	10	5	0	0
Ⅳ 環境部門	6	1	3	0	2	0
Ⅴ 生活基盤部門	21	12	4	4	1	0
Ⅵ 防災・防犯・消防部門	9	2	4	1	2	0
Ⅶ 地域振興部門	13	7	6	0	0	0
自治区別計画	27	12	6	5	4	0
1 浜田自治区	2	0	1	1	0	0
2 金城自治区	5	4	0	1	0	0
3 旭自治区	5	3	1	0	1	0
4 弥栄自治区	7	2	1	2	2	0
5 三隅自治区	8	3	3	1	1	0
開かれた行財政運営の推進	2	2	0	0	0	0
合 計	139 (100.0%)	57 (41.0%)	47 (33.8%)	25 (18.0%)	10 (7.2%)	0 (0.0%)

進捗評価対象外項目	項目数	対象外とした理由及び今後の対応
Ⅱ 健康福祉部門	5	新型コロナウイルス感染症の影響により、国の数値公表が未定となったため、進捗状況を把握することが不可能となった。数値公表され次第、前期基本計画の評価を行う。

第2次浜田市総合振興計画前期基本計画 掲載目標の進捗状況

(2021年度実績)

1 調査方法

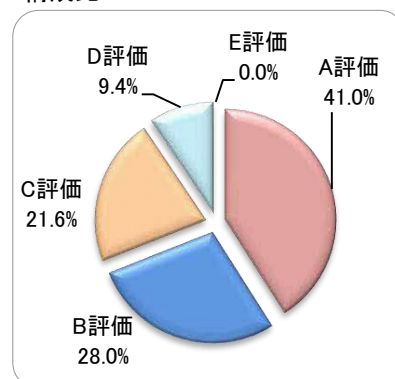
139項目の目標に対する2021年度末の現状値から2021年度の進捗状況を評価した。

2 調査結果

(1) 概要

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果・実施があった
- 「B」 計画を少し下回る成果・実施があった
- 「C」 計画の半分程度の成果・実施となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果・実施となった
- 「E」 ほとんど成果・実施がなかった

構成比



(2) 「目標」の進捗状況

	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
部門別計画	110	43	33	26	8	0
I 産業経済部門	26	(7→) 8	(10→) 8	(8→) 9	1	0
II 健康福祉部門	(19→) 14	(10→) 8	(5→) 3	(4→) 3	0	0
III 教育文化部門	21	(7→) 6	(3→) 6	(8→) 7	(3→) 2	0
IV 環境部門	6	1	3	(1→) 0	(1→) 2	0
V 生活基盤部門	21	12	5	3	1	0
VI 防災・防犯・消防部門	9	(1→) 2	(3→) 4	(2→) 1	(3→) 2	0
VII 地域振興部門	13	(7→) 6	4	(2→) 3	0	0
自治区別計画	27	12	6	4	5	0
1 浜田自治区	2	0	(0→) 1	(2→) 1	0	0
2 金城自治区	5	4	0	1	0	0
3 旭自治区	5	(4→) 3	(0→) 1	0	1	0
4 弥栄自治区	7	2	(0→) 1	(3→) 1	(2→) 3	0
5 三隅自治区	8	(4→) 3	(2→) 3	1	1	0
開かれた行財政運営の推進	(2→) 2	(2→) 2	0	0	0	0
合 計	(144→) 139 (100.0%)	(61→) 57 (41.0%)	(35→) 39 (28.0%)	(35→) 30 (21.6%)	(13→) 13 (9.4%)	(0→) 0 (0.0%)

進捗評価対象外項目	項目数	対象外とした理由及び今後の対応
II 健康福祉部門	5	新型コロナウイルス感染症の影響により、国の数値公表が未定となったため、進捗状況を把握することが不可能となった。数値公表され次第、進捗評価を行う。

第2次浜田市総合振興計画前期基本計画 目標一覧

部門別計画 ～一体的なまちづくり～

I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち【産業経済部門】

1 水産業の振興

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
沖合底曳網漁業リシップ事業取組統数の増加	○		3ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	100.0%	A	A
まき網漁業構造改革取組統数の増加	○		0ヶ統	2ヶ統	0ヶ統	0.0%	C	C
新規漁業研修者数の増加（若者漁業者・ふるさと漁業研修生）	○		3人	31人	28人	90.3%	B	B
高度衛生管理型荷捌所整備率の増加	○		0%	100%	72%	71.7%	B	B
「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加	○	○	130店	162店	146店	50.0%	B	B
ヒラメ稚魚育成尾数の増加	○		8万尾	48万尾	48万尾	100.0%	A	A
アワビ稚貝放流数の増加	○		16,000個	96,000個	83,700個	87.2%	A	B
漁港機能保全計画策定箇所数の増加	○		1か所	3か所	5か所	200.0%	A	A
漁港海岸長寿命化計画策定箇所数の増加	○		0か所	1か所	3か所	300.0%	A	A

2 農林業の振興

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
振興作物農業産出額の増加		○	173,295千円	200,000千円	150,084千円	-86.9%	C	C
新規就農者の新規認定数の増加	○		3経営体	9経営体	6経営体	66.7%	B	B
認定農業者数の新規認定数の増加	○		1経営体	20経営体	19経営体	95.0%	B	A
集落営農組織数の増加	○		30組織	37組織	36組織	85.7%	B	B
森林経営計画に基づく原木生産量の増加	○		8,069m³	32,000m³	51,242m³	180.4%	A	A
苗木生産量の増加	○		22,550本	91,000本	27,480本	7.2%	C	C

3 商工業の振興

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
新商品の開発件数の増加	○		66件	125件	128件	105.1%	A	A
開業企業数の維持	○		33件	33件	19件	-42.4%	C	B

4 国際貿易港浜田港など港湾を活用した産業振興

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
外貿内貿貨物取扱量の増加	○		52万トン	70万トン	45万トン	-38.9%	C	C
コンテナ貨物取扱量の増加	○		3,414TEU	4,500TEU	3,725TEU	28.6%	B	B
クルーズ客船の寄港回数の増加	○		2回	5回	0回	-66.7%	C	D

5 観光・交流の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
浜田の五地想ものがたり協賛店舗数の増加	○		34店舗	40店舗	33店舗	-16.7%	C	B
はまごちツープライス料理提供食数の増加	○		27,638食	50,000食	25,571食	-9.2%	C	C
宿泊客数の増加	○	○	225,043人	250,000人	309,462人	338.3%	A	B
合宿等誘致人数の増加	○	○	3,642人	5,000人	1,267人	-174.9%	D	C

6 企業立地による雇用の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
新規立地企業数の増加	○		1社	12社	5社	41.7%	B	B
新規学卒地元就職者数の増加	○		57人	100人	39人	-41.9%	C	C

Ⅱ 健康でいきいきと暮らせるまち【健康福祉部門】

1 医療体制の充実

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値 ①	目標値 ②	2021年度 現状値 ③	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設）		○	3人	4人	2人	-100.0%	C	C

2 健康づくりの推進

目標		総合戦略	定住自立圏	策定時現状値 ①	目標値 ②	2021年度 現状値 ③	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
健康寿命（男女別）の延伸	男			16.47年	17.02年	—	—	—	—
※目標値：2015年度当初 島根県平均値	女			19.90年	20.66年	—	—	—	—
がん年齢調整死亡率の減少（人口10万人当たりの年間死亡者数）				126.7	125.1	—	—	—	—
全がん75歳未満の男女別 年齢調整死亡率の減少（人口10万人当たりの年間死亡者数）	男			97.3	92.1	—	—	—	—
	女			60.7	46.1	—	—	—	—

3 子どもを安心して産み育てる環境づくり

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値 ①	目標値 ②	2021年度 現状値 ③	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
子育て世代包括支援センター（仮称）の施設数の増加	○		0か所	1か所	1か所	100.0%	A	A
認可保育所定員数の増加	○	○	1,895人	2,000人	1,820人	-71.4%	B	B
放課後児童クラブ定員数の増加	○	○	790人	905人	915人	108.7%	A	A
地域子育て支援拠点数の増加	○	○	2施設	4施設	4施設	100.0%	A	A

4 高齢者福祉の充実

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
地域包括支援センター数の増加			1施設	5施設	5施設	100.0%	A	A
シルバー人材センター会員数の増加			464人	552人	423人	-46.6%	C	C
要介護認定率の増加の抑制（要介護者のみ）		○	18.8%	19.6%	18.3%	162.5%	A	A
認知症サポーター養成講座受講者数の増加		○	3,696人	7,500人	7,559人	101.6%	A	A
市民後見人養成講座受講者数の増加			70人	150人	127人	71.3%	B	B

5 障がい者福祉の充実

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
地域生活支援拠点数の増加		○	0か所	1か所	0か所	0.0%	C	C
障がい児通所支援事業所数の増加			3か所	5か所	15か所	600.0%	A	A
手話通訳奉仕員登録者数の増加（手話通訳士・者含む）			49人	84人	83人	97.1%	B	B

6 地域福祉の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
「避難行動要支援者名簿」の提供を受ける地域の関係団体数の増加			44団体	120団体	128団体	110.5%	A	A

Ⅲ 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち【教育文化部門】

1 学校教育の充実

目標		総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
				①	②	③			
「総合的な学習の時間」で学習したことが普段の生活や社会に出たときに役立つと思う子どもの割合の増加 ※全国学力・学習状況調査による肯定率	小6	○		83.5%	90.0%	88.2%	72.3%	B	B
	中3	○		74.1%	90.0%	90.9%	105.7%	A	A
「総合的な学習の時間」において、自分で調べ学習活動に取り組んでいると思う子どもの割合の増加 ※全国学力・学習状況調査による肯定率	小6	○		57.7%	80.0%	76.5%	84.3%	B	B
	中3	○		52.7%	80.0%	84.0%	114.7%	A	A
自分には良いところがあると思っている子どもの割合の増加 ※全国学力・学習状況調査による肯定率	小6			79.1%	86.0%	77.3%	-26.1%	C	C
	中3			73.9%	77.0%	73.9%	0.0%	B	B
人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている子どもの割合の増加 ※全国学力・学習状況調査による肯定率	小6			90.4%	95.0%	94.9%	97.8%	B	B
	中3			97.0%	98.0%	96.8%	-20.0%	C	C
学校給食での地域食材利用率の増加			○	58.2%	70.0%	69.8%	98.3%	B	B

2 家庭教育支援の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
親学プログラムの実施回数の増加			11回	25回	10回	-7.1%	C	C

3 社会教育の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
ふるさと郷育ネットワーク団体数の増加	○		3団体	9団体	9団体	100.0%	A	A
学校支援活動に参加したボランティア人数の増加			7,528人	8,500人	2,684人	-498.4%	C	C
地域課題の解決支援事業を実施する公民館数の増加	○		3公民館	26公民館	26公民館	100.0%	A	A
図書館利用登録率の増加		○	34.3%	40.0%	51.8%	307.0%	A	A
市民一人当たりの図書貸出冊数の増加		○	5.0冊	7.0冊	5.3冊	16.5%	B	B

4 生涯スポーツの振興

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
総合スポーツ大会参加者の増加			2,623人	4,000人	1,609人	-73.6%	C	C
トップアスリート教室の開催回数の増加			2回	4回	0回	-100.0%	D	B
軽スポーツ教室の開催回数の増加			6回	12回	1回	-83.3%	D	B

5 歴史・文化の伝承と創造

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
石央文化ホール利用者数の増加			51,560人	55,000人	20,146人	-913.2%	C	B
市内美術館における創作活動等の受講者数の増加			9,763人	10,000人	4,716人	-2129.5%	C	B
文化財の指定・登録件数の増加			66件	70件	73件	175.0%	A	A

Ⅳ 自然環境を守り活かすまち【環境部門】

1 特性を活かした景観形成の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
緑と花の沿道推進事業実施件数の増加			89件	124件	101件	34.3%	D	D

2 環境保全と快適な住環境づくりの推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
環境出前講座の開催回数の増加			0回	30回	23回	76.7%	B	B
環境アダプトプログラム登録団体数の増加			29団体	35団体	37団体	133.3%	A	A

3 地球温暖化対策の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
はまだエコライフ推進隊の会員数の増加			143会員	190会員	154会員	23.4%	B	B

4 循環型社会の構築

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
市民一人あたりのごみ排出量の減少			1,004 g	967 g	994 g	27.0%	B	B
ごみのリサイクル率の増加			23.7%	24.6%	19.8%	-430.0%	D	D

V 生活基盤が整った快適に暮らせるまち【生活基盤部門】

1 道路網の整備

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
浜田三隅道路の全線開通			一部供用開始	2016年度供用開始	2016年度供用開始	100.0%	A	A
三隅益田道路の全線開通			事業中	供用開始	事業中	63.0%	B	B
県道改良促進			14路線	7路線	9路線	84.6%	A	A
			(21工区)	(8工区)	(10工区)			
農道整備促進			69%	100%	100%	100.0%	A	A
林道整備促進			78%	90%	74%	-33.3%	A	A
市道浜田527号線道路改良		○	0%	100%	64%	64.0%	B	C
市道小国峠線道路改良		○	0%	50%	0%	0.0%	D	D
市道戸地線道路改良		○	10%	40%	43%	110.0%	A	A
市道谷線道路改良		○	0%	100%	100%	100.0%	A	A
市道白砂1号線道路改良		○	30%	100%	75%	64.3%	B	B

2 公共交通の充実

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
生活路線バス1便当たり利用者数の維持	○	○	2.0人／便	2.0人／便以上	1.5人／便	-25.0%	C	C
予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持	○	○	1.8人／便	1.8人／便以上	1.3人／便	-27.8%	C	C
輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加	○	○	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	A
環境整備を実施したバス停数の増加	○		3か所	6か所	6か所	100.0%	A	A

3 地域情報化の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
市民向けのGIS情報提供			0	14	15	107.1%	A	A
各種システムのクラウドサービスへの切り替え			2件	7件	9件	140.0%	A	A
B C P（事業継続計画）の策定・運用			未策定	策定	策定	100.0%	A	A
携帯電話不感地域の解消		○	8集落	0集落	0集落	100.0%	A	A

5 快適な生活基盤の整備

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
管路の耐震化率の増加			10.5%	21.2%	13.7%	29.9%	B	B
			(33,973m)	(70,000m)	(45,294m)			
汚水処理人口普及率の増加			44.1%	51.0%	49.1%	72.5%	B	B
地籍調査実施済み面積の増加			266.89km ²	406.97km ²	295.03km ²	20.1%	C	C
			(40.0%)	(61.0%)	(43.9%)			

Ⅵ 安全で安心して暮らせるまち【防災・防犯・消防部門】

1 災害に強いまちづくりの推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
屋外子局数の増加（浜田自治区）			33局	53局	51局	90.0%	B	B
防災防犯メール登録者数の増加			5,826人	10,000人	10,553人	113.2%	A	A
自主防災組織の組織率の増加		○	46.5%	85.0%	70.4%	62.1%	B	B
総合防災訓練参加者数の増加			600人	10,000人	0人	-6.4%	D	D

2 地域防犯力の強化・交通安全対策の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
防犯出前講座の開催回数の増加		○	6回	40回	4回	-5.9%	D	D

3 消防・救急体制の充実

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
救急救命士の資格取得者数の増加			32名	38名	36名	66.7%	B	B
応急手当の講習受講者数の増加			4,542人	5,000人	1,528人	-658.1%	C	C
まちかど救急ステーション認定事業所数の増加			42事業所	180事業所	183事業所	102.2%	A	A
防火講話・消火訓練実施回数の増加			29回	53回	52回	95.8%	B	B

VII 協働による持続可能なまち【地域振興部門】

1 地域コミュニティの形成

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
地区まちづくり推進委員会の組織率の増加	○		66%	90%	81%	60.4%	B	B
人材育成研修会等の開催回数の増加	○	○	2回	6回	1回	-25.0%	C	B
市民団体の補助事業申請件数の増加	○		7件	15件	15件	100.0%	A	A

2 人がつながる定住環境づくりの推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
U・Iターン者数の増加	○	○	34人	100人	110人	115.2%	A	A
U・Iターン者との意見交換会の開催回数の増加	○	○	1回	3回	1回	0.0%	B	B
U・Iターン相談件数の増加	○	○	255人	300人	524人	597.8%	A	A
空き家バンク登録件数の増加	○	○	13件	71件	58件	77.6%	B	A
婚活イベント参加者数の増加	○		162人	250人	82人	-90.9%	C	B

3 大学等高等教育機関と連携した地域づくり

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
市民交流促進事業実施件数の増加	○	○	6件	50件	52件	104.0%	A	A
県立大学との共同研究実施件数の増加	○		4件	24件	35件	145.8%	A	A
新入生浜田探索ツアー参加者数の増加	○		38人	1,000人	1,099人	109.9%	A	A

4 人権を尊重するまちづくりの推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
人権研修会等の開催回数の増加			42回	64回	41回	-4.5%	C	B

5 男女共同参画社会の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
審議会等への女性参画率の増加		○	25.2%	40.0%	26.8%	10.8%	B	B

自治区別計画 ～地域の個性を活かしたまちづくり～

1 浜田自治区

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
地区まちづくり推進委員会の組織率の向上			42.6%	85.0%	67.0%	57.5%	B	B
自主防災組織の組織率の向上			43.3%	85.0%	61.4%	43.4%	C	C

2 金城自治区

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
認定農業者数の増加			16経営体	18経営体	20経営体	200.0%	A	A
水田面積の維持保全			539ha	485ha	526ha	100.0%	A	A
宿泊客数の増加			22,000人	26,000人	15,703人	-157.4%	C	C
まちづくり連絡会活動回数の増加			1回／年	3回／年	3回／年	100.0%	A	A
地域活動団体と連携した活動回数の増加			0回／年	5回／年	8回／年	160.0%	A	A

3 旭自治区

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
守るべき農地面積の維持保全			487ha	357ha	424ha	100.0%	A	A
旭豊米(地域棚田米)の販売拡大			0.0ha	8.3ha	6.0ha	72.3%	B	B
宿泊客数の増加			19,353人	25,000人	11,723人	-135.1%	D	D
まちづくり推進委員会等連携会議の開催回数の増加			1回	3回	3回	100.0%	A	A
未利用施設の有効活用数の増加			1施設	4施設	3施設	66.7%	A	A

4 弥栄自治区

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
認定農業者の増加			12人	15人	16人	133.3%	A	A
特定農業法人の増加			3組織	5組織	5組織	100.0%	A	A
弥栄米取り扱い面積の増加			0ha	100ha	9ha	9.0%	C	C
入込客数の増加			26,037人	30,000人	0人	-657.0%	D	D
宿泊客数の増加			2,468人	3,000人	0人	-463.9%	D	D
U・Iターン世帯の増加			14世帯	44世帯	37世帯	76.7%	D	C
自主的な防災活動に取り組む自治会数の増加			3自治会／26自治会	26自治会／26自治会	19自治会／26自治会	69.6%	B	B

5 三隅自治区

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
営農組織数の増加			1法人4団体	1法人6団体	1法人5団体	50.0%	A	A
西条柿生産戸数の維持			47戸	47戸	42戸	-10.6%	C	C
石州和紙製造戸数の増加			4戸	5戸	4戸	0.0%	B	B
楮新規植栽面積の増加			0.3ha	2.9ha	2.7ha	91.5%	B	B
地区まちづくり計画の全地区での策定			4地区／6地区	6地区／6地区	6地区／6地区	100.0%	A	A
地区まちづくり推進委員会防災訓練の実施			0回／年	1回／年	1回／年	100.0%	A	A
従事者の宿舎の確保			0件	20件	15件	75.0%	B	B
従事者用宿舎の運営に取り組む地域や団体の増加			0地域・団体	3地域・団体	0地域・団体	0.0%	D	D

開かれた行財政運営の推進

目標	総合戦略	定住自立圏	策定時現状値	目標値	2021年度現状値	目標達成率	進捗評価	6年間の評価
			①	②	③			
健全な実質公債費比率の確保			12.0%	18.0%未満	10.9%	118.3%	A	A
外部委員による総合振興計画の進捗状況の確認・評価回数の増加			0回	1回	2回	200.0%	A	A

部門別計画 ～一体的なまちづくり～

I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち【産業経済部門】	26項目
-------------------------------------	-------------

1 水産業の振興

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 沖合底曳網漁業リシップ事業取組 統数の増加 ※リシップ事業（リシップ等による収益性回復 の取組）を実施した船団数 ＜目標達成＞	3ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	100.0%	A	○		水産振興課 (漁港活性化 室)	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	A		
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
	A	A	A	A	A	A			
【進捗状況】 2017年度に2ヶ統のリシップ実証期間が満了し、浜田地域の沖合底曳網漁船5ヶ統全てのリシップ事業が完了した。									
【前期基本計画の総括】 リシップ工事については、目標となる5ヶ統全てを完了することができた。しかし、本計画期間中に1ヶ統の廃業があり、水揚の確保のために漁船団の存続対策を一層力強く推進する必要が生じている。 そうした状況の中、2022年3月に漁業構造改革推進集中プロジェクト中央協議会に提出した構造改革計画書が審議を経て認定され、国のもうかる漁業創設支援事業による助成金の交付が決定した。今後、沖合底びき網漁船団1ヶ統の新船への更新と収益性改善の実証事業に取り組むこととなる。こうしたことから、リシップ事業の目的とする漁船の更新に向けた収益性の改善等による漁業構造改革については、一定の成果が得られたと考える。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 まき網漁業構造改革取組統数の増加 ※まき網漁船2ヶ統存続のための漁業構造改革取組船団数	0ヶ統	2ヶ統	0ヶ統	0.0%	C	○		水産振興課 (漁港活性化 室)	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
	0ヶ統	0ヶ統	0ヶ統	0ヶ統	1ヶ統	0ヶ統	C		
	10.0%	20.0%	20.0%	20.0%	50.0%	0.0%			
	C	C	C	C	B	C			
【進捗状況】 2021年3月にまき網漁船の本船（網船）が沈没する海難事故が発生し、以降、操業の再開に至っていない。この事故に遭ったまき網漁船が、2022年度に着工を予定していた本船（網船）の新船建造については取り止めとなった。 地元を根拠地とするまき網漁船団は残る1ヶ統のみとなったが、新船建造に向けた具体的な検討は、これからといった状況である。									
【前期基本計画の総括】 新船建造に向けて具体的に準備を進めていたが、不慮の事故のため、取り止めとなり大変残念である。この事故を受けて地元まき網漁船団が1ヶ統のみとなり、漁獲の減少が懸念されるため、漁船団の存続対策について、一層力強く推進する必要が生じている。									

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3 新規漁業研修者数の増加（若者漁 業者・ふるさと漁業研修生） ※新規漁業研修者数（6年間の累計）	3人	18人						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		合計
	6人	5人	4人	3人	6人	4人		28人
	33.3%	61.1%	83.3%	100.0%	133.3%	155.6%		－
	A	A	－	－	－	－		－
2018年度以降、目標値を31人に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	3人	31人	28人	90.3%	B	○		水産振興課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	6人	5人	4人	3人	6人	4人		B
	－	－	48.4%	58.1%	77.4%	90.3%		
	－	－	B	B	A	B		
	【進捗状況】 沖合底曳網漁業3名、まき網漁業1名、計4名の若者漁業者を新規漁業研修者として受け入れを行った。							
【前期基本計画の総括】 若者漁業者確保支援事業、ふるさと漁業研修生育成事業については、新規の漁業就業希望者の雇用に対して、有効であると各漁業経営体から評価をいただいている。目標達成には至らなかったが、一定の成果が得られたと考える。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 高度衛生管理型荷捌所整備率の増加 ※高度衛生管理型荷捌所（沖底用・まき網用） の整備率	0%	100%	72%	71.7%	B	○		水産振興課 （漁港活性化室）
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	5%	10%	24%	54%	57%	72%		B
	5.0%	10.0%	23.5%	54.0%	57.1%	71.7%		
	B	B	A	A	B	B		
【進捗状況】 高度衛生管理型4号荷さばき所（沖底用）の建設工事に着手した。								
【前期基本計画の総括】 高度衛生管理基本計画に基づき、2016年度から7号荷さばき所（まき網用）の整備に着手し、2020年4月に竣工、同年8月に供用を開始するなど、概ね計画通りに進捗した。								

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5	「どんちっち」ブランド加盟業者 数の増加 ※ブランド規格に基づく「どんちっち三魚」の 取扱業者（団体）数	130店	140店						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		136店	138店	143店	143店	142店	146店		
		60.0%	80.0%	130.0%	130.0%	120.0%	160.0%		
		A	A	—	—	—	—		
2018年度以降、目標値を162店に上方修正		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
		130店	162店	146店	50.0%	B	○	○	水産振興課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		136店	138店	143店	143店	142店	146店		B
		—	—	40.6%	40.6%	37.5%	50.0%		
		—	—	B	C	B	B		
【進捗状況】 4店の事業者の新規加盟があった。									
【前期基本計画の総括】 どんちっちブランドは推進組織が設立されて20年が経過し、消費地市場を中心に認知度が向上している。顧客に信頼されるブランドづくりのため、今後も関係機関と協力し、規格を遵守した良質な商品の供給を続けていきたい。加盟業者数について、目標達成には至らなかったが、一定の成果が得られたと考える。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
6	ヒラメ稚魚育成尾数の増加 ※ヒラメ稚魚の育成尾数（6年間の累計） ＜目標達成＞	8万尾	48万尾	48万尾	100.0%	A	○		水産振興課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾		A
		16.7%	33.3%	50.0%	66.7%	83.3%	100.0%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 計画どおり8万尾のヒラメ稚魚を中間育成し、放流を行った。									
【前期基本計画の総括】 中間育成の業務委託先である生湯町の古和養魚場にて、徹底した飼育管理をしていただいたお蔭で病気や斃死などの事故も発生せず、計画どおり毎年8万尾の育成目標を達成することができた。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
7	アワビ稚貝放流数の増加	16,000個	96,000個	83,700個	87.2%	A	○		水産振興課
	※アワビ稚貝の放流数（6年間の累計）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		16,000個	16,000個	0個	20,000個	15,700個	16,000個		B
		16.7%	33.3%	33.3%	54.2%	70.5%	87.2%		
		A	A	B	A	B	A		
【進捗状況】 単年度の目標値と同数の16,000個の稚貝を放流した。									
【前期基本計画の総括】 2018年度に種苗育成施設において斃死事故が発生し、稚貝の確保ができず、放流が取り止めとなったことが影響し、目標の達成には至らなかった。 また、稚貝の価格高騰などにより目標値よりも少ない放流数となる年もあったが、逆に安い価格で入手できる年は放流数を増やすなどの柔軟な対応を行った。 目標達成には至らなかったが、一定の成果が得られたと考える。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
8	漁港機能保全計画策定箇所数の増加	1か所	3か所	5か所	200.0%	A	○		水産振興課
	※漁港機能保全計画策定箇所数（津摩、古湊、福浦漁港の3か所）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	<目標達成>	3か所	3か所	3か所	3か所	5か所	5か所		A
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	200.0%	200.0%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 機能保全計画を基に、漁港施設の簡易点検を適宜実施した。									
【前期基本計画の総括】 市管理漁港である津摩、古湊、福浦、今浦、折居の5か所全ての機能保全計画を策定し、当初目標を上回る達成率となった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
9	漁港海岸長寿命化計画策定箇所数の増加	0か所	1か所	3か所	300.0%	A	○		水産振興課
	※漁港海岸長寿命化計画策定箇所数（折居漁港海岸）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	<目標達成>	0か所	0か所	0か所	0か所	3か所	3か所		A
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	300.0%	300.0%		
		C	C	C	C	A	A		
【進捗状況】 長寿命化計画を基に、海岸施設の簡易点検を適宜実施した。									
【前期基本計画の総括】 市管理漁港海岸である津摩、古湊、折居の3か所全ての長寿命化計画を策定し、当初目標を上回る達成率となった。									

2 農林業の振興

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	振興作物農業産出額の増加	173,295千円	200,000千円	150,084千円	-86.9%	C		○	農林振興課
	※振興作物（大粒ぶどう、赤梨、西条柿）の農業産出額	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		158,671千円	193,627千円	175,982千円	171,566千円	107,182千円	150,084千円	C	
		-54.8%	76.1%	10.1%	-6.5%	-247.6%	-86.9%		
		C	B	C	C	C	C		
【進捗状況】 2021年は、2020年に続き赤梨において凍霜害が発生し、着果不良となり、収量減となった。 西条柿及び大粒ぶどうについては、春先の凍霜害が一部で発生したものの、産出額は微増であった。									
【前期基本計画の総括】 大粒ぶどうは、リースハウス事業等の導入により、生産量が増加し、産出額も増額傾向である。 赤梨は、近年の凍霜害による着果不良や廃園による影響で生産量が減少したため、産出額が減少している。 西条柿は、柿加工場の本格稼働により、あんぽ柿の生産が増加し、産出額も増加傾向である。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	新規就農者の新規認定数の増加	3経営体	毎年1経営体 (6経営体)						
	※就農計画が新たに認定された農業経営体数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計	
		0経営体	5経営体	0経営体	0経営体	1経営体	0経営体	6経営体	
		0.0%	83.3%	83.3%	83.3%	100.0%	116.7%	—	
		C	A	—	—	—	—	—	
2018年度以降、目標値を9経営体に上方修正									
		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
		3経営体	9経営体	6経営体	66.7%	B	○		農林振興課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		0経営体	5経営体	0経営体	0経営体	1経営体	0経営体	B	
		—	—	55.6%	55.6%	66.7%	66.7%		
		—	—	B	B	B	B		
【進捗状況】 新・農業人フェアやU I ターンフェアへの積極的な参加、ホームページでの情報発信等により、新規就農者の確保に努めている。 2021年度は、相談等の支援は行ったが、認定には至らなかった。									
【前期基本計画の総括】 新・農業人フェアやU I ターンフェア等で新規就農者の確保に努め、新規就農サポートチーム体制を組んで、相談から研修・就農までの一体的な支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により県外で十分なPR活動を行うことが出来ず、目標数の認定新規就農者の確保に至らなかった。									

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
3 認定農業者数の新規認定数の増加 ※農業経営改善計画が新たに認定された農業経営体数	1経営体	毎年1経営体 (6経営体)							
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計		
	5経営体	1経営体	3経営体	5経営体	1経営体	4経営体	19経営体		
	83.3%	100.0%	150.0%	233.3%	250.0%	316.7%	—		
	A	A	—	—	—	—	—		
	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
	1経営体	14経営体							
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計		
	5経営体	1経営体	3経営体	5経営体	1経営体	4経営体	19経営体		
	—	—	64.3%	100.0%	107.1%	135.7%	—		
—	—	A	A	—	—	—			
2018年度以降、目標値を14経営体に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
	1経営体	20経営体	19経営体	95.0%	B	○		農林振興課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
	5経営体	1経営体	3経営体	5経営体	1経営体	4経営体	A		
	—	—	—	—	75.0%	95.0%			
	—	—	—	—	B	B			
	【進捗状況】 新規の認定農業者の希望者に対し、ヒアリングにより状況を確認し、農業経営改善計画認定申請書の策定の支援を行っている。 2021年度は、新たに4経営体を新規認定した。								
	【前期基本計画の総括】 当初毎年1経営体の増加を目標としたが、それを上回る成果を出し、2度目標を更新した。最終的には目標達成とならなかったが、担い手の確保について大きな成果を得られた。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 集落営農組織数の増加 ※集落営農組織の規約が作成されている組織数	30組織	33組織						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	33組織	33組織	35組織	35組織	36組織	—		
	100.0%	100.0%	166.7%	166.7%	200.0%	—		
	A	A	—	—	—	—		
2018年度以降、目標値を37組織に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	30組織	37組織	36組織	85.7%	B	○		農林振興課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	33組織	33組織	35組織	35組織	36組織	36組織		B
	—	—	71.4%	71.4%	85.7%	85.7%		
	—	—	A	B	B	B		

【進捗状況】
新たな組織化に向けて、集落等に働きかけを行っている。
2021年度は、複数の集落において、集落営農組織設立に向けた相談・協議を行ったが、設立には至らなかった。引き続き、相談・協議を行っている。

【前期基本計画の総括】
新たな集落営農組織の設立に向けた支援を行い、当初の目標を上回る実績となったが、新型コロナウイルス感染症の発症が確認された2019年度から、会合等が行えない状況となり、最終的には目標を下回った。

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5	森林経営計画に基づく原木生産量の増加 ※森林経営計画策定済み団地からの原木生産量	8,069m³	12,500m³						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		15,000m³	20,000m³	26,979m³	26,166m³	43,260m³	—		
		156.4%	269.3%	426.8%	408.4%	794.2%	—		
		A	A	—	—	—	—		
2018年度以降、目標値を32,000m³に上方修正 ＜目標達成＞		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	8,069m³	32,000m³	51,242m³	180.4%	A	○		農林振興課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価	
	15,000m³	20,000m³	26,979m³	26,166m³	43,260m³	51,242m³		A	
	—	—	79.0%	75.6%	147.1%	180.4%			
	—	—	A	A	B	A			

【進捗状況】
発電用バイオマスチップ（C材）及び合板用原木（B材）に加え、杉檜の伐採や製材用原木（A材）も増加している。
※素材生産量については、江津市を含めた概算数値。

【前期基本計画の総括】
県の働きかけにより、素材生産量は順調に伸びている。引き続き、素材流通協同組合や木材協会等と連携して素材生産量の拡大に努める。

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
6	苗木生産量の増加 ※コンテナ苗等の苗木生産量	22,550本	91,000本	27,480本	7.2%	C	○		農林振興課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		22,460本	26,310本	12,800本	16,180本	37,000本	27,480本		C
		−0.1%	5.5%	−14.2%	−9.3%	21.1%	7.2%		
		C	C	D	C	C	C		

【進捗状況】
2021年度は、防風設備の改善や猛暑時の散水など、天候に気を使いながら育苗に努めたが、病気等による枯損もあり、結果として2020年を下回る27,480本の生産にとどまった。

【前期基本計画の総括】
育苗場所・施設を移設したり、天候不順等もあり、安定的な生産ができなかったものの、伐採者と造林者の連携により、コンテナ苗の需要は増加傾向にある。

3 商工業の振興

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 ※本市の助成金を活用した新商品の開発累積件数	新商品の開発件数の増加	66件	102件						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		80件	94件	106件	109件	121件	128件		
		38.9%	77.8%	111.1%	119.4%	152.8%	172.2%		
		A	A	—	—	—	—		
	2018年度以降、目標値を年間10件以上に上方修正 ＜目標達成＞	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
		66件	毎年10件 (125件)	128件	105.1%	A	○		産業振興課 (商工労働課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	A
		5件	14件	12件	12件	12件	7件		
		—	—	67.8%	72.9%	93.2%	105.1%		
—		—	A	A	A	A			

【進捗状況】
活力あるもの・ひとづくり支援事業補助金の商品研究開発事業により、食品（水産加工品等）や包装資材（パッケージデザイン等）など7件の実施となった。補助事業期間内の完成や原材料の確保が難しかった等の理由により取り下げとなった案件もあったため、例年よりも減となった。

【前期基本計画の総括】
目標値125件を達成することができた。補助金による商品開発支援は、申請件数から見ても一定の成果があったものと認識している。コロナ禍においても申請件数は維持しており、商品開発の需要はあるため引き続き支援を行う。

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 ※市内での年間の開業企業数	開業企業数の維持	33件	33件	19件	-42.4%	C	○		商工労働課 (産業政策課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	B
		33件	39件	34件	33件	18件	19件		
		100.0%	118.2%	103.0%	100.0%	-45.5%	-42.2%		
		A	A	A	A	C	C		

【進捗状況】
創業セミナーや起業マインド醸成事業、商業支援事業補助金、創業支援者資金補助金等を通じての起業が2021年度は19件あった。長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、起業時期を再度検討する事業者が多く、2020年度と同程度の開業者数となった。

【前期基本計画の総括】
コロナの影響がある前までは、計画通りに進んでいたが、コロナ禍となり起業の多くを占める飲食店や生活関連サービス業の起業が減った。

4 国際貿易港浜田港など港湾を活用した産業振興

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	外貿内貿貨物取扱量の増加	52万トン	70万トン	45万トン	-38.9%	C	○		産業振興課
	※浜田港の取扱い貨物量	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		41万トン	44万トン	52万トン	49万トン	47万トン	45万トン		C
		-61.1%	-44.4%	0.0%	-16.7%	-27.8%	-38.9%		
		D	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 林産品や鉱産品は増加したが、その他品目は減少した。 国際定期コンテナ航路の減便も影響した。									
【前期基本計画の総括】 浜田港の物流機能の強化を図り、外貿内貿貨物取扱量の増加を図るため、アクセス道路である臨港福井4号線が開通、ガントリークレーンの供用が開始されるなど地域経済を支える物流拠点として港湾整備の推進が図られた。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	コンテナ貨物取扱量の増加	3,414TEU	4,500TEU	3,725TEU	28.6%	B	○		産業振興課
	※浜田港と韓国・釜山港との国際定期コンテナ航路のコンテナ取扱量	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		2,918TEU	3,604TEU	3,777TEU	4,113TEU	4,539TEU	3,725TEU		B
		-45.7%	17.5%	33.4%	64.4%	103.6%	28.6%		
		C	B	B	B	A	B		
【進捗状況】 2020年度に貨物取扱量の目標値を達成したが、2社の船社のうち1社が就航中止となった。 また世界的なコンテナ不足、海上輸送混乱もあり、国際定期コンテナ航路開設以来最小寄港数であったことが影響し、取扱量貨物量は減少した。									
【前期基本計画の総括】 堅調に増加基調であったものの、新型コロナウイルス感染症を端にした海上輸送混乱により、先を見通すことが困難な状況となった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	クルーズ客船の寄港回数の増加	2回	5回	0回	-66.7%	C	○		産業振興課
	※浜田港へ寄港するクルーズ客船の年間回数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		1回	2回	3回	2回	0回	0回		D
		-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	-66.7%	-66.7%		
		D	C	B	C	C	C		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症により、予定されていた国内クルーズ船の寄港は中止となったものの、受入れ時のため観光マップを作成。 なお、外国船籍クルーズ船は、寄港ができない状況が続いている。									
【前期基本計画の総括】 島根県や浜田港振興会をはじめとした関係機関と連携し、誘致活動に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により受入れが難しい状況となった。特に外国船籍クルーズ船の誘致は、継続的な寄港が絶たれたため、極めて厳しい環境となった。 クルーズ船の受入れのため、石見圏域の市町で連携した取り組みが図れるよう体制整備に取り組んだ。									

5 観光・交流の推進

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	浜田の五地想ものがたり協賛店舗 数の増加 ※浜田の食材にこだわった地産地消メニュー提 供店舗数	34店舗	40店舗	33店舗	-16.7%	C	○		観光交流課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		34店舗	31店舗	32店舗	36店舗	39店舗	33店舗	B	
		0.0%	-50.0%	-33.3%	33.3%	83.3%	-16.7%		
		C	C	C	B	B	C		
【進捗状況】 1店舗の新規加盟があった。 事業の整理が決まったことや、廃業などもあり加盟店が大幅に減少した。									
【前期基本計画の総括】 加盟店の廃業や退会などもあった中、新規店舗の加盟や継続してもらえるよう取り組んだ。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	はまごちツープライス料理 提供食数の増加 ※浜田の五地想ものがたり協賛店の 1,400円、2,800円の提供食数	17,009食	30,000食						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		12,072食	11,543食	11,706食	—	—	—		
		-38.0%	-42.1%	-40.8%	—	—	—		
		D	D	D	—	—	—		
3	2,800円	10,629食	20,000食						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		11,299食	10,386食	10,990食	—	—	—		
		7.1%	-2.6%	3.9%	—	—	—		
		B	C	C	—	—	—		
4	2019年度以降、目標値を3,000円以下、50,000食 に変更	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
		27,638食	50,000食	25,571食	-9.2%	C	○		観光交流課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		23,371食	21,929食	22,696食	25,864食	25,754食	25,571食	C	
		—	—	—	-7.9%	-8.4%	-9.2%		
—	—	—	C	C	C				
【進捗状況】 提供食数を増やすため、ホームページやパンフレット、SNS等を活用しPRに努めた。									
【前期基本計画の総括】 食の魅力をPRし、提供食数の増加に努めることができた。 新型コロナウイルス感染症の影響で大人数での食事や外食の機会が減ったこともあり、食数は目標に届かなかった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
6	宿泊客数の増加	225,043人	250,000人	309,462人	338.3%	A	○	○	観光交流課
	※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	209,006人	309,462人	B	
		49.3%	-23.0%	-4.0%	-25.3%	-64.3%	338.3%		
		A	C	C	C	C	A		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、県のキャンペーンの効果や、工事関係等の長期宿泊により、宿泊者数が大幅に伸びた。									
【前期基本計画の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊者数が減少した時期もあったが、浜田駅周辺エリアにホテルが2軒新設され、市内の宿泊キャパシティが増加したことや、工事関係の長期宿泊などの影響もあり2021年は宿泊者数が増加した。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
7	合宿等誘致人数の増加	3,642人	5,000人	1,267人	-174.9%	D	○	○	観光交流課
	※合宿等誘致事業の年間利用人数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		3,634人	4,036人	3,297人	2,483人	478人	1,267人	C	
		-0.6%	29.0%	-25.4%	-85.3%	-233.0%	-174.9%		
		C	B	C	C	D	D		
【進捗状況】 広島PRセンターとの連携等により合宿誘致を進めている。2021年度は、県内の修学旅行の利用が増えたことで、2020年度より増加した。 県内、県外へも営業活動も行った。									
【前期基本計画の総括】 広島方面への営業活動を実施したものの、大口のリピーター団体からの申請が減少した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により合宿自体が開催されなかったこともあり、目標値に届かなかった。 要綱改正も行い、利便性向上を図った。									

6 企業立地による雇用の推進

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	新規立地企業数の増加	1社	12社	5社	41.7%	B	○		産業振興課 (商工労働課)
	※新規に立地した企業数（6年間の累計）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		3社	1社	0社	1社	0社	0社		B
		25.0%	33.3%	33.3%	41.7%	41.7%	41.7%		
		A	A	B	B	B	B		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ここ数年企業誘致活動ができておらず、島根県においても立地計画認定は1件にとどまるなど影響が大きかった。									
【前期基本計画の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響で企業招聘ができていない。全体目標の達成へまだままだの状況である。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	新規学卒地元就職者数の増加	57人	100人	39人	-41.9%	C	○		商工労働課 (産業政策課)
	※地元の高校・大学を卒業して市内企業に就職する学生数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		63人	43人	46人	37人	53人	39人		C
		14.0%	-32.6%	-25.6%	-46.5%	-9.3%	-41.9%		
		B	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 浜田・江津地区雇用推進協議会と連携し新規学卒者向けの事業を実施したが、広島県や関西地域等都市部への就職希望者の増加に伴い、依然として厳しい状況にある。									
【前期基本計画の総括】 地元就職への働きかけや浜田・江津地区の合同企業説明会、働こう@浜田での地元企業の魅力発信を行ったが、広島県や関西地域等都市部への就職希望者が多く、目標値には届かなかった。									

Ⅱ 健康でいきいきと暮らせるまち【健康福祉部門】

19項目

1 医療体制の充実

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 浜田市国民健康保険診療所の常勤 医師数の増加（へき地診療所等5 施設） ※中山間地域の医療を支えるへき地診療所等の 医師の人数	3人	4人	2人	-100.0%	C		○	健康医療対策課 (地域医療対策課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	3人	3人	2人	2人	2人	2人		C
	0.0%	0.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%		
	B	B	C	C	C	C		
【進捗状況】 地域医療や総合診療に関心のある医師や医学生の研修受入れに取り組んだが、国保診療所の医師確保にはつながらなかった。								
【前期基本計画の総括】 新たな医師確保には繋がらなかったが、診療所医師を中心とした医師確保事業やイベントを行うことで地域枠を始めとした医師との関係づくりや医学生への意識づけを行うことができた。								

2 健康づくりの推進

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
健康寿命（男女別）の延伸	男	81.47歳	82.02歳						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		81.77歳	82.02歳	81.84歳	82.01歳	82.17歳	—		
		54.5%	100.0%	67.3%	98.2%	127.3%	—		
		B	B	—	—	—	—		
	女	84.90歳	85.66歳						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		84.74歳	84.79歳	84.72歳	84.98歳	85.07歳	—		
		-21.1%	-14.5%	-23.7%	10.5%	22.4%	—		
		D	D	—	—	—	—		
※目標値：2015年度当初島根県平均値									

1 <
--

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
3	がん年齢調整死亡率の減少(人口 10万人当たりの年間死亡者数) ※全年齢合計によるがん年齢調整死亡率（目標 値は島根県平均値）		126.7	125.1	—	—	—		健康医療対策課 (地域医療対策課)	
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
		119.9	113.8	119.2	113.3	114.6	—	—		
		425.0%	806.2%	468.7%	837.5%	756.2%	—			
		A	A	A	A	A	—			
			策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	※全がん75歳未満の年齢調整死亡率 2018年度以降、目標値を75歳未満のがん 年齢調整死亡率の減少 男性92.1 女性46.1を追加	男		97.3	92.1	—	—	—		
			2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
			97.3	89.6	101.0	95.5	91.4	—	—	
			—	—	-71.2%	34.6%	113.5%	—		
—			—	C	B	A	—			
	女		60.7	46.1	—	—	—			
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
		60.7	58.1	57.3	53.1	57.3	—	—		
		—	—	23.3%	52.1%	23.3%	—			
		—	—	B	B	B	—			

【進捗状況】
国が作成する健康指標データの提供が遅れており、6/17時点で2021年度実績値が不明となっている。
全年齢のがん年齢調整死亡率は、前年度より悪化しているものの、目標を達成している。
全がん75歳未満年齢調整死亡率については、男性は着実に低下しているが、女性は前年度より悪化しており、目標値に届いていない。

【前期基本計画の総括】
2018年以降、目標に75歳未満の全がん年齢調整死亡率を追加した。
全年齢の年齢調整死亡率は低下傾向にあり、目標達成できたが、75歳未満については、女性において目標達成できなかった。
がんの早期発見・早期治療を目的に、がん検診の無料化の継続、様々な機会を通じた周知、高校生等を対象にがん教育の実施、
未受診者への個別勧奨等を実施した。
引き続き、取組を継続する。

3 子どもを安心して産み育てる環境づくり

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
子育て世代包括支援センター（仮称）の施設数の増加 ¹ ※全ての妊産婦の状況を継続的に把握し、妊娠 期から育児期までの総合的相談や支援をワン ストップで行う子育て世代包括支援センター（仮 称）の数 <目標達成>	0か所	1か所	1か所	100.0%	A	○		子ども・子育て支援 課（子育て支援課）
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所		A
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 2016（H28）年10月に市役所本庁舎（子育て支援課）内に設置以来、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を実施している。 2022（R4）年4月、野原町への新築移転により、子育て支援センターと同じ建物内に設置され、より連携を強化し、支援している。								
【前期基本計画の総括】 子育て世代包括支援センターとして2016年10月に本庁舎内に設置し、全ての妊産婦の状況を継続的に把握するとともに、妊娠期から子育て期までの総合的相談及び支援をワンストップで行い、安心して妊娠・出産・育児ができるよう、切れ目のない支援を実施している。 同センターの母子保健の機能と、老朽化した子育て支援センターで実施している子育て支援の機能を併せて新たに施設整備の上、2022年4月に開所する方針となり、新築移転に向けて、より連携が強化されるよう、検討・準備を行った。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
認可保育所定員数の増加 ² ※認可保育所の定員数	1,895人	1,955人						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	1,845人	—		
	-33.3%	141.7%	66.7%	66.7%	-83.3%	—		
	A	A	B	—	—	—		
2019年度以降、目標値を2,000人に上方修正								
	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	1,895人	2,000人	1,820人	-71.4%	B	○	○	子ども・子育て支援 課（子育て支援課）
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	1,845人	1,820人		B
	—	—	—	38.1%	-47.6%	-71.4%		
	—	—	—	B	B	B		
【進捗状況】 児童数が減少する中、保護者及び施設ニーズを踏まえた定員設定を行った。								
【前期基本計画の総括】 少子化の影響により、目標値には届かなかったが、保護者ニーズに応じた定員設定を行い、待機児童はゼロだった。また、少子化の中でも民間の保育事業者が安定した経営を行えるよう、施設ニーズに沿った定員設定を行った。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
放課後児童クラブ定員数の増加 3 ※放課後児童クラブの定員数	790人	850人						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	790人	825人	875人	875人	915人	—		
	0.0%	58.3%	141.7%	141.7%	208.3%	—		
	B	B	—	—	—	—		
2018年度以降、目標値を875人に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	790人	875人						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	790人	825人	875人	875人	915人	—		
	—	—	100.0%	100.0%	147.1%	—		
	—	—	A	—	—	—		
2019年度以降、目標値を905人に上方修正 <目標達成>	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	790人	905人	915人	108.7%	A	○	○	子ども・子育て支援課 (子育て支援課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	790人	825人	875人	875人	905人	915人		A
	—	—	—	73.9%	100.0%	108.7%		
	—	—	—	B	A	A		
【進捗状況】 2020年10月に30名の定員増となり、目標を達成した。								
【前期基本計画の総括】 放課後児童クラブの増設等により、目標値である905人を達成し、現在、待機児童はいない状況である。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 地域子育て支援拠点数の増加 ※地域子育て支援拠点数	2施設	3施設						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	—		
	0.0%	0.0%	100.0%	200.0%	200.0%	—		
	A	A	A	—	—	—		
2019年度以降、目標値を4施設に上方修正 ＜目標達成＞	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	2施設	4施設	4施設	100.0%	A	○	○	子ども・子育て支援課 (子育て支援課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	4施設		A
	—	—	—	100.0%	100.0%	100.0%		
	—	—	—	A	A	A		
【進捗状況】 2018年度に三隅地域、2019年度に旭地域に新たに子育て支援拠点施設が開所した。 また、当市の子育て支援ネットワークの中核施設である「子育て支援センターすくすく」について、2022年度の新築移転に向けて整備を行った。								
【前期基本計画の総括】 地域バランスを考慮しながら、新たに子育て支援拠点施設2施設を開所することができた。このことにより、子育て中の親子の交流、育児相談、子育てに関する情報提供等を実施し、地域における子育て力の向上に寄与した。								

4 高齢者福祉の充実

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	地域包括支援センター数の増加	1施設	5施設	5施設	100.0%	A			健康医療対策課 (健康長寿課)
	※地域包括支援センターの数（サブセンターを 自治区ごとに設置）	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設	5施設		A
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 本庁の本センターと各支所にサブセンターを維持し高齢者の相談対応を行っている。									
【前期基本計画の総括】 本所・各支所の5か所に窓口を設置することにより、地域包括支援センターが住民にとってより身近で相談しやすい機関となつた。 2022年度からは包括支援センター運營業務の外部委託を行うが、委託後も引き続き5か所の窓口を維持し、住民と身近でサービスの質を落とさない実施機関となるよう、委託先との協議や勉強会を実施している。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	シルバー人材センター会員数の増加	464人	552人	423人	-46.6%	C			健康医療対策課 (健康長寿課)
	※浜田市シルバー人材センターに登録された会 員数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		475人	470人	455人	455人	429人	423人		C
		12.5%	6.8%	-10.2%	-10.2%	-39.8%	-46.6%		
		B	B	C	C	C	C		
【進捗状況】 2020年度はコロナ禍の影響もあり会員がかなり減少したが、2021年度は6名の微減にとどまった。なお、受託件数、契約金額については大幅な増加をみせている。									
【前期基本計画の総括】 コロナ禍の影響もあり目標値には大きく届かない数値となった。また、受託件数や契約金額は大幅な回復を見せており、需要と供給のバランスを整えるためにも今後も人材確保が喫緊の課題となる。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	要介護認定率の増加の抑制（要介 護者のみ）	18.8%	19.6%	18.3%	162.5%	A		○	健康医療対策課 (健康長寿課)
	※65歳以上の高齢者のうち、要介護1以上の認定 者の割合	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	18.7%	18.6%	18.4%	18.1%	18.4%	18.3%		A
		112.5%	125.0%	150.0%	187.5%	145.0%	162.5%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 年度ごとで多少の増減はあるが、概ね横ばいで推移しており一定の成果はあった。									
【総合振興計画の総括】 介護予防把握事業、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、その他、浜田市独自の施策としての介護予防教室の普及等により、要支援者の早期発見、運動機能の向上、サロン活動等への積極的な参加につなげることができた。また、総合事業緩和型サービスの報酬改定を行い、利用者がより利用しやすいサービスとすることで介護予防事業の利用を図っている。 このような施策により、認定率は横ばいで推移しており目標は達成できたものと評価している。									

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 認知症サポーター養成講座受講者数の増加 ※認知症の人と家族を地域で見守る応援者養成講座の受講者の総数	3,696人	6,000人						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	7,392人	7,559人		
	68.0%	91.4%	122.8%	151.0%	160.4%	100%		
	A	A	A	—	—	—		
	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	3,696人	7,500人	7,559人	101.6%	A		○	健康医療対策課 (健康長寿課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	7,392人	7,559人		A
	—	—	—	91.5%	97.2%	101.6%		
	—	—	—	A	A	A		
2019年度以降、目標値を7,500人に上方修正								
<目標達成>								

【進捗状況】 着実に受講者の積み上げを行っており、現在はコロナ禍で受講者数の増加は低調にはなっているが、ウィズコロナの方針で必要な対策をしながら講習を実施し、受講者の増加につなげている。								
【前期基本計画の総括】 目標値であった7500人の受講を2021年度中に達成した。また、サポーター養成講座受講者のうち、さらに地域で認知症の方を支える地域づくりであるオレンジチームへ発展させることができ、県内でも先進事例となった。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5 市民後見人養成講座受講者数の増加 ※親族後見人と専門職後見人の間の存在として位置づけられる市民後見人養成講座の受講者の総数	70人	150人	127人	71.3%	B			健康医療対策課 (健康長寿課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	78人	88人	88人	108人	108人	127人		B
	10.0%	22.5%	22.5%	47.5%	47.5%	71.3%		
	D	B	B	B	B	B		
	【進捗状況】 権利擁護人材の育成を総合的に推進するため、社会福祉協議会との連携により市民後見人を養成するための研修会等は定期的に開催し、受講者数も右肩上がりに目標値に向かっている。							
【前期基本計画の総括】 目標数値には達していないが、定期的に養成講座や研修会は継続して実施することができており、受講者数は着実に増加している。 引き続き受講者の増加と、実際に活動に繋がる登録者数の増加を目指す。								

5 障がい者福祉の充実

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	地域生活支援拠点数の増加	0か所	1か所	0か所	0.0%	C		○	地域福祉課
	※障がい者の地域生活を支援する機能を集約した拠点数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	C	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		C	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 市内事業者を対象とした事業説明会の実施、実施要綱の制定などを行い、2022年4月からの拠点整備事業開始に向け、準備を進めた。									
【前期基本計画の総括】 事業開始には至らなかったものの、実施要綱を制定し、複数事業者が分担して機能を担う「面的整備型」で拠点を整備するなど、市の方針を明確にした。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	障がい児通所支援事業所数の増加	3か所	5か所	15か所	600.0%	A			地域福祉課
	※身近な地域で障がい児の療育・発達について専門的な支援が提供される事業所数 ＜目標達成＞	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		5か所	5か所	7か所	10か所	13か所	15か所	A	
		100.0%	100.0%	200.0%	350.0%	500.0%	600.0%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 利用者の増加に伴い事業所数も増加し、目標を上回る事業所数となった。									
【前期基本計画の総括】 目標を上回る事業所数となった。事業所の増加によりサービスの供給は十分となったので、今後はサービス内容や、支援員の質の向上を目指す。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	手話通訳奉仕員登録者数の増加 （手話通訳士・者含む）	49人	84人	83人	97.1%	B			地域福祉課
	※手話通訳奉仕員登録者数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		49人	66人	67人	73人	62人	83人	B	
		45.7%	48.6%	51.4%	68.6%	37.1%	97.1%		
		B	A	B	B	C	B		
【進捗状況】 2か年の養成講座が終了したことにより、2021年度は登録者数が増加した。毎年高齢等により奉仕員活動ができなくなった辞退者も一定数いる。									
【前期基本計画の総括】 当初の現状値から増加はしたが目標値達成に至らなかった。今後も実活動者が増加するよう、PR活動を継続していく。									

6 地域福祉の推進

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
「避難行動要支援者名簿」の提供 を受ける地域の関係団体数の増加 1 ※名簿を基に地域防災に取り組む団体数（消防 団、民生委員を除く。）	44団体	70団体						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	91団体	99団体	101団体	111団体	119団体	128団体		
	180.8%	211.5%	219.2%	257.7%	288.5%	323%		
	A	A	—	—	—	—		
2018年度以降、目標値を120団体に上方修正 ＜目標達成＞	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	44団体	120団体	128団体	110.5%	A			地域福祉課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	91団体	99団体	101団体	111団体	119団体	128団体		A
	—	—	75.0%	88.2%	98.7%	110.5%		
	—	—	B	B	B	A		

【進捗状況】
自治会が1団体、自主防災組織が8団体増え、地域の関係団体数が128団体（地区まちづくり推進委員会・自治会・町内会40、社協1、自主防災組織87）となったことにより、目標を達成した。

【前期基本計画の総括】
2018年度以降、当初の目標値であった70団体から数値を上方修正し、120団体を目標として定めた。
目標修正以降は、数値は安定して増加傾向にあり、最終的に目標達成に至った。
引き続き、関係団体数の増加への取組を続けていく。

1 学校教育の充実

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
1 「総合的な学習の時間」で 学習したことが普段の生活 や社会に出たときに役立つ と思う子どもの割合の増加	小6	83.5%	90.0%	88.2%	72.3%	B	○		学校教育課	
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
		79.7%	—	86.9%	88.8%	89.5%	88.2%	B		
		-58.5%	—	52.3%	81.5%	92.3%	72.3%			
		C	—	B	B	B	B			
		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
2 ※全国学力・学習状況調査による肯定 率 2020年度以降、目標値を90%に上方修 正 ＜目標達成＞	中3	74.1%	80.0%							
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
		71.6%	—	85.8%	91.2%	90.9%	—			
		-42.4%	—	198.3%	289.8%	284.7%	—			
		C	—	A	A	—	—			
	中3	74.1%	90.0%	90.9%	105.7%	A	○			
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
		71.6%	—	85.8%	91.2%	88.3%	90.9%	A		
		—	—	—	—	89.3%	105.7%			
		—	—	—	—	B	A			
	【進捗状況】 中学校においては、地域を題材にして生徒自らが地域についての課題を設定し、情報を収集・整理し、解決に向けた取組について考え、表現をする総合的な学習に取り組んでいる。このような身近な課題の解決に向かった主体的な学びの積み重ねが、役に立つとの思いを抱かせ、目標を達成したことにつながったと考える。小学校においても、目標達成には至っていないが、目標値に近い数値である。学習したことを地域に発信したり、地域からの評価によって学びの充実感を味わえるようにしていくことが必要である。									
	【前期基本計画の総括】 中学校においては、2020年度に目標値を80%から90%に上方修正をしたが達成した。小学校においては、当初設定した目標値90%に0.8%届かなかったが、目標値に迫っている。各学校においては、地域の「ひと、もの、こと」を題材としながら、児童生徒が課題を設定し、解決のゴールを明確にした取組を継続してきた。このことにより、学習したことが身近な生活につながっていることや、このような学び方が将来に役立つとの実感をもつことにつながったと考える。小学校においては、まずは児童が自分事として課題を捉え設定していく取組を充実する必要がある。 ※2017（平成29）年度は全国学力調査から質問が削除されたため現状値不明。2018（平成30）年度意向は独自アンケートを実施。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3 「総合的な学習の時間」において、自分で調べ学習活動に取り組んでいると思う子どもの割合の増加 2020年度以降、目標値を80%に上方修正	小6	57.7%	65.0%						学校教育課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		67.3%	72.6%	75.9%	76.0%	76.5%	—		
		131.5%	204.1%	249.3%	250.7%	257.5%	—		
		A	A	A	A	—	—		
	小6	57.7%	80.0%	76.5%	84.3%	B	○		
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		67.3%	72.6%	75.9%	76.0%	75.6%	76.5%	B	
		—	—	—	—	80.3%	84.3%		
		—	—	—	—	B	B		
		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 ※全国学力・学習状況調査による肯定率 2020年度以降、目標値を80%に上方修正 ＜目標達成＞	中3	52.7%	60.0%						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		60.3%	71.9%	78.7%	79.8%	84.0%	—		
		104.1%	263.0%	356.2%	371.2%	428.8%	—		
		A	A	A	A	—	—		
	中3	52.7%	80.0%	84.0%	114.7%	A	○		
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		60.3%	71.9%	78.7%	79.8%	86.5%	84.0%	A	
		—	—	—	—	123.8%	114.7%		
		—	—	—	—	A	A		
【進捗状況】 中学校においては目標を達成し、小学校においても目標値に近い数値となっている。総合的な学習の時間において意欲的に主体的に学んでいくためには、課題設定が重要である。身近な課題を児童生徒自らが設定することで、情報収集、整理・分析、まとめ・表現といった探究的な学習が可能となっていると考える。小学校においては、児童自らが課題を設定していくための営みを重視していく必要がある。									
【前期基本計画の総括】 小中学校共に2020年度に目標値を小学校は65%から80%、中学校は60%から80%に上方修正をした。中学校においては、この目標を達成した。小学校については、3.5%届かなかったが目標値に迫っている。策定時の現状値と2021年度の数値を比較すると、小学校は18.8%の伸び（57.7%→76.5%）、中学校は31.3%（52.7%→84.0%）伸びている。総合的な学習の時間の指導で大切にしなければならない課題設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現といった一連の探究活動をサイクル化しながら各学校が取り組んできた成果であると考え。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5	自分には良いところがある と思っている子どもの割合 の増加	79.1%	86.0%	77.3%	-26.1%	C			学校教育課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		75.6%	78.5%	76.0%	77.2%	72.1%	77.3%	C	
		-50.7%	-8.7%	-44.9%	-27.5%	-101.4%	-26.1%		
		C	C	C	C	C	C		
6	※全国学力・学習状況調査による肯定 率	73.9%	77.0%	73.9%	0.0%	B			
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		71.6%	73.6%	79.5%	76.4%	77.5%	73.9%	B	
		-74.2%	-9.7%	180.6%	80.6%	116.1%	0.0%		
		C	C	A	B	A	B		
【進捗状況】 中学校においては、策定時と同じ数値であった。小学校においては目標値を若干下回っている。各学校においては、日々の教育活動において児童生徒の努力や成長を教師が見取り、声かけや振り返りカード・ノートへのコメントでそのよさを評価する取組を継続して行っている。また、学期ごとに自己の成長を振り返り、年度末に総括をするキャリア・パスポートの取組も行っている。しかし、自己のよさを実感する児童生徒の増加には至っていない。教師だけではなく、多くの者が児童生徒の取組について肯定的に評価していくことが必要である。									
【前期基本計画の総括】 小学校においては策定時の現状値を1.8%下回っている。中学校においても同率で伸びは見られていない。自己肯定感を味わうことは様々な活動へ意欲的に取り組んでいくために必要である。しかしながら、小学校では23%程度、中学校では26%程度の児童生徒が自分のよさを実感できていないことは、課題である。各学校では、QUアンケート調査を実施し、その結果を分析することで学級や個々の児童生徒の指導に生かす取組を行っている。自分のよさを実感できていない児童生徒への取組を強化するとともに、これらの子が、まずは、家族に大切にされているとの実感をもつことができるような取組も必要である。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
7	人の気持ちが分かる人間になり たいと思っている子どもの 割合の増加	90.4%	95.0%	94.9%	97.8%	B			学校教育課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		—	—	92.4%	92.2%	95.8%	94.9%	B	
		—	—	43.5%	39.1%	117.4%	97.8%		
		—	—	B	B	A	B		
8	※全国学力・学習状況調査による肯定 率	97.0%	98.0%	96.8%	-20.0%	C			
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		—	—	96.7%	95.7%	96.1%	96.8%	C	
		—	—	-30.0%	-130.0%	-90.0%	-20.0%		
		—	—	C	C	C	C		
【進捗状況】 小中学校共に目標値には達していないが、95%を超える数値となっている。各学校において、人権教育をはじめとして他者の気持ちを考える指導を日々の教育活動において実施してきた。また、道徳科においても、道徳の授業において日々の生活を補充・深化・統合する学習を行っている。									
【前期基本計画の総括】 小学校では、目標値の95.0 %に0.1%届かなかったが、策定時の現状値を全ての年度で超えている。中学校においては、目標値の98.0%に1.2%届かなかった。しかしながら、小中学校共に90%を超える数値となっており、他者への思いやりのある児童生徒は育っている。全ての児童生徒に他者を思いやる心情を育てていくために、人権教育や道徳教育を更に推進していく。 ※2016（平成28）年度は全国学力調査から質問が削除されたため現状値不明。2018（平成30）年度意向は独自アンケートを実施。									

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
9 学校給食での地域食材利用率の増加 ※市内小中学校の給食における地元食材利用率	58.2%	70.0%	69.8%	98.3%	B		○	教育総務課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	70.9%	71.8%	70.5%	68.0%	61.9%	69.8%		B
	107.6%	115.3%	104.2%	83.1%	31.4%	98.3%		
	A	A	A	B	C	B		
【進捗状況】 地元産品の活用を意識した献立の作成を行い、地域食材率の増加に努めた。特に2021年度は浜田産のどくろ（尾頭付き）を給食で提供した。								
【前期基本計画の総括】 栄養教諭、学校栄養士の意識醸成、献立作成の工夫により、概ね目標を達成できた。 天候不良等により、食材調達ができず、達成値が低調に終わったこともあったため、安定的な仕入れルート確保等の対策が課題である。								

2 家庭教育支援の推進

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 親学プログラムの実施回数の増加 ※親学プログラムを活用した学習機会の提供回数	11回	25回	10回	-7.1%	C			学校教育課 (生涯学習課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	17回	12回	20回	21回	11回	10回	C	
	42.9%	7.1%	64.3%	71.4%	0.0%	-7.1%		
	A	B	B	A	C	C		
【進捗状況】 HOOP!の活用について、2020年度に引き続き事前に市内小学校、中学校、保育所及び子ども園、幼稚園に希望調査を行ったが、2020年度同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を控えるといった回答が多く、前年より回数は減少した。								
【前期基本計画の総括】 2020年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施回数が減少したため、目標は未達であるが、実施にあたっては十分な感染拡大防止対策を行い取り組んだ。 今後は、実施を希望する学校等のみの実施ではなく、公平に学習機会を創出することが課題である。								

3 社会教育の推進

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
ふるさと郷育ネットワーク団体数の増加 <small>1</small> ※中学校区でふるさと郷育を協議するネットワーク団体の数 <目標達成>	3団体	9団体	9団体	100.0%	A	○		学校教育課 (生涯学習課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	8団体	8団体	9団体	9団体	9団体	9団体		A
	83.3%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 各中学校区エリアにおいて、例年通りエリアコーディネーターを設置し、各中学校区ネットワーク会議の開催や事業支援を行った。また、事業説明や取組の振り返り、意見交換、実践発表等を行い、ふるさと郷育を推進した。								
【前期基本計画の総括】 各中学校区エリアにおいてエリアコーディネーターを設置し概ね目標を達成することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、ネットワーク会議や事業の頻度は減少したが、地域と学校を繋ぐ役割を務め、連携を取りながらふるさと郷育の推進に努めた。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
学校支援活動に参加したボランティア人数の増加 <small>2</small> ※学校支援地域本部事業のボランティアの延べ参加者数	7,528人	8,500人	2,684人	-498.4%	C			学校教育課 (生涯学習課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	6,668人	6,340人	6,924人	7,118人	3,830人	2,684人		C
	-88.5%	-122.2%	-62.1%	-42.2%	-380.5%	-498.4%		
	C	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学習支援に係る活動の自粛及び活動の頻度減少、事業の中止等があったことに伴い、前年度に続いて目標値から劣化した。								
【前期基本計画の総括】 2020年度及び2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動頻度は大幅に減少したが、感染症対策を取りながら活動を行った。ボランティア側からは、児童及び生徒と接することについて不安の声もあったため、学校と地域の間で意見のすり合わせを行った上で、事業を実施した。今後は、活動に参加するボランティアの高齢化や、確保が課題である。								

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	地域課題の解決支援事業を実施する公民館数の増加	3公民館	26公民館	26公民館	100.0%	A	○		まちづくり社会教育課 (生涯学習課)
	※「地域課題の解決支援事業」に取り組む公民館の数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		16公民館	14公民館	8公民館	26公民館	26公民館	26公民館		A
	<目標達成>	56.5%	47.8%	21.7%	100.0%	100.0%	100.0%		
	A	A	B	A	A	A			
【進捗状況】 全てのまちづくりセンターにおいて、地域の実態や状況に応じた地域課題の解決に向けた事業を計画し実施に移すよう努めた。									
【前期基本計画の総括】 全てのまちづくりセンターにおいて、地域の実態や状況に応じた地域課題の解決に向けた事業を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施を中止せざるを得ないこともあったが、消毒や換気の徹底、事業時間の短縮、三密を避ける等、感染拡大防止対策を万全に行った上で、いずれのセンターにおいても計画していた事業を実施し、地域課題の解決に資することができた。今後も、協働のまちづくりの推進のため、各センターにおいて引き続き事業実施に向けて取り組む。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4	図書館利用登録率の増加	34.3%	40.0%	51.8%	307.0%	A		○	中央図書館
	※市民の図書館利用者カード登録者の割合	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		36.3%	40.5%	42.9%	46.1%	42.5%	51.8%		A
	<目標達成>	35.1%	108.8%	150.9%	207.0%	143.9%	307.0%		
	B	A	A	A	A	A			
【進捗状況】 市民との協働により定期的に開催する読み聞かせや読書週間等の各種イベント、各種団体との共同による展示等により読書活動の普及に努めた。									
【前期基本計画の総括】 毎年度登録者数も増加し、目標を大きく上回ることができた。各館が、ボランティアや各種団体の協力により地域に根差した読書活動の普及を行うことができた。今後も引き続き、市民との協働による図書館運営に努める。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5	市民一人当たりの図書貸出冊数の増加	5.0冊	7.0冊	5.3冊	16.5%	B		○	中央図書館
	※市民一人当たりの年間の図書貸出冊数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		5.4冊	5.3冊	5.8冊	5.6冊	4.9冊	5.3冊		B
		20.0%	15.0%	40.0%	30.0%	-5.0%	16.5%		
	B	B	B	B	C	B			
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ貸出冊数も蔵書の充実等により2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響前の2019年度には届かないものの近い数値に持ち直すことができた。									
【前期基本計画の総括】 目標値を達成できなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2020年度以外は策定時の数値を下回ることなく、貸出冊数を維持することができている。今後は、まず、6冊を越える実績となるよう一層の蔵書の充実、情報発信等に努めていく。									

4 生涯スポーツの振興

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	総合スポーツ大会参加者の増加	2,623人	4,000人	1,609人	-73.6%	C			文化スポーツ課 (生涯学習課)
	※総合スポーツ大会への年間参加者の数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		2,397人	2,430人	2,656人	2,328人	1,907人	1,609人		C
		-16.4%	-14.0%	2.4%	-21.4%	-52.0%	-73.6%		
		C	C	C	C	C	C		
【進捗状況】									
新型コロナウイルス感染症の影響により、6競技について大会が中止となった。また、スキーについては、積雪不足によるスキー場閉鎖のため実施できなかった。2020年度からさらに開催できなかった種目が増え参加者の減数となった。									
【前期基本計画の総括】									
子どもや若者層の人口が減少する中で、目標値が高過ぎたと振り返る。新型コロナウイルス感染症の影響を受けるまでの4年間は、目標の達成には至らなかったものの概ね現状を保っており、一定の評価はできると考える。今後は、主催の浜田市体育協会と協力し、スポーツ振興を進め大会参加者の現状維持、増加に努める。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	トップアスリート教室の開催回数の増加	2回	4回	0回	-100.0%	D			文化スポーツ課 (生涯学習課)
	※トップアスリートによる教室の年間開催回数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		3回	3回	3回	3回	0回	0回		B
		50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	-100.0%	-100.0%		
		A	A	A	A	D	D		
【進捗状況】									
例年実施している「JFA夢の教室」が新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインによる教室となったため、この度も開催を見送った。教室の開催はできなかったが、オリンピック出場を果たした三浦龍司選手を応援する企画を行い、同様の目的は達成できたと考える。									
【前期基本計画の総括】									
新型コロナウイルス感染症の影響を受けるまでは、「JFA夢の教室」により、夢を持つことと努力を続けることの大切さを子どもたちに伝えることができた。また、各種団体との連携による出前授業等も不定期で実施し、体験型の学びを行うことで、子どもたちの向上意識を高める取組ができた。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	軽スポーツ教室の開催回数の増加	6回	12回	1回	-83.3%	D			文化スポーツ課 (生涯学習課)
	※市が主催する軽スポーツ教室の年間開催回数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		12回	12回	12回	12回	6回	1回		B
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	-83.3%		
		A	A	A	A	C	D		
【進捗状況】									
感染状況が比較的落ち着いていた時期や屋外で開催できるものについては、感染症対策を徹底した上で行ったが、広域の市民を対象とする教室はほぼ中止とした。まちづくりセンターエリアで実施するものについては、こちらも種目や地域の状況によるが、感染症対策をとった上で実施できた活動もあった。									
【前期基本計画の総括】									
新型コロナウイルス感染症の影響を受けるまでは、スポーツ推進委員やまちづくりセンター等の協力により、市民を対象とした軽スポーツ教室を実施することができた。世代を問わず誰もが楽しめる軽スポーツを行うことで、市民の健康増進や交流の場としての役割を果たすことができた。今後も、現状の活動を維持するよう努める。									

5 歴史・文化の伝承と創造

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	石央文化ホール利用者数の増加	51,560人	55,000人	20,146人	-913.2%	C			文化スポーツ課 (文化振興課)
	※石央文化ホールの年間利用者数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		56,374人	47,441人	52,340人	45,868人	11,473人	20,146人		B
		139.9%	-119.7%	22.7%	-165.5%	-1165.3%	-913.2%		
		A	B	B	C	D	C		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は落ち込んだが、社会における感染状況の落ち着きに伴って施設における感染防止対策を講じた各種事業が再開してきたことにより、コロナ禍以前の2019年度実績には届かなかったものの改善が図られた。									
【前期基本計画の総括】 大規模ホールという性質からもコロナ禍の影響を強く受け目標値達成に至らなかったが、感染防止対策を踏まえた取組や新たに 出前事業等を行ってきたことで、利用者数は少しずつ回復傾向にある。 引続き感染防止対策を徹底しながら取組みを継続し、利用者数の回復に努めていく。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	市内美術館における創作活動等の 受講者数の増加	9,763人	10,000人	4,716人	-2129.5%	C			文化スポーツ課 (文化振興課)
	※市内美術館でワークショップ、創作活動、講座等によって芸術に触れる人数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		10,796人	10,469人	11,968人	10,811人	3,074人	4,716人		B
		435.9%	297.9%	930.4%	442.2%	-2822.4%	-2129.5%		
		A	B	A	A	D	C		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により受講者数は減少したが、感染状況が緩和する中で感染防止対策を講じながら魅力ある創作活動、講座等の再開に努めてきたことで、コロナ禍以前の2019年度実績には届かなかったが改善が図られた。									
【前期基本計画の総括】 コロナ禍において室内の滞在型で行う創作活動は、三密の回避や人数制限などより感染防止対策が求められるが、実施方法を工夫しながら継続してきたことにより受講者数は徐々に回復傾向にある。 引続き感染防止対策を徹底しながら継続し「美術館に行ってみよう」人口の回復に努めていく。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	文化財の指定・登録件数の増加	66件	70件	73件	175.0%	A			文化スポーツ課 (文化振興課)
	※国、県、市が指定した文化財の件数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	<目標達成>	66件	66件	68件	73件	73件	73件		A
		0.0%	0.0%	50.0%	175.0%	175.0%	175.0%		
		B	B	B	A	A	A		
【進捗状況】 市文化財審議委員と協力し、指定文化財候補の選出と調査を進めている。									
【前期基本計画の総括】 指定文化財候補の選出と調査を進め、市文化財審議会に提示し、市指定文化財として保護することができた。									

Ⅳ 自然環境を守り活かすまち【環境部門】	6項目
-----------------------------	------------

1 特性を活かした景観形成の推進

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 緑と花の沿道推進事業実施件数の増加 ※事業に取り組んだ累積実施件数	89件	124件	101件	34.3%	D			建築住宅課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	96件	98件	98件	99件	100件	101件		D
	20.0%	25.7%	25.7%	28.6%	31.4%	34.3%		
	B	B	C	C	C	D		
【進捗状況】 目標値は5件/年としていたが、6か年で8件/30件と目標値を下回った。 完了検査の際に、チラシで設計者等に制度を紹介したが、問い合わせもほとんどなく、申請に至らなかった。								
【前期基本計画の総括】 目標値は5件/年としていたが、6か年で8件/30件と目標値を下回った。 敷地を駐車場にするものが多く、実績件数が少なかった。 2021年度末で制度を終了した。								

2 環境保全と快適な住環境づくりの推進

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	環境出前講座の開催回数の増加	0回	30回	23回	76.7%	B			環境課
	※出前講座の通算開催回数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		11回	21回	29回	22回	26回	23回	B	
		36.7%	106.7%	96.7%	73.3%	86.7%	76.7%		
		A	A	A	B	B	B		
【進捗状況】 夏休み期間中、放課後児童クラブからの依頼は増加したが、新型コロナウイルス感染症等の関係で学校や地域からの要望が減少したため、達成率の伸びが少なかった。 また、2017年度の実績値について修正があり、21回であった。									
【前期基本計画の総括】 興味を持ってもらえるプログラムの提供や各団体への周知により申込団体を増加することができたが、新型コロナウイルスの影響により横ばいの状況が続いていると想定される。今後も周知等呼びかけを行い、動向を見ていきたい。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	環境アダプトプログラム登録団体数の増加	29団体	35団体	37団体	133.3%	A			環境課
	※環境アダプトプログラムへの登録団体数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	29団体	32団体	32団体	32団体	35団体	37団体	A	
		0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	133.3%		
		B	A	B	B	A	A		
【進捗状況】 新たに2団体から登録があり、増加となった。									
【前期基本計画の総括】 登録解除された団体もあったが周知を行うことによって活動団体を増加させることができた。									

3 地球温暖化対策の推進

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
はまだエコライフ推進隊の会員数の増加 1 ※はまだエコライフ推進隊の会員数	143会員	190会員	154会員	23.4%	B			環境課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	143会員	143会員	144会員	149会員	153会員	154会員	B	
	0.0%	0.0%	2.1%	12.8%	21.3%	23.4%		
	B	B	B	B	B	B		
【進捗状況】 企業・個人への勧誘活動を行ったが、1団体の登録であった。新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体の活動が制限されることも要因の一つであると思われる。								
【前期基本計画の総括】 イベント主催者及び企業等に勧誘活動を行い、会員の増加につながったが、個人・団体の退会もあり達成率の伸びが少なかった。今後も広報やホームページ等を使って周知を行うことに加え、団体や町内へ直接呼びかけを行うことに努めたい。								

4 循環型社会の構築

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	市民一人あたりのごみ排出量の減少 ※総ごみ排出量÷本市人口÷365日	1,004g	967g	994g	27.0%	B			環境課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		939g	955g	971g	977g	989g	994g	B	
		175.7%	132.4%	89.2%	73.0%	40.5%	27.0%		
		A	A	B	B	B	B		
【進捗状況】 ごみの排出量は、世帯数に比例していると言われている。 世帯数が減少し、ごみの総排出量も減少したが、世帯数減少数に対しごみの排出量の割合が高かったこと、またコロナ禍により外出することが減少したことも一人あたりのごみ排出量が増えたことの要因と考える。									
【前期基本計画の総括】 一人あたりのごみ排出量が増えている。 コロナ禍による外出が減少したことにより、一人あたりのごみ排出量が増えたと思われるため、今後の動向を見ていきたい。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	ごみのリサイクル率の増加 ※（直接資源化量＋中間処理後資源化量）÷総ごみ排出量×100	23.7%	24.6%	19.8%	-430.0%	D			環境課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		23.7%	22.9%	22.8%	20.7%	20.2%	19.8%	D	
		0.0%	-88.9%	-100.0%	-333.3%	-388.9%	-430.0%		
		B	C	C	D	D	D		
【進捗状況】 資源ごみの排出量が減少した。プラスチック類を燃やせるごみで出す家庭が増えており、その中にリサイクルできるプラ類もある。また、古紙類もリサイクルではなく燃やせるごみとして出されていることがリサイクル率の減少になっていることと思われる。 また、プラスチック類や古紙については民間において独自にリサイクルボックス等を設置され、適正処理が行われているケースも多くある。今後はそういった実態把握に努め、リサイクル率の算出を行うよう取組を行う。									
【前期基本計画の総括】 リサイクルに対する意識が薄れ、リサイクルできる物も燃やせるごみで出されていることがリサイクル率の減少になっていると想定する。									

1 道路網の整備

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 浜田三隅道路の全線開通 ※浜田三隅道路全線14.5Kmの供用開始、石見三隅ICの供用開始 ＜目標達成＞	一部 供用開始	2016年度 供用開始	2016年度 供用開始	100.0%	A			建設企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	2016年度 供用開始	2016年度 供用開始	2016年度 供用開始	2016年度 供用開始	2016年度 供用開始	2016年度 供用開始		A
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 2016年度に供用開始しており、事業完了となっている。								
【前期基本計画の総括】 前期計画期間の目標のとおり、2016年度供用開始しており、目標を達成できている。国への要望活動や工事実施に当たって地元との協力関係を構築してきた結果であった。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 三隅益田道路の全線開通 ※三隅益田道路全線15.2Kmの供用開始、（仮称）岡見ICの供用開始	事業中	供用開始	事業中	63.0%	B			建設企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	事業中	事業中	事業中	事業中	事業中	事業中		B
	22.0%	33.0%	42.0%	54.0%	51.0%	63.0%		
	A	A	B	B	B	B		
【進捗状況】 2021年度63%まで進捗しており、2025年度の開通に向けて順調に進められている。								
【前期基本計画の総括】 2019年12月に国土交通省が三隅益田道路の2025年度中の開通見通しを公表した。開通見通しが明確になったことは大きな前進であり、要望活動の成果があったと評価する。2025年度の開通に向けて今後も要望を行っていく。								

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	県道改良促進 ※14路線の内7路線、13工区の完了をめざす。	14路線 (21工区)	7路線 (8工区)	9路線 (10工区)	84.6%	A			建設企画課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		10路線 (16工区)	9路線 (15工区)	9路線 (14工区)	9路線 (12工区)	9路線 (11工区)	9路線 (10工区)	A	
		38.5%	46.2%	53.8%	69.2%	76.9%	84.6%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 2021年度末の時点で9路線11工区の改良が完成した。									
【前期基本計画の総括】 2021年度末で、目標13工区のうち8割を超える工区において道路改良が完了しており、島根県において事業の促進を図っていた いている。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4	農道整備促進 ※一般農道田原地区、はまだ中央地区、櫛田原 地区の3路線合計の整備率（3路線完了） ＜目標達成＞	69%	100%	100%	100.0%	A			農林振興課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		80%	83%	89%	97%	98%	100%	A	
		35.5%	45.2%	64.5%	90.3%	93.5%	100.0%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 残りの2路線も2021年度完成した。									
【前期基本計画の総括】 目標年度までに3路線完成という目標は達成した。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5	林道整備促進 ※林道足尾線、金城弥栄線、三隅線の3路線合計 の整備率（3路線の内三隅線完了）	78%	90%	74%	-33.3%	A			農林振興課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		82%	66%	68%	69%	72%	74%	A	
		33.3%	-100.0%	-83.3%	-75.0%	-50.0%	-33.3%		
		A	B	B	B	A	A		
【進捗状況】 2017年度に事業費の改定があり、金城弥栄線の事業費が大幅に増額となったことから、進捗率は上がってないが、目標設定当時 の事業費との比較を行うと、進捗率は95%になる為、概ね順調に事業進捗している。									
【前期基本計画の総括】 2021年度にて1路線完成（足尾線）した。残り2路線についても、順次整備を行う。 目標年度に1路線完成という目標は達成した。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
6	市道浜田527号線道路改良	0%	100%	64%	64.0%	B		○	建設整備課
	※〔浜田自治区〕浜田駅周辺の市道を整備し、 駅南北の連絡を円滑にする。	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		5%	13%	29%	50%	54%	64%	C	
		5.0%	13.0%	29.0%	50.0%	54.0%	64.0%		
		C	C	B	A	B	B		
【進捗状況】 踏切北側の道路工事が一部完了した。 完成期日を2024年度に延期した。									
【前期基本計画の総括】 踏切北側の道路については、一部改良が完了し、交通状況が改善された。 踏切の拡幅工事については、2023年度に完成予定であったが、JR施設工事工程の見直しの結果2024年度見込みとなった。 引き続き、後期基本計画期間内において、早期完成を目指す。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
7	市道小国峠線道路改良	0%	50%	0%	0.0%	D		○	建設整備課
	※〔金城自治区〕狭小な市道の改良を行う。	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		0%	0%	0%	0%	0%	0%	D	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		D	D	D	D	D	D		
【進捗状況】 県道や県河川の改修が伴うため、事業規模が大きく、実施に至らなかった。									
【前期基本計画の総括】 県と調整を進めた結果、2025年度までに橋梁架け替えが完成する見込みとなった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
8	市道戸地線道路改良	10%	40%	43%	110.0%	A		○	建設整備課
	※〔旭自治区〕集落間を結ぶ幹線市道の整備を 行う。	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	13%	18%	26%	32%	40%	43%	A	
		10.0%	26.7%	53.3%	73.3%	100.0%	110.0%		
		B	B	B	B	A	A		
【進捗状況】 総延長1,400mの内、340mの改良が完了した。									
【前期基本計画の総括】 当該市道沿いにある住家から主要地方道浜田作木線を結ぶ区間については改良が完了し、地域住民の利便性が向上した。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
9 市道谷線道路改良 ※〔弥栄自治区〕主に突角剪除を行う。 2018年度以降、目標値を100%に上方修正 ＜目標達成＞	0%	50%								
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				
	54%	76%	86%	95%	100%	100%				
	108.0%	152.0%	172.0%	190.0%	200.0%	200.0%				
	A	A	—	—	—	—				
	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課		
	0%	100%	100%	100.0%	A		○	建設整備課		
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価		
	54%	76%	86%	95%	100%	100%		A		
	—	—	86.0%	95.0%	100.0%	100.0%				
	—	—	A	A	A	A				
	【進捗状況】 全ての箇所の改良が完了した。									
	【前期基本計画の総括】 改良が完了したことで、急カーブ箇所の改善ができ交通の安全性が向上した。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
10 市道白砂1号線道路改良 ※〔三隅自治区〕急カーブ、狭小市道の改良、及び集落の環状機能の充実を図る。 2018年度以降、目標値を100%に上方修正	30%	50%								
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				
	64%	85%	82%	86%	72%	75%				
	170.0%	275.0%	260.0%	280.0%	211.0%	225.0%				
	A	A	—	—	—	—				
	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課		
	30%	100%	75%	64.3%	B		○	建設整備課		
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価		
	64%	85%	82%	86%	72%	75%		B		
	—	—	74.3%	80.0%	60.3%	64.3%				
	—	—	A	B	B	B				
	【進捗状況】 総延長1400mの内、640mの改良が完成した。									
	【前期基本計画の総括】 工事費が増大し、2021年度内に目標達成に至らなかったが、今後も、引き続き改良を実施し、地域住民の利便性向上を目指す。									

2 公共交通の充実

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	生活路線バス1便当たり利用者数の維持 ※生活路線バス1便当たりの年間利用者数	2.0人／便	2.0人／便以上	1.5人／便	-25.0%	C	○	○	地域活動支援課 (まちづくり推進課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		1.6人／便	1.5人／便	1.5人／便	1.4人／便	1.1人／便	1.5人／便	C	
		-20.0%	-25.0%	-25.0%	-30.0%	-45.0%	-25.0%		
		C	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 従来からの課題である人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇、バス利用（バス停までの移動等）困難者の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響も継続しており、目標達成には至らなかった。									
【前期基本計画の総括】 人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇、バス利用（バス停までの移動等）困難者の増加の影響が予想以上に大きく、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて運行計画の見直しを行ったものの利用者の維持を計画どおり進めることは困難であった。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えも大きく影響した。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持 ※予約型乗合タクシー1便当たりの年間利用者数	1.8人／便	1.8人／便以上	1.3人／便	-27.8%	C	○	○	地域活動支援課 (まちづくり推進課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		1.5人／便	1.6人／便	1.8人／便	1.7人／便	1.4人／便	1.3人／便	C	
		-16.7%	-11.1%	100.0%	-5.6%	-22.2%	-27.8%		
		C	B	A	C	C	C		
【進捗状況】 従来からの課題である人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響が継続しており、目標達成には至らなかった。									
【前期基本計画の総括】 人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇の影響が予想以上に大きく、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて運行計画の見直しを行ったものの利用者の維持を計画どおり進めることは困難であった。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えも大きく影響した。									

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3 輸送事業に取り組む地域自主組織 数の増加 ※主体的に輸送事業に取り組む地域自主組織の 数 ＜目標達成＞	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	○	○	地域活動支援課 (まちづくり推進課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	1団体	3団体	3団体	3団体	3団体	3団体	A	
	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	B	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 3地区においてコミュニティワゴン運送（市からの無償貸与の自家用車を使用した輸送活動）が継続され、その活動を支援した。								
【前期基本計画の総括】 コミュニティワゴン運送に取り組む地区では、貴重な移動手段として定着している。 一方で、ドライバーの維持や財源の確保等、活動継続に向けた課題解決が必要となっている。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 環境整備を実施したバス停数の増 加 ※市がベンチや上屋の設置等、環境改善に取り 組んだバス停数の累計 ＜目標達成＞	3か所	6か所	6か所	100.0%	A	○		地域活動支援課 (まちづくり推進課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	4か所	5か所	5か所	6か所	6か所	6か所	A	
	33.3%	66.7%	66.7%	100.0%	100.0%	100.0%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 関係機関に働きかけを行ったが、新たなバス停の環境整備には至らなかった。								
【前期基本計画の総括】 交通事業者の協力もあり、目標達成することができた。 利用者の多い合庁前バス停の待合所整備や交通結節点となる旭支所前バスロータリー整備が実施できたことで利用者の利便性の 向上につながった。								

3 地域情報化の推進

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 市民向けのG I S 情報提供 ※市民向け公開レイヤー数 ＜目標達成＞	0	14	15	107.1%	A			政策企画課 (情報政策課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	1	9	11	13	15	15	A	
	7.1%	64.3%	78.6%	92.9%	107.1%	107.1%		
	C	B	A	A	A	A		
【進捗状況】 県が運営する「島根県オープンデータカタログサイト」と「マップonしまね」の2サイトにオープンデータを掲載している。								
【前期基本計画の総括】 目標値を達成した。 引き続き各課が所有している情報を精査し、公開に向けてデータを整備する。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 各種システムのクラウドサービス への切り替え ※庁内システムをクラウドサービスに切り替え た件数 ＜目標達成＞	2件	7件	9件	140.0%	A			総務課デジタル推進 室 (情報政策課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	3件	4件	4件	4件	8件	9件	A	
	20.0%	40.0%	40.0%	40.0%	120.0%	140.0%		
	B	A	B	B	A	A		
【進捗状況】 避難行動要支援者名簿システムをクラウドサービスへ切り替えた。								
【前期基本計画の総括】 国のインターネット分離方針により当初予定していたグループウェア等のクラウド化は実施できなかったが、システム更新にあ わせて基幹系システムをクラウドサービスに切り替える等、目標値以上の件数をクラウド化することができた。								

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	BCP（事業継続計画）の策定・ 運用 ※BCP計画を策定する ＜目標達成＞	未策定	策定	策定	100.0%	A			防災安全課 (情報政策課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		未策定	未策定	策定	策定	策定	策定	A	
		20.0%	20.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
		C	C	A	A	A	A		
【進捗状況】 2018年度に策定済み。									
【前期基本計画の総括】 2018年度に策定完了した。実情に応じた随時改訂が必要と考える。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4	携帯電話不感地域の解消 ※携帯電話が利用できない集落の数 ＜目標達成＞	8集落	0集落	0集落	100.0%	A		○	政策企画課 (情報政策課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		8集落	8集落	1集落	0集落	0集落	0集落	A	
		0.0%	0.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%		
		D	D	A	A	A	A		
【進捗状況】 各携帯電話会社への呼びかけもあり、市内の屋外での携帯電話不感地域は0集落となっている。									
【前期基本計画の総括】 目標値を達成した。 当初目的は達成されたと考える。									

5 快適な生活基盤の整備

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	管路の耐震化率の増加 ※災害拠点病院等の重要給水施設への耐震管路の割合 2013年延長324,510m 2021年延長330,000m	10.5% (33,973m)	21.2% (70,000m)	13.7% (45,294m)	29.9%	B			工務課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		10.7% (35,406m)	12.8% (42,248m)	12.8% (42,248m)	13.2% (43,674m)	13.4% (44,314m)	13.7% (45,294m)	B	
		1.9%	21.5%	21.5%	25.2%	27.1%	29.9%		
		D	B	B	B	B	B		
【進捗状況】 浜田市上水道事業施設耐震化・更新計画に基づき市街地管路の耐震化を実施した。									
【前期基本計画の総括】 2019年度より更新計画に基づいた管路の耐震化を実施している。今後は管路延長や目標値を更新計画に基づく数値にする必要がある。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	汚水処理人口普及率の増加 ※汚水処理施設が整備されている区域内人口の割合	44.1%	51.0%	49.1%	72.5%	B			下水道課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		46.0%	46.8%	47.8%	48.1%	48.5%	49.1%	B	
		27.5%	39.1%	53.6%	58.0%	63.8%	72.5%		
		B	B	B	B	B	B		
【進捗状況】 集合処理の整備が現在は無く、普及率を向上させる施策が合併浄化槽補助金のみとなり伸びが少なくなった。									
【前期基本計画の総括】 2018年度までは国府地区公共下水道の整備があり、合併浄化槽の補助金と併せて普及率が順調に伸びてきたが、その後は合併浄化槽補助金のみとなり、補助金の拡充を行ったが、大幅な伸びにつながらなかった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	地籍調査実施済み面積の増加 ※第6次国土調査事業 10年計画（2010年度～2019年度）の目標値を2か年スライド	266.89km ² (40.0%)	406.97km ² (61.0%)	295.03km ² (43.9%)	20.1%	C			建設企画課 (地籍調査課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		285.57km ² (42.8%)	287.10km ² (43.0%)	290.63km ² (43.5%)	292.36km ² (43.8%)	294.98km ² (44.2%)	295.03km ² (43.9%)	C	
		13.3%	14.4%	16.9%	18.2%	20.1%	20.1%		
		B	B	C	C	C	C		
【進捗状況】 近年は、山間部等の広大な面積の調査から市街地の調査へシフトしてきたため、進捗率の伸びが鈍くなっている。									
【前期基本計画の総括】 地籍調査の実施済み面積の増加を目標として事業を進めてきたが、旧浜田市内の人口が多い地区の地籍調査が進んでいないことから、市街地を中心とした調査にシフトしているため、各調査地区の面積は小さく、実施済み面積があまり増加しなかった。									

VI 安全で安心して暮らせるまち【防災・防犯・消防部門】	9項目
-------------------------------------	------------

1 災害に強いまちづくりの推進

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	屋外子局数の増加（浜田自治区）	33局	53局	51局	90.0%	B			防災安全課 （安全安心推進課）
	※屋外拡声子局の数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		46局	51局	51局	51局	51局	51局		B
		65.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%		
		A	A	B	B	B	B		
【進捗状況】 2021年度の増設なし。									
【前期基本計画の総括】 2017年度までに18局を増設した。2018年度以降は、新しい防災システムの構築を検討開始したため、増設を見送った。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	防災防犯メール登録者数の増加	5,826人	10,000人	10,553人	113.2%	A			防災安全課 （安全安心推進課）
	※浜田市防災防犯メールに登録している者の数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	7,841人	8,259人	8,759人	9,156人	10,193人	10,553人		A
		48.3%	58.3%	70.3%	79.8%	104.6%	113.2%		
		B	B	B	B	A	A		
【進捗状況】 目標を達成した。									
【前期基本計画の総括】 広報等様々な手段によって啓発に努め、目標を達成した。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	自主防災組織の組織率の増加	46.5%	85.0%	70.4%	62.1%	B		○	防災安全課 （安全安心推進課）
	※世帯数に対する組織された地域の世帯数の割合	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		65.8%	66.1%	66.1%	66.8%	68.2%	70.4%		B
		50.1%	50.9%	50.9%	52.7%	56.4%	62.1%		
		A	C	C	C	C	B		
【進捗状況】 2020年度から2021年度にかけ、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の合意形成が進まず予定通りの進捗とならなかった。									
【前期基本計画の総括】 防災出前講座を積極的に実施するなどして組織率向上を目指したが、目標達成まで約15%を残している。今後も組織率向上に取り組む必要があると考える。									

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 総合防災訓練参加者数の増加 ※市総合防災訓練に参加する関係者、市民の人数の累計	600人	10,000人	0人	-6.4%	D			防災安全課 (安全安心推進課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	1,800人	2,930人	3,794人	4,711人	0人	0人	D	
	12.8%	24.8%	34.0%	43.7%	-6.4%	-6.4%		
	C	B	B	B	D	D		
【進捗状況】 2021年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により総合防災訓練を中止し、かわりに講演会や情報伝達訓練を実施した。								
【前期基本計画の総括】 年度ごとに様々な訓練を実施し、住民の防災意識向上に努めた。								

2 地域防犯力の強化・交通安全対策の推進

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 ※講座の年間開催回数	6回	40回	4回	-5.9%	D		○	防災安全課 (安全安心推進課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	5回	9回	4回	10回	1回	4回	D	
	-2.9%	8.8%	-5.9%	11.8%	-14.7%	-5.9%		
	D	B	C	C	D	D		
【進捗状況】 2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により講座依頼が大きく減少し、予定通りの進捗とならなかった。								
【前期基本計画の総括】 防犯講座については警察への直接依頼が多く、数字が伸び悩んだ。								

3 消防・救急体制の充実

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	救急救命士の資格取得者数の増加 ※消防職員における救急救命士の資格取得者数	32名	38名	36名	66.7%	B			警防課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		33名	34名	35名	36名	35名	36名	B	
		16.7%	33.3%	50.0%	66.7%	50.0%	66.7%		
		B	A	A	A	B	B		
【進捗状況】 毎年度1人の養成計画を立てて取り組んでおり、2021年度も1人を養成した。									
【前期基本計画の総括】 毎年度1人の養成計画は達成したものの、2020年度の早期退職や疾病による職種転換により、結果的に2名減となり目標を達成することができなかった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	応急手当の講習受講者数の増加 ※生産年齢人口の約2割（5人に1人）	4,542人	5,000人	1,528人	-658.1%	C			警防課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		4,307人	4,285人	4,161人	3,925人	917人	1,528人	C	
		-51.3%	-56.1%	-83.2%	-134.7%	-791.5%	-658.1%		
		C	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 2020年度より受講者数は若干増加したものの、新型コロナウイルス感染症対策の影響により、講習の中止、また場所や人数などの制限をせざるを得ない状況が続き、受講者数の回復には至らなかった。									
【前期基本計画の総括】 新規受講者、リピーターを増やすために浜田市HPや広報誌等を活用しPRを実施したものの、目標を達成することはできなかった。 特に新型コロナウイルス感染症対策の影響により、2020、2021年度は講習の中止、場所や人数などの制限により、受講者数が激減した。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3 まちかど救急ステーション認定事業所数の増加 ※毎年度20事業所を認定 ＜目標達成＞	42事業所	180事業所	183事業所	102.2%	A				警防課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価	
	79事業所	107事業所	142事業所	167事業所	172事業所	183事業所		A	
	26.8%	47.1%	72.5%	90.6%	94.2%	102.2%			
	B	A	A	A	B	A			
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、取組が十分にできず、新規20事業所認定の目標は達成できなかった。									
【前期基本計画の総括】 計画前半は年間30事業所、後半は年間20事業所を目標とし事業を進め、年度により下回ることもあったが、最終的には183事業所となり、目標を達成することができた。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 防火講話・消火訓練実施回数の増加 ※防火講話及び消火訓練の実施回数	29回	50回							
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
	28回	52回	52回	19回	10回	52回			
	-4.8%	109.5%	109.5%	-47.6%	-90.5%	109.5%			
	C	A	A	—	—	—			
2019年度以降、目標値を53回に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
	29回	53回	52回	95.8%	B			予防課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価	
	28回	52回	52回	19回	10回	52回		B	
	—	—	—	-41.7%	-79.2%	95.8%			
	—	—	—	C	D	B			
	【進捗状況】 2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、町内会活動が消極的なこともあって、訓練依頼が減少している。 このような状況の中、目標に近い数字が計上できた要因は、11月に浜田市で使用した地震体験車の効果である。								
【前期基本計画の総括】 訓練実施の大きな要因である地震体験車が浜田市で使用可能な年と期間が決まっていること、また、新型コロナウイルス感染症拡大の防止措置や感染への警戒感から、年度による増減がみられた。									

Ⅶ 協働による持続可能なまち【地域振興部門】

13項目

1 地域コミュニティの形成

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
地区まちづくり推進委員会の組織率の増加 1 ※地区まちづくり推進委員会に参画する町内の組織率	66%	90%	81%	60.4%	B	○		地域活動支援課 (まちづくり推進課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	70%	71%	71%	75%	75%	81%		
	16.7%	20.8%	20.8%	37.9%	37.5%	60.4%		
	A	B	B	B	C	B		B
【進捗状況】 新たに2つの地区まちづくり推進委員会が設立された。また、複数の地区において、設立に向けた取組の支援を行い、地区まちづくり推進委員会設立準備会が立ち上がった地区もあった。								
【前期基本計画の総括】 地区まちづくり推進委員会の設立促進のため、認定要綱の見直し、まちづくり総合交付金制度の活用促進等を行い、2016年度以後に、新たに10団体が設立された。 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での話し合いの場を持つことが難しい時期もあったが、組織化に向けての取組を進めることができた。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
人材育成研修会等の開催回数の増加 2 ※地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数	2回	6回	1回	-25.0%	C	○	○	地域活動支援課 (まちづくり推進課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	3回	3回	3回	2回	2回	1回		
	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	-25.0%		
	B	B	B	B	B	C		B
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を一部中止したことにより開催回数は目標達成には至らなかった。実施した事業は、オンデマンドにより開催した。								
【前期基本計画の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりの開催はできなかったものの、研修会等の開催により、地域リーダーの育成や協働のまちづくりの必要性など住民主体のまちづくりの推進に向けた機運の醸成を図ることができた。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
市民団体の補助事業申請件数の増加 3 ※市民協働活性化支援事業の年間実施件数 <目標達成>	7件	15件	15件	100.0%	A	○		地域活動支援課 (まちづくり推進課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	6件	9件	12件	13件	11件	15件		
	-12.5%	25.0%	62.5%	75.0%	50.0%	100.0%		
	C	B	A	A	B	A		A
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施における感染症対策に係る経費も補助の対象となることを周知した。感染症対策を実施しながら活動を再開された団体が多く、申請件数がコロナ前程度に回復した。								
【前期基本計画の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも最終年度において、目標達成することができた。市民活動団体が行う公益活動の促進と、市民参加機会の創出に寄与することができた。								

2 人がつながる定住環境づくりの推進

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 U・Iターン者数の増加 ※各種支援制度を通じたU・Iターン者の数（うちIターン者数）		34人	50人						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	110人 (94人)		
		143.8%	381.3%	300.0%	350.0%	581.3%	475%		
		A	B	—	—	—	—		
	2018年度以降、目標値を100人に上方修正								
	<目標達成>								
		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
		34人	100人	110人 (94人)	115.2%	A	○	○	定住関係人口推進課 (政策企画課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	110人 (94人)		A
	—	—	72.7%	84.8%	140.9%	115.2%			
	—	—	B	B	A	A			
【進捗状況】 市の各種支援制度等を通じたU・Iターン者数は2020年度に比べて減少した。また、島根県人口動態調査による数値も減少した。 【参考】石見部他市の2021年度U・Iターン者数（島根県人口移動調査）浜田市183人（2020年度浜田市209人）									
【前期基本計画の総括】 定住相談員を中心に、関係機関と連携しながら、移住相談をワンストップで対応した。さらに、移住相談者の名簿管理を行い、移住希望者の近況やニーズを把握し、定住支援情報を提供するなど、丁寧なフォローを行うことで、移住促進に努めた。									
目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 U・Iターン者との意見交換会の 開催回数の増加 ※意見交換会の年間開催回数		1回	3回	1回	0.0%	B	○	○	定住関係人口推進課 (政策企画課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		2回	2回	2回	3回	2回	1回		B
		50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%		
		B	B	B	A	A	B		
【進捗状況】 年2回計画していたU・Iターン者との意見交換会及び交流会は、新型コロナウイルス感染症の状況により、直前で交流会が中止となったため、1回の実施となった。									
【前期基本計画の総括】 シングルペアレント就労人材育成事業の新規研修生受入時の歓迎交流会と、U・Iターン者と地域住民との意見交換会及び交流会を移住定住支援組織と連携して行うことで、浜田市での生活の良さや戸惑いなどを情報共有しながら仲間づくりと地域に馴染めるように努めた。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3 U・Iターン相談件数の増加 ※定住フェア、空き家バンク制度等を通じた年間相談件数 ＜目標達成＞		255人	300人	524人	597.8%	A	○	○	定住関係人口推進課 (政策企画課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
	286人	251人	202人	326人	327人	524人	A		
	68.9%	-8.9%	-117.8%	157.8%	160.0%	597.8%			
	A	C	C	A	A	A			
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響による、東京圏から地方への移住の流れがある中で、新たな施策の取組や定住相談員の丁寧なフォロー等により、相談件数の増加に繋がった。									
【前期基本計画の総括】 定住相談員を中心に、定住フェアや各種相談会等の移住相談をワンストップサービスで対応した。あわせて、移住相談者の名簿管理を行い、移住希望者の近況やニーズを把握し、定住支援情報を提供するなど、丁寧なフォローを行うことで、移住促進に努めた。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
4 空き家バンク登録件数の増加 ※空き家バンクへの年間登録物件数		13件	20件							
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度				
	66件	71件	81件	70件	74件	58件				
	757.1%	828.6%	971.4%	814.3%	871.4%	643%				
	A	A	—	—	—	—				
2018年度以降、目標値を71件に上方修正		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
		13件	71件	58件	77.6%	B	○	○	定住関係人口推進課 (政策企画課)	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価			
	66件	71件	81件	70件	74件	58件	A			
	—	—	117.2%	98.3%	105.2%	77.6%				
	—	—	A	A	A	B				

【進捗状況】 専用IPや市報、浜田地域以外の4地域にチラシを全戸配布するなど、制度周知に努めるとともに、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努めたが、新型コロナウイルス感染症による行動制限が長期化したことにより、登録件数は減少した。									
【前期基本計画の総括】 制度周知と、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努めた結果、空き家バンクの認知度が高まり、空き家の利活用に繋がった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5 ※市主催又は助成団体が開催する婚活イベント の年間延べ参加者数	婚活イベント参加者数の増加	162人	200人						
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		373人	355人	294人	327人	94人	82人		
		555.3%	507.9%	347.4%	434.2%	-178.9%	-211%		
		A	B	—	—	—	—		
2018年度以降、目標値を250人に上方修正		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
		162人	250人	82人	-90.9%	C	○		定住関係人口推進 課 (政策企画課)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		373人	355人	294人	327人	94人	82人		B
		—	—	150.0%	187.5%	-77.3%	90.9%		
		—	—	B	A	C	C		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが実施しにくい状況となり、参加者数も減少した。 【参考】2021年度市内のイベント等による成婚組数5件									
【前期基本計画の総括】 市内結婚支援団体が行うイベントへの周知等に加え、結婚支援団体と定期的に会議を行い、結婚支援のあり方について協議を重ね、連携を深めた。市が主催するセミナーについては、2019年度に業務委託を行い、2021年度からは、民間団体が自主事業として行うこととなった。									

3 大学等高等教育機関と連携した地域づくり

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	市民交流促進事業実施件数の増加	6件	50件	52件	104.0%	A	○	○	地域活動支援課 (まちづくり推進課)
	※大学等と市民団体とが実施する交流事業の6年間の合計件数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	12件	10件	16件	12件	1件	1件	A	
		24.0%	44.0%	76.0%	100.0%	102.0%	104.0%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、大学等が市民との交流活動を自粛された結果、補助金の交付件数は1件のみだった。									
【前期基本計画の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度以後申請件数が伸びなかったものの、2018年度に学生等から申請できるように見直しを図ったことや事業の積極的な周知によって、大学等と市民との交流促進に寄与することができた。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2	県立大学との共同研究実施件数の増加	4件	24件	35件	145.8%	A	○		地域活動支援課 (まちづくり推進課)
	※県立大学と浜田市が実施する共同研究の6年間の合計件数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	7件	6件	5件	5件	6件	6件	A	
		29.2%	54.2%	75.0%	95.8%	120.8%	145.8%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 教育、交通、福祉及び観光振興等、様々な分野をテーマとした共同研究が6件実施された。 新型コロナウイルス感染症対策のため報告会はオンラインで実施された。									
【前期基本計画の総括】 市の活性化に資する様々な分野の調査研究の実施、市に対する政策提言がなされた。 市が抱える様々な課題に対し、市と大学が課題解決の必要性について共通認識を持ち、連携して取り組むことができたことにより、実施件数増加につながった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3	新入生浜田探索ツアー参加者数の増加	38人	1,000人	1,099人	109.9%	A	○		地域活動支援課 (まちづくり推進課)
	※大学等の新入生を対象に実施する浜田探索ツアー参加者の6年間合計人数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	273人	251人	258人	288人	0人	29人	A	
		27.3%	52.4%	78.2%	107.0%	107.0%	109.9%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のためバスツアーは実施できず、オンライン形式で行った。 オンラインツアーの形式に馴染みがないことや、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な周知ができなかったことから参加者数が伸びなかった。									
【前期基本計画の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、近年はバスツアーの実施ができなかったが、多くの新入生に参加していただき、浜田の魅力を知っていただく機会を提供することができた。									

4 人権を尊重するまちづくりの推進

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
人権研修会等の開催回数の増加 ※地域や公民館における各種人権啓発に関する 研修会の年間開催回数	42回	64回	41回	-4.5%	C			人権同和教育 啓発センター
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	49回	52回	52回	52回	43回	41回	B	
	31.8%	45.5%	45.5%	45.5%	4.5%	-4.5%		
	A	A	B	B	B	C		
【進捗状況】 まちづくりセンター、福祉施設、企業等で実施する人権同和教育啓発センター研修について、指導主事を派遣し、巡回講座の実 施に努めた。2020年度からは新型コロナウイルス感染症の影響もあり、これまで実施できた場面での開催が困難となり派遣回数 が伸びなかった。								
【前期基本計画の総括】 まちづくりセンター、保育園、幼稚園は堅調に実施できた一方で企業での実施回数が低調であったため、実施促進に向けた働き かけが必要。各種団体との連携を図る必要がある。								

5 男女共同参画社会の推進

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 審議会等への女性参画率の増加 ※浜田市男女共同参画推進計画に掲げる審議会等への女性参画率	25.2%	40.0%	26.8%	10.8%	B		○	人権同和教育 啓発センター
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	27.1%	29.2%	22.9%	24.3%	25.2%	26.8%	B	
	12.8%	27.0%	-15.5%	-6.1%	0.0%	10.8%		
	B	B	C	C	B	B		

【進捗状況】
男女共同参画関係団体からの積極的な委員就任を始め、各部署へ女性委員の就任について依頼をしているが、審議会によっては専門的な知識を有する必要がある、該当者が全て男性のため女性委員不在となる委員会もある。

【前期基本計画の総括】
各審議会において、女性委員が就任されるようその必要性の周知と、委員就任時に各部署から積極的に働きかけてもらうよう、毎年開催の庁内の連絡会において依頼をしてきた。特に部内において、委員就任の依頼文書に男女共同参画の観点からの一文を追記してもらうなどした結果、その審議会の女性比率が上がるなど多少なりとも成果が出てきているように感じている。また、多様な意見を反映させる観点からも性別が偏ることがないよう、女性委員ゼロの審議会をゼロにできるよう啓発を進めてきたが、各部署トップダウンで徹底してもらうような啓発及び働きかけが弱かったことなどが、目標達成に結びつかなかった要因と考える。

自治区別計画 ～地域の個性を活かしたまちづくり～

1 浜田自治区								2項目
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
地区まちづくり推進委員会の組織率の向上 ¹ ※地区まちづくり推進委員会に参画する町内の組織率（地区まちづくり推進委員会に参画する町内の世帯数の割合）	42.6% (50.4%)	85.0% (87.1%)	67.0% (73.0%)	57.5%	B			地域活動支援課 (まちづくり推進課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	49.6%	50.4%	50.4%	58.3%	58.3%	67.0%	B	
	16.5%	18.4%	18.4%	37.0%	37.0%	73.0%		
	A	B	B	B	C	B		
【進捗状況】 新たに2つの地区まちづくり推進委員会が設立された。また、複数の地区において、設立に向けた取組の支援を行い、地区まちづくり推進委員会設立準備会が立ち上がった地区もあった。								
【前期基本計画の総括】 2016年度以後において、新たに10団体が設立された。新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での話し合いの場を持つことが難しい時期もあったが、複数の町において組織化に向けて動き始め、現在も継続して取組を進めている。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
自主防災組織の組織率の向上 ² ※浜田自治区の世帯数に対する自主防災組織が組織された地域の世帯数の割合	43.3%	85.0%	61.4%	43.4%	C			防災安全課 (安全安心推進課)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	56.7%	57.2%	57.1%	58.1%	59.4%	61.4%	C	
	32.1%	33.3%	33.1%	35.5%	38.6%	43.4%		
	B	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 2020年度から2021年度にかけ、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の合意形成が進まず予定通りの進捗とならなかった。								
【前期基本計画の総括】 防災出前講座を積極的に実施するなどして組織率向上を目指したが、目標達成まで約24%を残している。今後も組織率向上に取り組む必要があると考える。								

2 金城自治区

5項目

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 ※認定農業者数（個人・法人） ＜目標達成＞	認定農業者数の増加	16経営体	18経営体	20経営体	200.0%	A			金城支所産業 建設課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		16経営体	16経営体	16経営体	19経営体	20経営体	20経営体		A
		0.0%	0.0%	0.0%	150.0%	200.0%	200.0%		
		B	B	B	A	A	A		
【進捗状況】 新たに1経営体が認定されたものの、既存の認定農業者が高齢により更新されなかったため、2020年度と同数となった。									
【前期基本計画の総括】 大規模農業団地である元谷団地の造成に伴う入植者のほか、その他の地域においても認定農業者が増加した。一方で、高齢化により認定農業者の更新を見送る農業者もあり、今後は、認定農業者の維持及び質の低下防止を図る必要がある。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 ※水田面積 ＜目標達成＞	水田面積の維持保全	539ha	485ha	526ha	100.0%	A			金城支所産業 建設課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		536ha	534ha	535ha	530ha	526ha	526ha		A
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
		A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 中山間地域等直接支払制度により、地域・集落で農用地の維持・保全に取り組む体制がとられているほか、地域内の更なる連携を図るための体制作りも進んでいる。									
【前期基本計画の総括】 年々、農業者の高齢化と後継者等担い手不足による耕作放棄地の増加が心配されるようになってきているが、その中にも中山間地域等直接支払制度の活用により地域の農用地の維持・保全が行われ、水田面積の減少は想定より緩やかであった。また、地域内で将来の農用地管理について考える取り組みも進んでいる。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3 ※年間の宿泊客数	宿泊客数の増加	22,000人	26,000人	15,703人	-157.4%	C			金城支所産業 建設課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
		17,816人	15,682人	15,504人	18,481人	13,466人	15,703人		C
		-104.6%	-158.0%	-162.4%	-88.0%	-213.4%	-157.4%		
		D	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、検温、消毒、パーティションの設置などの感染対策の取組を継続して行った。また、温泉総選挙などの外部の情報発信ツールの活用など、宿泊客の増加に向けた取組を行い、宿泊数は2020年度と比較して回復傾向が見られた。しかし、島根県へのまん延防止等重点措置の適用、市の管理施設への休業要請の影響により、県内外からの宿泊客が減少し、目標は達成できなかった。									
【前期基本計画の総括】 地域の中核施設である美又温泉国民保養センターの宿泊事業再開、新たな指定管理者による運営開始により、宿泊者数は増加傾向であったが新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少により宿泊者数が減少する結果となった。アフターコロナ、ウィズコロナを見据えた施設改修、金城地域の情報発信を行う「かなび!」の活用、美又温泉水の医学的、科学的調査に基づくPR、温泉水の販売などの取組は一定の効果を見せている。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 まちづくり連絡会活動回数の増加 ※地区まちづくり推進委員会が協働して行う活動回数	1回／年	2回／年							
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度			
	1回／年	2回／年	2回／年	2回／年	3回／年	—			
	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	200.0%	—			
	C	A	A	—	—	—			
	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
	1回／年	3回／年	3回／年	100.0%	A			金城支所防災自治課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
	1回／年	2回／年	2回／年	2回／年	3回／年	3回／年	A		
	—	—	—	50.0%	100.0%	100.0%			
—	—	—	B	A	A				
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、さざんか祭りでのイベントは実施できなかったが、まちづくり連絡会において「浜田市協働のまちづくり推進計画」に関する研修や各地区のまちづくり委員会の取組の情報共有を実施した。									
【前期基本計画の総括】 まちづくり連絡会において各地区のまちづくり委員会が連携・協力して行う活動や、それぞれの活動の情報共有を行うことで、各地域の課題解決と活性化に向けた活動に繋がった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5 地域活動団体と連携した活動回数の増加 ※地区まちづくり推進委員会と地域活動団体が連携して行う活動回数	0回／年	5回／年	8回／年	160.0%	A			金城支所防災自治課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
	3回／年	4回／年	3回／年	3回／年	6回／年	8回／年	A		
	60.0%	80.0%	60.0%	60.0%	120.0%	160.0%			
	A	A	A	B	A	A			
【進捗状況】 高齢者サロンと連携したエコ活動や保護者世代の地域デビュー支援など、幅広く地域住民が参加できる取組を行った。また、自治会や民生委員、地区社協等と連携し、高齢者の移動支援策として、交通対策事業を行った。 地域課題の解決として、引き続き空き家調査をまちづくり推進委員会と地域活動団体が連携して取り組んだ。									
【前期基本計画の総括】 地域の活動団体と連携したまちづくり活動により、幅広い年齢でまちづくりに参加する人が増え地域が一体となった取組が進んだ。									

3 旭自治区								5項目
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 守るべき農地面積の維持保全 ※質の高い農地への転換により遊休農地化を防ぐ（維持保全率73%） ＜目標達成＞	487ha	357ha	424ha	100.0%	A			旭支所産業建設課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	482ha	481ha	451ha	450ha	438ha	424ha		A
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 各地区で守るべき農地を明確化したことにより、目標を達成した。								
【前期基本計画の総括】 中山間地域等直接支払制度の集落協定の広域化が進み、農地の維持保全につながった。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 旭豊米（地域棚田米）の販売拡大 ※地域の特色ある米をブランド米として販売（ブランド米販売面積率30%）	0.0ha	8.3ha	6.0ha	72.3%	B			旭支所産業建設課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	0.6ha	3.5ha	4.6ha	4.9ha	5.4ha	6.0ha		B
	7.2%	42.2%	55.4%	59.0%	65.1%	72.3%		
	D	A	A	A	A	B		
【進捗状況】 法人として農地集積に引き続き積極的に取組み、管理面積の拡大が順調に進んでいる。								
【前期基本計画の総括】 目標達成には至っていないが、農事組合法人の設立、美味しまね認証の取得による高付加価値化などを背景として、面積拡大を進めることができた。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3 宿泊客数の増加 ※年間の宿泊客数	19,353人	25,000人	11,723人	-135.1%	D			旭支所産業建設課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	18,909人	16,911人	12,731人	13,019人	11,313人	11,723人		D
	-7.9%	-43.2%	-117.3%	-112.2%	-142.4%	-135.1%		
	D	D	D	D	D	D		
【進捗状況】 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大幅な減少となったが、ワクチン接種などのコロナ対策も進んだことから、2020年度からは多少増加した。								
【前期基本計画の総括】 コロナ禍やスキー場の閉鎖、それに伴う周辺宿泊施設の廃業等の減少要因が重なり、目標達成には至らなかったが、拠点となる旭温泉では、宿泊施設が一体となって新商品開発に取り組むなど、アフターコロナを見据えた体制が強化された。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4 まちづくり推進委員会等連携会議 の開催回数の増加 ※他団体との連携会議の年間開催回数 ＜目標達成＞	1回	3回	3回	100.0%	A			旭支所防災自 治課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	2回	2回	3回	3回	3回	3回	A	
	50.0%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	C	C	A	A	A	A		
【進捗状況】 連絡会議を開催し、取組状況など情報を共有した。また、例年開催している新成人を祝う実行委員会を開催した。								
【前期基本計画の総括】 連絡会議を毎年開催し、各委員会の状況確認と共有をすることができた。新成人を祝う会の実行委員会では、まちづくり推進委 員会を中心として、地域の方を取り込むことができ、地域全体で実施することができた。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5 未利用施設の有効活用数の増加 ※閉校した学校の未利用施設の有効活用数	1施設	4施設	3施設	66.7%	A			旭支所防災自 治課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	3施設	3施設	3施設	3施設	3施設	3施設	A	
	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%	66.7%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 未利用施設の最後の1施設について有効活用を検討する中で、解体することの方針を変更した。								
【前期基本計画の総括】 地元自治会での管理を行い、各種行事等で有効に活用している。								

4 弥栄自治区								7項目
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 認定農業者の増加 ※農業経営改善計画が新たに認定された農業経営体数 <目標達成>	12人	15人	16人	133.3%	A			弥栄支所産業建設課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	A
	14人	15人	15人	16人	16人	16人		
	66.7%	100.0%	100.0%	133.3%	133.3%	133.3%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 2017年度において目標達成した。								
【前期基本計画の総括】 地域内の各地区に認定農業者が存在し、担い手として農業をしている。 今後は、弥栄地域の担い手として、認定農業者同士が連携する仕組みづくりが必要。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 特定農業法人の増加 ※一定地域の農地の過半を集積する農業生産法人数 <目標達成>	3組織	5組織	5組織	100.0%	A			弥栄支所産業建設課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	A
	4組織	5組織	5組織	5組織	5組織	5組織		
	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 2017年度において目標達成した。								
【前期基本計画の総括】 高齢化や後継者不足、米価の下落等により農業法人も経営が困難となっている状況の中、新たな法人を設立するのではなく、既存の法人が合併し持続的な農業が展開できるよう方針を決定し、2022年度中の合併を目指し協議を進めた。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3 弥栄米取り扱い面積の増加 ※弥栄米の栽培基準を満たした水稻栽培面積	0ha	100ha	9ha	9.0%	C			弥栄支所産業建設課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	C
	10ha	17ha	12ha	10ha	10ha	9ha		
	10.0%	17.0%	12.0%	10.0%	10.0%	9.0%		
	B	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 品質を重視しながら面積の増加を図っているが、消費者のニーズに合わせた品種・栽培を行った結果、おおむね2020年度と同様の面積となった。								
【前期基本計画の総括】 面積の増加を図ることができなかったが、有利な販路への販売は確立されてきている。 また、他の品種や有機栽培等も視野に入れ、新たな販路を含めた検討を始めた。								

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
4	入込客数の増加	26,037人	30,000人	0人	-657.0%	D			弥栄支所産業 建設課
	※年間の入込客数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		20,677人	16,943人	3,567人	0人	0人	0人	D	
		-135.3%	-229.5%	-567.0%	-657.0%	-657.0%	-657.0%		
		D	D	D	D	D	D		
【進捗状況】 2018年10月から浜田市ふるさと体験村施設を休止し、2019年度からは施設運営を行わなかったため入込客は無かった。 指定管理者公募の結果選外となったことにより、2021年度は再検討を行い地元団体への指名とした。									
【前期基本計画の総括】 2023年4月の再開を目指し、地域の中でのふるさと体験村施設の位置づけや活用方法等、地元住民と話し合うことにより、地域に 必要な施設へと生まれ変わるきっかけづくりができた。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5	宿泊客数の増加	2,468人	3,000人	0人	-463.9%	D			弥栄支所産業 建設課
	※年間の宿泊客数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		2,247人	2,178人	627人	0人	0人	0人	D	
		-41.5%	-54.5%	-346.1%	-463.9%	-463.9%	-463.9%		
		D	D	D	D	D	D		
【進捗状況】 2018年10月から浜田市ふるさと体験村施設を休止し、2019年度からは施設運営を行わなかったため宿泊客は無かった。 指定管理者公募の結果選外となったことにより、2021年度は再検討を行い地元団体への指名とした。									
【前期基本計画の総括】 2023年4月の再開を目指し、地域の中でのふるさと体験村施設の位置づけや活用方法等、地元住民と話し合うことにより、地域に 必要な施設へと生まれ変わるきっかけづくりができた。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
6	U・Iターン世帯の増加 ※定住世帯数（年間5世帯）	14世帯	44世帯	37世帯	76.7%	D			弥栄支所防災 自治課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		21世帯	29世帯	33世帯	36世帯	37世帯	37世帯	C	
		23.3%	50.0%	63.3%	73.3%	76.7%	76.7%		
		A	B	B	B	C	D		
【進捗状況】 定住対策基金事業で行っていた定住関係の補助金が2019年度をもって終了。2020年度及び2021年度は、定住に関する相談は減少している。									
【前期基本計画の総括】 定住対策基金事業や専属の定住相談員が弥栄地域を市外・県外にPRするイベント開催等の活動により、定住相談件数の増加やUIターン世帯の増加につながった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
7	自主的な防災活動に取り組む自治 会数の増加 ※計画的に避難訓練等の自主防災活動を行う自 治会の数	3自治会／ 26自治会	26自治会／ 26自治会	19自治会／ 26自治会	69.6%	B			弥栄支所防災 自治課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		12自治会／ 26自治会	12自治会／ 26自治会	12自治会／ 26自治会	15自治会／ 26自治会	17自治会／ 26自治会	19自治会／ 26自治会	B	
		39.1%	39.1%	39.1%	52.2%	60.9%	69.6%		
		A	B	B	B	C	B		
【進捗状況】 定期的な声掛けにより防災に対する意識は少しずつではあるが向上している。自主防災会の結成に至っていない自治会について は、高齢化や世帯数の減少により単独での組織結成は難しい状況となっている。									
【前期基本計画の総括】 弥栄全体での防災意識は以前よりは向上している。自主防災組織も少しずつではあるが結成が進んでいる。しかし、高齢化の自 治会が多く、今後は単独ではなく隣接する自治会と共同して組織結成に向けた取り組みを進めていく必要がある。									

5 三隅自治区								8項目
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 営農組織数の増加 ※集落営農数	1法人4団体	1法人6団体	1法人5団体	50.0%	A			三隅支所産業 建設課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	A
	1法人4団体	1法人5団体	1法人5団体	1法人5団体	1法人5団体	1法人5団体		
	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%		
	B	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 集落営農組織数の実績としては1法人5団体だが、新たに井野地区の農業者団体等で組織する広域連携組織の立ち上げにより、営農組織がない地域をカバーし井野地域において地域全体で協力する体制を構築し、集落内や集落間の連携を図り、井野で生活する人がお互い助け合う仕組みとした。								
【前期基本計画の総括】 目標値の達成には至らなかったが、広域連携組織として2021年3月に設立した「井野地区農業連携推進協議会」の設立により、集落内や集落間の連携体制の構築が図られた。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 西条柿生産戸数の維持 ※柿生産組合員の戸数	47戸	47戸	42戸	-10.6%	C			三隅支所産業 建設課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	C
	47戸	47戸	44戸	44戸	44戸	42戸		
	100.0%	100.0%	-6.4%	-6.4%	-6.4%	-10.6%		
	A	A	C	C	C	C		
【進捗状況】 高齢化や病気等により組合を離脱する農家があったため、目標値を達成することはできなかった。								
【前期基本計画の総括】 農家戸数は目標値を達成することはできなかったが、人・農地プランの話し合いにより、他の農家に園地を継承することができた。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
3 石州和紙製造戸数の増加 ※石州和紙の製造戸数	4戸	5戸	4戸	0.0%	B			三隅支所防災 自治課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	B
	4戸	4戸	4戸	4戸	4戸	4戸		
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	B	B	B	B	B	B		
【進捗状況】 製造戸数の増はなかったが、2019年度末に研修を終え地元和紙事業所へ就業した2名は、引き続き就業している。								
【前期基本計画の総括】 戸数の増は達成できなかったが、新規就業者（職人）の増に繋がった。地域の実情から、現時点では戸数の増よりも伝統技術を支える技術者（職人）の確保が先決である。								

目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
楮新規植栽面積の増加 ※年度ごとの楮の新規植栽合計面積	0.3ha	1.6ha						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	1.0ha	1.7ha	2.0ha	2.3ha	2.5ha	2.7ha		
	53.8%	107.7%	130.8%	156.9%	169.2%	183.1%		
	B	A	—	—	—	—		
2018年以降、目標値を2.3haに上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	0.3ha	2.3ha						
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	1.0ha	1.7ha	2.0ha	2.3ha	2.5ha	2.7ha		
	—	—	85.0%	102.0%	110.0%	119.0%		
	—	—	A	A	—	—		
2020年以降、目標値を2.9haに上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
	0.3ha	2.9ha	2.7ha	91.5%	B			三隅支所産業 建設課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		6年間の評価
	1.0ha	1.7ha	2.0ha	2.3ha	2.5ha	2.7ha		B
	—	—	—	—	84.6%	91.5%		
	—	—	—	—	A	B		
【進捗状況】 0.14haの新規植栽面積を確保したが、目標値を達成することはできなかった。								
【前期基本計画の総括】 目標値が達成できるよう、既存栽培者の栽培面積の増加と新規栽培者の確保に取り組む。 今後は、既存栽培者の高齢化により栽培の取りやめが懸念されていることからその対策についても検討が必要である。								

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
5	地区まちづくり計画の全地区での 策定	4地区／ 6地区	6地区／ 6地区	6地区／ 6地区	100.0%	A			三隅支所防災 自治課
	※地区まちづくり推進委員会におけるまちづく り計画の策定数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	5地区／ 6地区	6地区／ 6地区	6地区／ 6地区	6地区／ 6地区	6地区／ 6地区	6地区／ 6地区	A	
		50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
		B	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 三隅地域内6地区すべてのまちづくり推進委員会で、計画の策定ができた。									
【前期基本計画の総括】 策定された計画については、期間満了の際は適宜更新されている。策定・更新の際には地域担当職員を中心に市の協力も行って いる。 引き続き、時勢に応じた計画となるよう更新を推進する。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
6	地区まちづくり推進委員会防災訓練の実施	0回／年	1回／年	1回／年	100.0%	A			三隅支所防災 自治課
	※地区まちづくり推進委員会における防災訓練 の年間実施回数	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
	<目標達成>	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	1回／年	A	
		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
		D	C	A	A	A	A		
【進捗状況】 6月は浸水害想定、11月には地震・津波を想定した三隅地域住民参加型防災訓練を行った。 井野地区と黒沢地区のまちづくり推進委員会が防災訓練に参加している。									
【前期基本計画の総括】 年に2回、浸水害と地震・津波を想定した防災訓練を行っている。2地区のまちづくり推進委員会が参加している。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
7	従事者の宿舍の確保 ※発電所建設及び点検作業従事者のための空き家・空きアパートの確保件数	0件	20件	15件	75.0%	B			三隅支所防災自治課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		10件	11件	12件	14件	15件	15件	B	
		50.0%	55.0%	60.0%	70.0%	75.0%	75.0%		
		C	B	B	B	B	B		
【進捗状況】 住民に対し、継続的に「空き家バンク制度」の周知を図った。 工事のピークを過ぎ、徐々に作業員が撤退していることから、新たな登録は無かった。									
【前期基本計画の総括】 発電所2号機建設業者による宿舍建築等があり、従事者の大規模な空き家バンク利用は無かったが、随時空き家への入居及び相談があり、一定の利用があった。									

目標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
8	従事者用宿舍の運営に取り組む地域や団体の増加 ※発電所建設及び点検作業従事者のための宿舍運営に取り組む地域・団体数	0地域・団体	3地域・団体	0地域・団体	0.0%	D			三隅支所防災自治課
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	
		0地域・団体	0地域・団体	0地域・団体	0地域・団体	0地域・団体	0地域・団体	D	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
		D	D	D	D	D	D		
【進捗状況】 工事のピークを過ぎ、宿舍の解体が進んでいるため、新たな団体の発生は無かった。									
【前期基本計画の総括】 宿舍運営に取り組む協力地域・団体の実績はなかったが、地域や地元商工団体による食材提供などの取組みがあり、地域に一定の影響があった。									

開かれた行財政運営の推進

								2項目
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 健全な実質公債費比率の確保 ※実質的な公債費相当額の占める割合の過去3年間の平均値 ＜目標達成＞	12.0%	18.0%未満	10.9%	118.3%	A			財政課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	A
	9.9%	10.1%	10.5%	10.9%	10.7%	10.9%		
	135.0%	131.7%	125.0%	118.3%	121.7%	118.3%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 2021年度の算定数値は10.9%（過去3年間の平均値）で、対前年度比0.2ポイントの増加となったが、昨年度に引き続き目標値を達成している。								
【前期基本計画の総括】 毎年度ローリングする中期財政計画に沿った予算編成に努めたことで、6年間を通して目標値を上回る数値となった。								
目標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
2 外部委員による総合振興計画の進 捗状況の確認・評価回数の増加 ※外部委員による総合振興計画の進捗状況を確認・評価する年間回数 ＜目標達成＞	0回	1回	2回	200.0%	A			政策企画課
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価	A
	1回	1回	1回	1回	2回	2回		
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	200.0%	200.0%		
	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 浜田市総合振興計画審議会において、「総合振興計画前期基本計画」及び「定住自立圏共生ビジョン」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の2020年度の進捗状況について意見交換を行った。また、後期基本計画の策定に向けて「総合振興計画前期計画」の5年間の評価、後期基本計画へ向けての考えについて意見をいただいた。								
【前期基本計画の総括】 毎年度確実に審議会による進捗状況の確認・評価を行うことができ、達成が困難な項目に対する原因の洗い出しや目標達成に向けた具体的な取組を創出、また達成した目標値の上方修正を図るなど審議会の意見により、将来像へより近づくための検証が行われた。意見交換により、評価・検証が分かりにくい項目について、標記方法などの見直しが行われ、効果的な進捗管理が行われた。（健康寿命、UIターン者数）								

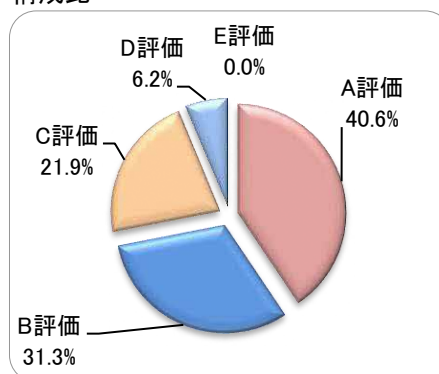
浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の総合評価

(2016年度～2021年度)

1 調査方法

32項目の目標に対し6年間の成果について評価した。

構成比



2 調査結果

(1) 各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果があった
- 「B」 計画を少し下回る成果があった
- 「C」 計画の半分程度の成果となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果となった
- 「E」 ほとんど成果がなかった

(2) 「成果指標」の進捗状況

	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 生活機能の強化に係る取組	13	5	4	4	0	0
A 医療	1	0	0	1	0	0
B 福祉	6	4	1	1	0	0
C 教育	2	1	1	0	0	0
D 産業振興	4	0	2	2	0	0
2 結びつきやネットワークの強化に係る取組	16	7	4	3	2	0
A 地域公共交通	3	1	0	2	0	0
B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備	1	1	0	0	0	0
C 道路等の交通インフラの整備	5	2	1	1	1	0
D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	1	0	1	0	0	0
E 地域内外の住民との交流・移住促進	6	3	2	0	1	0
3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組	3	1	2	0	0	0
A 宣言中心市等における人材の育成	3	1	2	0	0	0
合 計	32 (100.0%)	13 (40.6%)	10 (31.3%)	7 (21.9%)	2 (6.2%)	0 (0.0%)

浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標の進捗状況

(2021年度実績)

1 調査方法

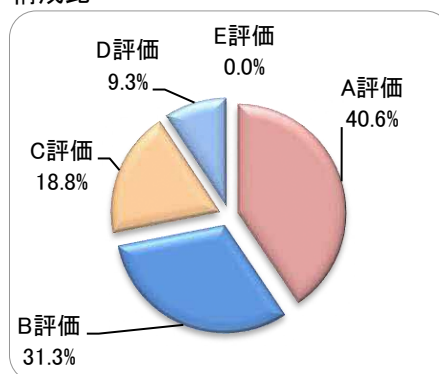
32項目の目標に対する2021度末の現状値から2021年度の進捗状況を評価した。

2 調査結果

(1) 各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果・実施があった
- 「B」 計画を少し下回る成果・実施があった
- 「C」 計画の半分程度の成果・実施となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果・実施となった
- 「E」 ほとんど成果・実施がなかった

構成比



(2) 「成果指標」の進捗状況

	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 生活機能の強化に係る取組	13	6	3	3	1	0
A 医療	1	0	0	1	0	0
B 福祉	6	4	1	1	0	0
C 教育	2	1	(0→) 1	(1→) 0	0	0
D 産業振興	4	(0→) 1	1	(2→) 1	1	0
2 結びつきやネットワークの強化に係る取組	16	6	6	2	2	0
A 地域公共交通	3	1	0	2	0	0
B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備	1	1	0	0	0	0
C 道路等の交通インフラの整備	5	2	2	0	1	0
D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消	1	0	(0→) 1	(1→) 0	0	0
E 地域内外の住民との交流・移住促進	6	(4→) 2	(0→) 3	(1→) 0	1	0
3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組	3	1	1	1	0	0
A 宣言中心市等における人材の育成	3	1	(2→) 1	1	0	0
合 計	32 (100.0%)	(14→) 13 (40.6%)	(6→) 10 (31.3%)	(9→) 6 (18.8%)	3 (9.3%)	0 (0.0%)

浜田市定住自立圏共生ビジョン 成果指標一覧

取組	成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	6年間の 評価
政策分野		①	②	③			
施策							
1 生活機能の強化に係る取組							
A 医療							
エ ヘき地医療確保体制の充実							
	浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設）	3人	4人	2人	-100.0%	C	C
B 福祉							
ア 子育て支援環境の整備							
	認可保育所定員数の増加	1,895人	2,000人	1,820人	-71.4%	B	B
	放課後児童クラブ定員数の増加	790人	905人	915人	108.7%	A	A
	地域子育て支援拠点数の増加	2施設	4施設	4施設	100.0%	A	A
イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実							
	要介護認定率の増加の抑制（要介護者のみ）	18.8%	19.6%	18.3%	162.5%	A	A
	認知症サポーター養成講座受講者数の増加	3,696人	7,500人	7,559人	101.6%	A	A
	地域生活支援拠点数の増加	0か所	1か所	0か所	0.0%	C	C
C 教育							
ア 読書活動の強化							
	図書館利用登録率の増加	34.3%	40.0%	51.8%	307.0%	A	A
	市民一人当たりの図書貸出冊数の増加	5.0冊	7.0冊	5.3冊	16.5%	B	B
D 産業振興							
ア 観光振興							
	宿泊客数の増加	225,043人	250,000人	309,462人	338.3%	A	B
	合宿等誘致人数の増加	3,642人	5,000人	1,267人	-174.9%	D	C

取組	成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	6年間の 評価
政策分野		①	②	③			
施策							
	イ 地域ブランド化						
	「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加	130店	162店	146店	50.0%	B	B
	振興作物農業産出額の増加	173,295千円	200,000千円	150,084千円	-86.9%	C	C
2 結びつきやネットワークの強化に係る取組							
A 地域公共交通							
ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保							
	生活路線バス1便当たり利用者数の維持	2.0人／便	2.0人／便以上	1.5人／便	-25.0%	C	C
	予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持	1.8人／便	1.8人／便以上	1.3人／便	-27.8%	C	C
	輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	A
B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備							
ア 携帯電話不感地域の解消							
	携帯電話不感地域の解消	8集落	0集落	0集落	100.0%	A	A
C 道路等の交通インフラの整備							
ア 生活幹線道路の整備							
	市道浜田527号線道路改良	0%	100%	64%	64.0%	B	C
	市道小国峠線道路改良	0%	50%	0%	0.0%	D	D
	市道戸地線道路改良	10%	40%	43%	110.0%	A	A
	市道谷線道路改良	0%	100%	100%	100.0%	A	A
	市道白砂1号線道路改良	30%	100%	75%	64.3%	B	B
D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消							
ア 地産地消の推進							
	学校給食での地域食材利用率の増加	58.2%	70.0%	69.8%	98.3%	B	B

取組	成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	6年間の 評価
政策分野		①	②	③			
施策							
E 地域内外の住民との交流・移住促進							
ア 定住施策の充実							
	U・I ターン者数の増加	34人	100人	110人	115.2%	A	A
	U・I ターン者との意見交換会 の開催回数の増加	1回	3回	1回	0.0%	B	B
	U・I ターン相談件数の増加	255人	300人	524人	597.8%	A	A
イ 空き家の利活用							
	空き家バンク登録件数の増加	13件	71件	58件	77.6%	B	A
ウ 安全で安心なまちづくり							
	自主防災組織の組織率の増加	46.5%	85.0%	70.4%	62.1%	B	B
	防犯出前講座の開催回数の増加	6回	40回	4回	-5.9%	D	D
3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組							
A 宣言中心市等における人材の育成							
ア 人材の育成							
	市民交流促進事業実施件数の増加	6件	50件	52件	104.0%	A	A
	人材育成研修会等の開催回数の増加	2回	6回	1回	-25.0%	C	B
	審議会等への女性参画率の増加	25.2%	40.0%	26.8%	10.8%	B	B

連携する具体的事項

1 生活機能の強化に係る取組

13項目

A 医療

エ ヘき地医療確保体制の充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設） ※中山間地域の医療を支えるへき地診療所等の医師の人数	3人	4人	2人	-100.0%	C	健康医療対策課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	3人	3人	2人	2人	2人	2人	C
	0.0%	0.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	
	B	B	C	C	C	C	
【進捗状況】 地域医療や総合診療に関心のある医師や医学生の研修受入れに取り組んだが、国保診療所の医師確保にはつながらなかった。							
【成果指標の総括】 新たな医師確保には繋がらなかったが、診療所医師を中心とした医師確保事業やイベントを行うことで地域枠を始めとした医師との関係づくりや医学生への意識づけを行うことができた。							

B 福祉

ア 子育て支援環境の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 認可保育所定員数の増加 ※認可保育所の定員数	1,895人	1,955人					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	1,845人	1,820人	
	-33.3%	141.7%	66.7%	66.7%	-83.3%	-125.0%	
	A	A	B	—	—	—	
2019年度以降、目標値を2,000人に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
	1,895人	2,000人	1,820人	-71.4%	B	子ども・子育て支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	1,845人	1,820人	B
	—	—	—	38.1%	-47.6%	-71.4%	
	—	—	—	B	B	B	
	【進捗状況】 児童数が減少する中、保護者及び施設ニーズを踏まえた定員設定を行った。						
【成果指標の総括】 少子化の影響により、目標値には届かなかったが、保護者ニーズに応じた定員設定を行い、待機児童はゼロだった。また、少子化の中でも民間の保育事業者が安定した経営を行えるよう、施設ニーズに沿った定員設定を行った。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
② 放課後児童クラブ定員数の増加 ※放課後児童クラブの定員数	790人	850人					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	790人	825人	875人	875人	905人	915人	
	0.0%	58.3%	141.7%	141.7%	191.7%	208.3%	
	B	B	—	—	—	—	
2018年度以降、目標値を875人に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
	790人	875人					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	790人	825人	875人	875人	905人	915人	
	—	—	100.0%	100.0%	135.3%	147.1%	
	—	—	A	—	—	—	
	2019年度以降、目標値を905人に上方修正 ＜目標達成＞	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課
790人		905人	915人	108.7%	A	子ども・子育て支援課	
2016年度		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
790人		825人	875人	875人	905人	915人	A
—		—	—	73.9%	100.0%	108.7%	
—		—	—	B	A	A	
【進捗状況】 2020年10月に30名の定員増となり、目標を達成した。							
【成果指標の総括】 放課後児童クラブの増設等により、目標値である905人を達成し、現在、待機児童はいない状況である。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
③ 地域子育て支援拠点数の増加 ※地域子育て支援拠点数	2施設	3施設					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	4施設	
	0.0%	0.0%	100.0%	200.0%	200.0%	200.0%	
	A	A	A	—	—	—	
2019年度以降、目標値を4施設に上方修正 ＜目標達成＞	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
	2施設	4施設	4施設	100.0%	A	子ども・子育て支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	4施設	A
	—	—	—	100.0%	100.0%	100.0%	
	—	—	—	A	A	A	
	【進捗状況】 2018年度に三隅地域、2019年度に旭地域に新たに子育て支援拠点施設が開所した。 また、当市の子育て支援ネットワークの中核施設である「子育て支援センターすくすく」について、2022年度の新築移転に向けて整備を行った。						
【成果指標の総括】 地域バランスを考慮しながら、新たに子育て支援拠点施設2施設を開所することができた。このことにより、子育て中の親子の交流、育児相談、子育てに関する情報提供等を実施し、地域における子育て力の向上に寄与した。							

イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 要介護認定率の増加の抑制（要介護者のみ） ※65歳以上の高齢者のうち、要介護1以上の認定者の割合 ＜目標達成＞	18.8%	19.6%	18.3%	162.5%	A	健康医療対策課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	18.7%	18.6%	18.4%	18.1%	18.4%	18.3%	A
	112.5%	125.0%	150.0%	187.5%	145.0%	162.5%	
	A	A	A	A	A	A	
【進捗状況】 年度ごとで多少の増減はあるが、概ね横ばいで推移しており一定の成果はあった。							
【成果指標の総括】 介護予防把握事業、介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、その他、浜田市独自の施策としての介護予防教室の普及等により、要支援者の早期発見、運動機能の向上、サロン活動等への積極的な参加につなげることができた。また、総合事業緩和型サービスの報酬改定を行い、利用者がより利用しやすいサービスとすることで介護予防事業の利用を図っている。このような施策により、認定率は横ばいで推移しており目標は達成できたものと評価している。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
② 認知症サポーター養成講座受講者数の増加 ※認知症の人と家族を地域で見守る応援者養成講座の受講者の総数 2019年度以降、目標値を7,500人に上方修正 <目標達成>	3,696人	6,000人					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	7,392人	7,559人	
	68.0%	91.4%	122.8%	151.0%	160.4%	167.7%	
	A	A	A	—	—	—	
	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
	3,696人	7,500人	7,559人	101.6%	A	健康医療対策課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	5,262人	5,802人	6,525人	7,176人	7,392人	7,559人	A
	—	—	—	91.5%	97.2%	101.6%	
—	—	—	A	A	A		
【進捗状況】 着実に受講者の積み上げを行っており、現在はコロナ禍で受講者数の増加は低調にはなっているが、ウィズコロナの方針で必要な対策をしながら講習を実施し、受講者の増加につなげている。							
【成果指標の総括】 目標値であった7500人の受講を2021年度中に達成した。また、サポーター養成講座受講者のうち、さらに地域で認知症の方を支える地域づくりであるオレンジチームへ発展させることができ、県内でも先進事例となった。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
③ 地域生活支援拠点数の増加 ※障がい者の地域生活を支援する機能を集約した拠点数	0か所	1か所	0か所	0.0%	C	地域福祉課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	C
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	C	C	C	C	C	C	
【進捗状況】 市内事業者を対象とした事業説明会の実施、実施要綱の制定などを行い、2022年4月からの拠点整備事業開始に向け、準備を進めた。							
【成果指標の総括】 事業開始には至らなかったものの、実施要綱を制定し、複数事業者が分担して機能を担う「面的整備型」で拠点を整備するなど、市の方針を明確にした。							

C 教育

ア 読書活動の強化

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 図書館利用登録率の増加 ※市民の図書館利用者カード登録者の割合 <目標達成>	34.3%	40.0%	51.8%	307.0%	A	中央図書館	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	36.3%	40.5%	42.9%	46.1%	42.5%	51.8%	A
	35.1%	108.8%	150.9%	207.0%	143.9%	307.0%	
	B	A	A	A	A	A	
【進捗状況】 市民との協働により定期的に開催する読み聞かせや読書週間等の各種イベント、各種団体との共同による展示等により読書活動の普及に努めた。							
【成果指標の総括】 毎年度登録者数も増加し、目標を大きく上回ることができた。各館が、ボランティアや各種団体の協力により地域に根差した読書活動の普及を行うことができた。今後も引き続き、市民との協働による図書館運営に努める。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
② 市民一人当たりの図書貸出冊数の増加 ※市民一人当たりの年間の図書貸出冊数	5.0冊	7.0冊	5.3冊	16.5%	B	中央図書館	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	5.4冊	5.3冊	5.8冊	5.6冊	4.9冊	5.3冊	B
	20.0%	15.0%	40.0%	30.0%	-5.0%	16.5%	
	B	B	B	B	B	B	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、落ち込んだ貸出冊数も蔵書の充実等により2021年度は、新型コロナウイルス感染症の影響前の2019年度には届かないものの近い数値に持ち直すことができた。							
【成果指標の総括】 目標値を達成できなかったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた2020年度以外は策定時の数値を下回ることなく、貸出冊数を維持することができている。今後は、まず、6冊を越える実績となるよう一層の蔵書の充実、情報発信等に努めていく。							

D 産業振興

ア 観光振興

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 宿泊客数の増加 ※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数 ＜目標達成＞	225,043人	250,000人	309,462人	338.3%	A	観光交流課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	209,006人	309,462人	B
	49.3%	-23.0%	-4.0%	-25.3%	-64.3%	338.3%	
	A	C	A	C	C	A	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、県のキャンペーンの効果や、工事関係等の長期宿泊により、宿泊者数が大幅に伸びた。							
【成果指標の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊者数が減少した時期もあったが、浜田駅周辺エリアにホテルが2軒新設され、市内の宿泊キャパシティが増加したことや、工事関係の長期宿泊などの影響もあり2021年は宿泊者数が増加した。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
② 合宿等誘致人数の増加 ※合宿等誘致事業の年間利用人数	3,642人	5,000人	1,267人	-174.9%	D	観光交流課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	3,634人	4,036人	3,297人	2,483人	478人	1,267人	C
	-0.6%	29.0%	-25.4%	-85.3%	-233.0%	-174.9%	
	C	B	C	C	D	D	
【進捗状況】 広島PRセンターとの連携等により合宿誘致を進めている。2021年度は、県内の修学旅行の利用が増えたことで、2020年度より増加した。 県内、県外へも営業活動も行った。							
【成果指標の総括】 広島方面への営業活動を実施したものの、大口のリピーター団体からの申請が減少した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により合宿自体が開催されなかったこともあり、目標値に届かなかった。 要綱改正も行い、利便性向上を図った。							

イ 地域ブランド化

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加 ※ブランド規格に基づく「どんちっち三魚」の取扱業者（団体）数	130店	140店					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	136店	138店	143店	143店	142店	146店	
	60.0%	80.0%	130.0%	130.0%	120.0%	160.0%	
	A	A	—	—	—	—	
2018年度以降、目標値を162店に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
	130店	162店	146店	50.0%	B	水産振興課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	136店	138店	143店	143店	142店	146店	B
	—	—	40.6%	40.6%	37.5%	50.0%	
	—	—	B	C	B	B	
【進捗状況】 4店の事業者の新規加盟があった。							
【成果指標の総括】 どんちっちブランドは推進組織が設立されて20年が経過し、消費地市場を中心に認知度が向上している。顧客に信頼されるブランドづくりのため、今後も関係機関と協力し、規格を遵守した良質な商品の供給を続けていきたい。加盟業者数について、目標達成には至らなかったが、一定の成果が得られたと考える。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
② 振興作物農業産出額の増加 ※振興作物（大粒ぶどう、赤梨、西条柿）の農業産出額	173,295千円	200,000千円	150,084千円	－86.9%	C	農林振興課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	158,671千円	193,627千円	175,982千円	171,566千円	107,182千円	150,084千円	C
	－54.8%	76.1%	10.1%	－6.5%	－247.6%	－86.9%	
	C	B	C	C	C	C	
【進捗状況】 2021年は、2020年に続き赤梨において凍霜害が発生し、着果不良となり、収量減となった。 西条柿及び大粒ぶどうについては、春先の凍霜害が一部で発生したものの、産出額は微増であった。							
【成果指標の総括】 大粒ぶどうは、リースハウス事業等の導入により、生産量が増加し、産出額も増額傾向である。 赤梨は、近年の凍霜害による着果不良や廃園による影響で生産量が減少したため、産出額が減少している。 西条柿は、柿加工場の本格稼働により、あんぼ柿の生産が増加し、産出額も増加傾向である。							

2 結びつきやネットワークの強化に係る取組

16項目

A 地域公共交通

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 生活路線バス1便当たり利用者数の維持 ※生活路線バス1便当たりの年間利用者数	2.0人／便	2.0人／便以上	1.5人／便	-25.0%	C	地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	1.6人／便	1.5人／便	1.5人／便	1.4人／便	1.1人／便	1.5人／便	C
	-20.0%	-25.0%	-25.0%	-30.0%	-45.0%	-25.0%	
	C	C	C	C	C	C	
【進捗状況】 従来からの課題である人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇、バス利用（バス停までの移動等）困難者の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響も継続しており、目標達成には至らなかった。							
【成果指標の総括】 人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇、バス利用（バス停までの移動等）困難者の増加の影響が予想以上に大きく、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて運行計画の見直しを行ったものの利用者の維持を計画どおり進めることは困難であった。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えも大きく影響した。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
② 予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持 ※予約型乗合タクシー1便当たりの年間利用者数	1.8人／便	1.8人／便以上	1.3人／便	-27.8%	C	地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	1.5人／便	1.6人／便	1.8人／便	1.7人／便	1.4人／便	1.3人／便	C
	-16.7%	-11.1%	100.0%	-5.6%	-22.2%	-27.8%	
	C	B	A	C	C	C	
【進捗状況】 従来からの課題である人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響が継続しており、目標達成には至らなかった。							
【成果指標の総括】 人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇の影響が予想以上に大きく、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて運行計画の見直しを行ったものの利用者の維持を計画どおり進めることは困難であった。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えも大きく影響した。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
③ 輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加 ※主体的に輸送事業に取り組む地域自主組織の数 <目標達成>	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	1団体	3団体	3団体	3団体	3団体	3団体	A
	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	B	A	A	A	A	A	
【進捗状況】 3地区においてコミュニティワゴン運送（市からの無償貸与の自家用車を使用した輸送活動）が継続され、その活動を支援した。							
【成果指標の総括】 コミュニティワゴン運送に取り組む地区では、貴重な移動手段として定着している。 一方で、ドライバーの維持や財源の確保等、活動継続に向けた課題解決が必要となっている。							

B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

ア 携帯電話不感地域の解消

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 携帯電話不感地域の解消 ※携帯電話が利用できない集落の数 ＜目標達成＞	8集落	0集落	0集落	100.0%	A	政策企画課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	8集落	8集落	1集落	0集落	0集落	0集落	A
	0.0%	0.0%	87.5%	100.0%	100.0%	100.0%	
	D	D	A	A	A	A	
【進捗状況】 各携帯電話会社への呼びかけもあり、市内の屋外での携帯電話不感地域は0集落となっている。							
【成果指標の総括】 目標値を達成した。 当初目的は達成されたと考える。							

C 道路等の交通インフラの整備

ア 生活幹線道路の整備

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 市道浜田527号線道路改良 ※〔浜田自治区〕浜田駅周辺の市道を整備し、駅南北の連絡を円滑にする。	0%	100%	64%	64.0%	B	建設整備課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	5%	13%	29%	50%	54%	64%	C
	5.0%	13.0%	29.0%	50.0%	54.0%	64.0%	
	C	C	B	A	B	B	
【進捗状況】 踏切北側の道路工事が一部完了した。 完成期日を2024年度に延期した。							
【成果指標の総括】 踏切北側の道路については、一部改良が完了し、交通状況が改善された。 踏切の拡幅工事については、2023年度に完成予定であったが、JR施設工事工程の見直しの結果2024年度見込みとなった。 引き続き、後期基本計画期間内において、早期完成を目指す。							

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
② 市道小国峠線道路改良 ※〔金城自治区〕狭小な市道の改良を行う。	0%	50%	0%	0.0%	D	建設整備課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	0%	0%	0%	0%	0%	0%	D
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	D	D	D	D	D	D	
【進捗状況】 県道や県河川の改修が伴うため、事業規模が大きく、実施に至らなかった。							
【成果指標の総括】 県と調整を進めた結果、2025年度までに橋梁架け替えが完成する見込みとなった。							

成果指標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
③ 市道戸地線道路改良		10%	40%	43%	110.0%	A	建設整備課	
	※〔旭自治区〕集落間を結ぶ幹線市道の整備を行う。	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	<目標達成>	13%	18%	26%	32%	40%	43%	A
		10.0%	26.7%	53.3%	73.3%	100.0%	110.0%	
		B	B	B	B	A	A	
【進捗状況】 総延長1,400mの内、340mの改良が完了した。								
【成果指標の総括】 当該市道沿いにある住家から主要地方道浜田作木線を結ぶ区間については改良が完了し、地域住民の利便性が向上した。								

成果指標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
④ 市道谷線道路改良		0%	50%					
	※〔弥栄自治区〕主に突角剪除を行う。	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	54%	76%	86%	95%	100%	100%		
	108.0%	152.0%	172.0%	190.0%	200.0%	200.0%		
	A	A	—	—	—	—		
2018年度以降、目標値を100%に上方修正 <目標達成>		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
		0%	100%	100%	100.0%	A	建設整備課	
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
		54%	76%	86%	95%	100%	100%	A
		—	—	86.0%	95.0%	100.0%	100.0%	
		—	—	A	A	A	A	
	【進捗状況】 全ての箇所の改良が完了した。							
【成果指標の総括】 改良が完了したことで、急カーブ箇所の改善ができ交通の安全性が向上した。								

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
⑤ 市道白砂1号線道路改良 ※〔三隅自治区〕急カーブ、狭小市道の改良、及び集落の環状機能の充実を図る。	30%	50%					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	64%	85%	74%	86%	72%	75%	
	170.0%	275.0%	220.0%	280.0%	210.0%	225.0%	
	A	A	—	—	—	—	
2018年度以降、目標値を100%に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
	30%	100%	75%	64.3%	B	建設整備課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	64%	85%	74%	86%	72%	75%	B
	—	—	62.9%	80.0%	60.3%	64.3%	
	—	—	A	B	B	B	
【進捗状況】 総延長1400mの内、640mの改良が完成した。							
【成果指標の総括】 工事費が増大し、2021年度内に目標達成に至らなかったが、今後も、引き続き改良を実施し、地域住民の利便性向上を目指す。							

D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

ア 地産地消の推進

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 学校給食での地域食材利用率の増加 ※市内小中学校の給食における地元食材利用率	58.2%	70.0%	69.8%	98.3%	B	教育総務課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	70.9%	71.8%	70.5%	68.0%	61.9%	69.8%	B
	107.6%	115.3%	104.2%	83.1%	31.4%	98.3%	
	A	A	A	B	C	B	
【進捗状況】 地元産品の活用を意識した献立の作成を行い、地域食材率の増加に努めた。特に2021年度は浜田産のどくろ（尾頭付き）を給食で提供した。							
【成果指標の総括】 栄養教諭、学校栄養士の意識醸成、献立作成の工夫により、概ね目標を達成できた。 天候不良等により、食材調達ができず、達成値が低調に終わったこともあったため、安定的な仕入れルート確保等の対策が課題である。							

E 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 定住施策の充実

成果指標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① U・Iターン者数の増加 ※各種支援制度を通じたU・Iターン者の数（うちIターン者数） 2018年度以降、目標値を100人に上方修正 ＜目標達成＞		34人	50人					
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	110人 (94人)	
		143.8%	381.3%	300.0%	350.0%	581.3%	475.0%	
		A	B	—	—	—	—	
		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
		34人	100人	110人 (94人)	115.2%	A	定住関係人口推進課	
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
		57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	110人 (94人)	A
		—	—	72.7%	84.8%	140.9%	115.2%	
	—	—	B	B	A	A		
【進捗状況】 市の各種支援制度等を通じたU・Iターン者数は2020年度に比べて減少した。また、島根県人口動態調査による数値も減少した。 【参考】石見部他市の2021年度U・Iターン者数（島根県人口移動調査）浜田市183人（2020年度浜田市209人）								
【成果指標の総括】 定住相談員を中心に、関係機関と連携しながら、移住相談をワンストップで対応した。さらに、移住相談者の名簿管理を行い、移住希望者の近況やニーズを把握し、定住支援情報を提供するなど、丁寧なフォローを行うことで、移住促進に努めた。								
成果指標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
② U・Iターン者との意見交換会の開催 回数の増加 ※意見交換会の年間開催回数		1回	3回	1回	0.0%	B	定住関係人口推進課	
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
		2回	2回	2回	3回	2回	1回	B
		50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%	
		B	B	B	A	A	B	
【進捗状況】 年2回計画していたU・Iターン者との意見交換会及び交流会は、新型コロナウイルス感染症の状況により、直前で交流会が中止となったため、1回の実施となった。								
【成果指標の総括】 シングルペアレント就労人材育成事業の新規研修生受入時の歓迎交流会と、U・Iターン者と地域住民との意見交換会及び交流会を移住定住支援組織と連携して行うことで、浜田市での生活の良さや戸惑いなどを情報共有しながら仲間づくりと地域に馴染めるように努めた。								

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
③ U・I ターン相談件数の増加 ※定住フェア、空き家バンク制度等を通じた年間相談 件数 ＜目標達成＞	255人	300人	524人	597.8%	A	定住関係人口推進課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	286人	251人	202人	326人	327人	524人	A
	68.9%	-8.9%	-117.8%	157.8%	160.0%	597.8%	
	A	C	C	A	A	A	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響による、東京圏から地方への移住の流れがある中で、新たな施策の取組や定住相談員の丁寧なフォ ロー等により、相談件数の増加に繋がった。							
【成果指標の総括】 定住相談員を中心に、定住フェアや各種相談会等の移住相談をワンストップサービスで対応した。あわせて、移住相談者の名簿管理 を行い、移住希望者の近況やニーズを把握し、定住支援情報を提供するなど、丁寧なフォローを行うことで、移住促進に努めた。							

イ 空き家の利活用

成果指標	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 空き家バンク登録件数の増加 ※空き家バンクへの年間登録物件数	13件	20件					
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	66件	71件	81件	58件	74件	58件	
	757.1%	828.6%	971.4%	642.9%	871.4%	642.9%	
	A	A	—	—	—	—	
2018年度以降、目標値を71件に上方修正	策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
	13件	71件	58件	77.6%	B	定住関係人口推進課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
	66件	71件	81件	70件	74件	58件	A
	—	—	119.2%	98.3%	105.2%	77.6%	
	—	—	B	A	A	B	
【進捗状況】 専用IPや市報、浜田地域以外の4地域にチラシを全戸配布するなど、制度周知に努めるとともに、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努めたが、新型コロナウイルス感染症による行動制限が長期化したことにより、登録件数は減少した。							
【成果指標の総括】 制度周知と、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努めた結果、空き家バンクの認知度が高まり、空き家の利活用に繋がった。							

ウ 安全で安心なまちづくり

成果指標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
① 自主防災組織の組織率の増加 ※世帯数に対する組織された地域の世帯数の割合		46.5%	85.0%	70.4%	62.1%	B	防災安全課	
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
		65.8%	66.1%	66.1%	66.8%	68.2%	70.4%	B
		50.1%	50.9%	50.9%	52.7%	56.4%	62.1%	
		A	C	C	C	C	B	
【進捗状況】 2020年度から2021年度にかけ、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の合意形成が進まず予定通りの進捗とならなかった。								
【成果指標の総括】 防災出前講座を積極的に実施するなどして組織率向上を目指したが、目標達成まで約15%を残している。今後も組織率向上に取り組む必要があると考える。								

成果指標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	担当課	
② 防犯出前講座の開催回数の増加 ※講座の年間開催回数		6回	40回	4回	-5.9%	D	防災安全課	
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価
		5回	9回	4回	10回	1回	4回	D
		-2.9%	8.8%	-5.9%	11.8%	-14.7%	-5.9%	
		D	B	C	C	D	D	
【進捗状況】 2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により講座依頼が大きく減少し、予定通りの進捗とならなかった。								
【成果指標の総括】 防犯講座については警察への直接依頼が多く、数字が伸び悩んだ。								

A 宣言中心市等における人材の育成

ア 人材の育成

成果指標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価		担当課	
① 市民交流促進事業実施件数の増加 ※大学等と市民団体とが実施する交流事業の6年間の合計件数 ＜目標達成＞		6件	50件	52件	104.0%	A		地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
	12件	10件	16件	12件	1件	1件	A		
	24.0%	44.0%	76.0%	100.0%	102.0%	104.0%			
	A	A	A	A	A	A			
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、大学等が市民との交流活動を自粛された結果、補助金の交付件数は1件のみだった。									
【成果指標の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度以後申請件数が伸びなかったものの、2018年度に学生等から申請できるように見直しを図ったことや事業の積極的な周知によって、大学等と市民との交流促進に寄与することができた。									

成果指標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価		担当課	
② 人材育成研修会等の開催回数の増加 ※地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数		2回	6回	1回	-25.0%	C		地域活動支援課	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
	3回	3回	3回	2回	2回	1回	B		
	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	-25.0%			
	B	B	B	B	B	C			
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を一部中止したことにより開催回数は目標達成には至らなかった。実施した事業は、オンデマンドにより開催した。									
【成果指標の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりの開催はできなかったものの、研修会等の開催により、地域リーダーの育成や協働のまちづくりの必要性など住民主体のまちづくりの推進に向けた機運の醸成を図ることができた。									

成果指標		策定時 現状値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価		担当課	
③ 審議会等への女性参画率の増加 ※浜田市男女共同参画推進計画に掲げる審議会等への女性参画率		25.2%	40.0%	26.8%	10.8%	B		人権同和教育啓発センター	
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	6年間の評価		
	27.1%	29.2%	22.9%	24.3%	25.2%	26.8%	B		
	12.8%	27.0%	-15.5%	-6.1%	0.0%	10.8%			
	B	B	C	C	B	B			
【進捗状況】 男女共同参画関係団体からの積極的な委員就任を始め、各部署へ女性委員の就任について依頼をしているが、審議会によっては専門的な知識を有する必要があり、該当者が全て男性のため女性委員不在となる委員会もある。									
【成果指標の総括】 各審議会において、女性委員が就任されるようその必要性の周知と、委員就任時に各部署から積極的に働きかけてもらうよう、毎年開催の庁内の連絡会において依頼をしてきた。特に部内において、委員就任の依頼文書に男女共同参画の観点からの一文を追記してもらうなどした結果、その審議会の女性比率が上がるなど多少なりとも成果が出てきているように感じている。また、多様な意見を反映させる観点からも性別が偏ることがないよう、女性委員ゼロの審議会をゼロにできるよう啓発を進めてきたが、各部署トップダウンで徹底してもらうような啓発及び働きかけが弱かったことなどが、目標達成に結びつかなかった要因と考える。									

浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 掲載目標の総合評価

(2015年度～2021年度)

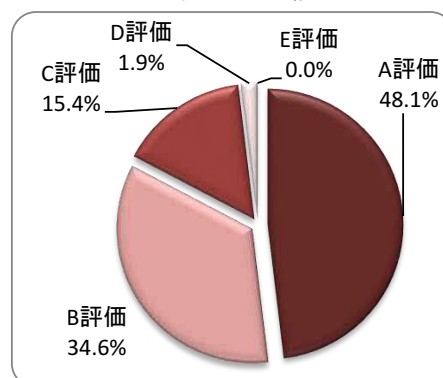
1 調査方法

基本目標の「数値目標」及び各施策の重要業績評価指標（K P I）に対し、7年間の成果について評価をした。

【凡例】各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果があった
「B」 計画を少し下回る成果があった
「C」 計画の半分程度の成果となった
「D」 計画を大きく下回る成果となった
「E」 ほとんど成果がなかった

総合戦略KPIの構成比



2 調査結果

(1)「基本目標」の「数値目標」進捗状況

	目標数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 産業振興と企業立地による雇用の創出	4	0	1	3	0	0
2 子どもを安心して産み育てる環境づくり	1	0	0	0	1	0
3 U・Iターンや定住の促進とふるさと郷育の推進	1	0	0	1	0	0
4 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまちづくり	1	0	1	0	0	0

(2)「重要業績評価指標（K P I）」の進捗状況

	指標数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 産業振興と企業立地による雇用の創出	26	9	10	6	1	0
2 子どもを安心して産み育てる環境づくり	4	3	1	0	0	0
3 U・Iターンや定住の促進とふるさと郷育の推進	11	6	5	0	0	0
4 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまちづくり	11	7	2	2	0	0
合 計	52 (100%)	25 (48.1%)	18 (34.6%)	8 (15.4%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)

浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 掲載目標の進捗状況

(2021年度実績)

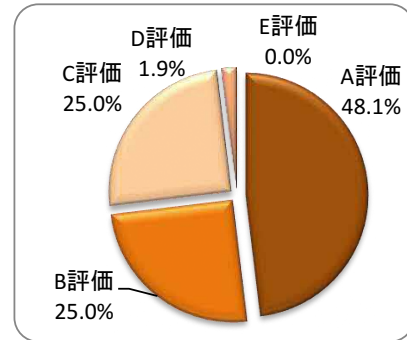
1 調査方法

基本目標の「数値目標」及び各施策の重要業績評価指標（KPI）に対する2021年度末の現状値から、2021年度の進捗状況を評価した。

【凡例】各年度の進捗評価

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果・実施があった
- 「B」 計画を少し下回る成果・実施があった
- 「C」 計画の半分程度の成果・実施となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果・実施となった
- 「E」 ほとんど成果・実施がなかった

総合戦略KPIの構成比



2 調査結果

(1)「基本目標」の「数値目標」進捗状況

	目標数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 産業振興と企業立地による雇用の創出	4	(0→) 1	0	(2→) 1	2	0
2 子どもを安心して産み育てる環境づくり	1	0	0	0	1	0
3 U・Iターンや定住の促進とふるさと郷育の推進	1	(1→) 0	0	0	(0→) 1	0
4 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまちづくり	1	0	(0→) 1	(1→) 0	0	0

(2)「重要業績評価指標（KPI）」の進捗状況

	指標数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 産業振興と企業立地による雇用の創出	26	(8→) 10	(10→) 7	(7→) 8	1	0
2 子どもを安心して産み育てる環境づくり	4	3	1	0	0	0
3 U・Iターンや定住の促進とふるさと郷育の推進	11	(6→) 5	4	(1→) 2	0	0
4 地域の特性を活かした安心して暮らせるはまちづくり	11	(6→) 7	(2→) 1	(3→) 3	0	0
合 計	52 (100%)	(23→) 25 (48.1%)	(17→) 13 (25.0%)	(11→) 13 (25.0%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)

(3)「戦略プラス重要業績評価指標（KPI）」の進捗状況

	指標数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
1 出会い・結婚・出産への支援	4	2	1	0	1	0
2 第3子以降の出生に向けた支援	1	0	0	1	0	0
3 若者の暮らしやすいまちづくり	1	0	1	0	0	0
4 新たな生活様式への対応	2	2	0	0	0	0

(4)地方創生推進交付金

	指標数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
地方創生推進交付金	(7→) 4	(4→) 3	(2→) 1	(1→) 0	0	0

浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略 掲載目標一覧

【基本目標1】産業振興と企業立地による雇用の創出

数値目標	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標達成率	進捗評価	7年間の評価
		①	②	③			
宿泊客数	○	225,043人	250,000人	309,462人	338.3%	A	B
合宿等誘致人数	○	3,642人	5,000人	1,267人	-174.9%	D	C
企業立地優遇制度による雇用創出数		4人	100人	54人	54.0%	D	C
新規学卒地元就職者数	○	57人	100人	39人	-41.9%	C	C

1 水産業の振興

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標達成率	進捗評価	7年間の評価
		①	②	③			
沖合底曳網漁業リシップ事業取組統数	○	3ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	100.0%	A	A
まき網漁業構造改革取組統数	○	0ヶ統	2ヶ統	0ヶ統	0.0%	C	C
新規漁業研修者数（若者漁業者・ふるさと漁業研修生）	○	3人	31人	32人	103.2%	A	A
高度衛生管理型荷捌所整備率	○	0%	100%	72%	71.7%	B	B
「どんちっち」ブランド加盟業者数	○	130店	162店	146店	50.0%	B	B
ヒラメ稚魚育成尾数	○	8万尾	56万尾	56万尾	100.0%	A	A
アワビ稚貝放流数	○	16,000個	112,000個	105,100個	93.8%	A	B
漁港機能保全計画策定箇所数	○	1か所	3か所	5か所	200.0%	A	A
漁港海岸長寿命化計画策定箇所数	○	0か所	1か所	3か所	300.0%	A	A

2 農林業の振興

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
新規就農者の新規認定数	○	3経営体	9経営体	6経営体	66.7%	B	B
認定農業者数の新規認定数	○	1経営体	23経営体	22経営体	95.7%	B	A
集落営農組織数	○	30組織	37組織	36組織	85.7%	B	B
森林経営計画に基づく原木生産量	○	8,069m³	32,000m³	51,242m³	180.4%	A	A
苗木生産量	○	22,550本	91,000本	27,480本	7.2%	C	C

3 商工業の振興

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
新商品の開発件数	○	66件	134件	137件	104.4%	A	A
開業企業数	○	33件	33件	19件	-42.4%	C	B

4 国際貿易港浜田港など港湾を活用した産業振興

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
外貿内貿貨物取扱量	○	52万トン	70万トン	45万トン	-38.9%	C	C
コンテナ貨物取扱量	○	3,414TEU	4,500TEU	3,725TEU	28.6%	B	B
クルーズ客船の寄港回数	○	2回	5回	0回	-66.7%	C	D

5 観光・交流の推進

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
浜田の五地想ものがたり協賛店舗数	○	34店舗	40店舗	33店舗	-16.7%	C	B
はまごちツープライス料理提供食数	○	27,638食	50,000食	25,571食	-9.2%	C	C
宿泊客数(再掲)	○	225,043人	250,000人	309,462人	338.3%	A	B
合宿等誘致人数(再掲)	○	3,642人	5,000人	1,267人	-174.9%	D	C
交流機会の創出		0回	21回	25回	119.0%	A	A

6 企業立地による雇用の推進

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
新規立地企業数	○	1社	12社	6社	50.0%	B	B
新規学卒地元就職者数(再掲)	○	57人	100人	39人	-41.9%	C	C

【基本目標2】子どもを安心して産み育てる環境づくり

数値目標	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
出生数		442人	400人	302人	-233.3%	D	D

1 健やかな育ちに向けた支援

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
子育て世代包括支援センター（仮称）の施設数	○	0か所	1か所	1か所	100.0%	A	A

2 ゆとりある子育てへの支援

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
認可保育所定員数	○	1,875人	2,000人	1,820人	-44.0%	B	B
放課後児童クラブ定員数	○	740人	905人	915人	106.1%	A	A

3 安心・安全な子育て環境の整備

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
地域子育て支援拠点数	○	2施設	4施設	4施設	100.0%	A	A

【基本目標3】 U・Iターンや定住の促進とふるさと郷育の推進

数値目標	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
社会増減数（転入－転出）		-319人	-260人	-458人	-235.6%	D	C

1 人がつながる定住環境づくりの推進

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
U・Iターン者数	○	34人	100人	110人	115.2%	A	A
U・Iターン者との意見交換会の開催回数	○	1回	3回	1回	0.0%	B	B
U・Iターン相談件数	○	255人	300人	524人	597.8%	A	A
空き家バンク登録件数	○	13件	71件	58件	77.6%	B	A
婚活イベント参加者数	○	162人	250人	82人	-90.9%	C	B

2 ふるさと郷育の推進

重要業績評価指標（KPI）		総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
			①	②	③			
「総合的な学習の時間」で学習したことが普段の生活や社会に出たときに役立つと思う子どもの割合	小6	○	83.5%	90.0%	88.2%	72.3%	B	B
	中3	○	74.1%	90.0%	90.9%	105.7%	A	A
※全国学力・学習状況調査による肯定率	小6	○	57.7%	80.0%	76.5%	84.3%	B	B
	中3	○	52.7%	80.0%	84.0%	114.7%	A	A
公民館におけるふるさと郷育（地域住民対象）の実施数			52人	78人	62人	38.5%	C	B
ふるさと郷育ネットワーク団体数		○	3団体	9団体	9団体	100.0%	A	A

【基本目標4】地域の特性を活かした安心して暮らせるはまづくり

数値目標	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標達成率	進捗評価	7年間の評価
		①	②	③			
地区まちづくり推進委員会の組織率	○	66%	90%	81%	60.4%	B	B

1 地域コミュニティの形成

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標達成率	進捗評価	7年間の評価
		①	②	③			
地区まちづくり推進委員会の組織率（再掲）	○	66%	90%	81%	60.4%	B	B
人材育成研修会等の開催回数	○	2回	6回	1回	-25.0%	C	B
市民団体の補助事業申請件数	○	7件	15件	15件	100.0%	A	A

2 大学等高等教育機関と連携した地域づくり

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標達成率	進捗評価	7年間の評価
		①	②	③			
市民交流促進事業実施件数	○	6件	50件	64件	131.8%	A	A
県立大学との共同研究実施件数	○	4件	24件	41件	185.0%	A	A
新入生浜田探索ツアー参加者数	○	38人	1,000人	1,347人	136.1%	A	A

3 公共交通の充実

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
生活路線バス1便当たり利用者数	○	2.0人／便	2.0人／便以上	1.5人／便	-25.0%	C	C
予約型乗合タクシー1便当たり利用者数	○	1.8人／便	1.8人／便以上	1.3人／便	-27.8%	C	C
輸送事業に取り組む地域自主組織数	○	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	A
環境整備を実施したバス停数	○	3か所	6か所	6か所	100.0%	A	A

4 公民館における人材育成と拠点整備

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	基準値	目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗 評価	7年間の 評価
		①	②	③			
地域課題の解決支援事業を実施する公民館数	○	3公民館	26公民館	26公民館	100.0%	A	A

浜田市まち・ひと・しごと創生総合戦略プラス 掲載目標一覧

1 出会い・結婚・出産への支援 ～子どもの数を0人から1人へ～

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価
		①	②	③		
結婚新生活支援事業交付件数		0件	550件	127件	23.1%	A
認定事業所数		0事業所	70事業所	0事業所	0.0%	D
重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	2019年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価
		①	②	③		
一般不妊治療費助成件数		63件	350件	48件	13.7%	B
特定不妊治療費助成件数		32件	200件	57件	28.5%	A

2 第3子以降の出生に向けた支援 ～理想の子どもの数へ～

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価
		①	②	③		
第3子以降出生祝い金交付件数		0件	350件	57件	16.3%	C

3 若者の暮らしやすいまちづくり ～若者の社会減を減らす～

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価
		①	②	③		
15歳から39歳までの人口		10,740人	10,000人	10,090人	12.2%	B

4 新たな生活様式への対応 ～新たな生活様式へ～

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価
		①	②	③		
高速情報通信網 市内カバー率		80.72%	100%	100%	100.0%	A
地域情報化計画の策定		0%	100%	100%	100.0%	A

地方創生推進交付金 目標一覧

【高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト】

重要業績評価指標（KPI）	総合振興計画	事業開始前	2021年度 目標値	2021年度 現状値	目標 達成率	進捗評価
		①	②	③		
「高校を核とした関係人口」の数 （＝地域みらい留学生徒数＋卒業後も地元に関わった大学生・社会人数＋地域外からの高校への応援者数）		2,360人	4,855人	3,948人	81.3%	B
「都市部での地方高校全国説明会」参加者数		2,093人	3,706人	4,004人	108.0%	A
「地域課題解決学習全国大会」エントリープロジェクト件数		292件	593件	773件	130.4%	A
「共学共創ネットワーク」参加自治体・学校数		55団体	74団体	78団体	105.4%	A

【基本目標1】産業振興と企業立地による雇用の創出	26項目	26個
---------------------------------	-------------	------------

数値目標	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
宿泊客数 ※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数 計画期間2年延長に伴い、目標値を250,000人に修正 ＜目標達成＞	225,043人	240,000人						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	261,903人	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	209,006人	309,462人	
	246.4%	82.3%	-38.4%	-6.7%	-42.2%	-107.2%	564.4%	
	A	A	C	C	C	-	-	
	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	225,043人	250,000人	309,462人	338.3%	A	○	観光交流課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	261,903人	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	209,006人	309,462人	B
	-	-	-	-	-	-64.3%	338.3%	
	-	-	-	-	-	C	A	
【進捗状況及び評価】 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、県のキャンペーンの効果や、工事関係等の長期宿泊により、宿泊者数が大幅に伸びた。								
【総合戦略の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊者数が減少した時期もあったが、浜田駅周辺エリアにホテルが2軒新設され、市内の宿泊キャパシティが増加したことや、工事関係の長期宿泊などの影響もあり2021年は宿泊者数が増加した。								
【意見・提言等】								

数値目標	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
合宿等誘致人数 ※合宿等誘致事業の利用人数	3,642人	5,000人	1,267人	-174.9%	D	○	観光交流課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	3,831人	3,634人	4,036人	3,297人	2,483人	478人	1,267人	C
	13.9%	-0.6%	29.0%	-25.4%	-85.3%	-233.0%	-174.9%	
	A	C	B	C	C	D	D	
【進捗状況及び評価】 広島PRセンターとの連携等により合宿誘致を進めている。2021年度は、県内の修学旅行の利用が増えたことで、2020年度より増加した。 県内、県外へも営業活動も行った。								
【総合戦略の総括】 広島方面への営業活動を実施したものの、大口のリピーター団体からの申請が減少した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により合宿自体が開催されなかったこともあり、目標値に届かなかった。 要綱改正も行い、利便性向上を図った。								

数値目標	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
企業立地優遇制度による雇用創出数 ※7年間の累計	4人	100人	54人	54.0%	D		産業振興課 (商工労働課)	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	0人	8人	5人	21人	11人	3人	6人	C
	0.0%	8.0%	13.0%	34.0%	45.0%	48.0%	54.0%	
	D	D	D	C	C	D	D	
【進捗状況及び評価】 新規誘致企業による雇用創出はなかったが、石見食品株式会社やTC浜田農場雇用増により2021年度は6人の雇用創出となった。								
【総合戦略の総括】 新型コロナウイルス感染症が流行する以前は、誘致活動により徐々にではあるが雇用創出を図れていた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、誘致活動が難しい状況となった。 今後、新型コロナウイルス感染症拡大の状況に留意しながら、引き続き誘致活動を行い、雇用創出の増加を図る。								

数値目標	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
新規学卒地元就職者数	57人	90人						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	59人	63人	43人	46人	37人	53人	39人	
	6.1%	18.2%	-42.4%	-33.3%	-60.6%	-12.1%	-54.5%	
	B	B	C	C	C	-	-	
計画期間2年延長に伴い、目標値を100人に修正	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	57人	100人	39人	-41.9%	C	○	商工労働課 (産業政策課)	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	59人	63人	43人	46人	37人	53人	39人	C
	-	-	-	-	-	-9.3%	-41.9%	
	-	-	-	-	-	C	C	
【進捗状況及び評価】 浜田・江津地区雇用推進協議会と連携し新規学卒者向けの事業を実施したが、広島県や関西地域等都市部への就職希望者の増加に伴い、依然として厳しい状況にある。								
【総合戦略の総括】 地元就職への働きかけや浜田・江津地区の合同企業説明会、働こう@浜田での地元企業の魅力発信を行ったが、広島県や関西地域等都市部への就職希望者が多く、目標値には届かなかった。								

1 水産業の振興

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 沖合底曳網漁業リシップ事業 取組統数 ※リシップ事業（リシップ等による収益性回復の取組）を実施した船団数 ＜目標達成＞	3ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	100.0%	A	○	水産振興課 （漁港活性化室）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	A	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	A	A	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 2017年度に2ヶ統のリシップ実証期間が満了し、浜田地域の沖合底曳網漁船5ヶ統全てのリシップ事業が完了した。									
【総合戦略の総括】 リシップ工事については、目標となる5ヶ統全てを完了することができた。しかし、本計画期間中に1ヶ統の廃業があり、水揚の確保のために漁船団の存続対策を一層力強く推進する必要性が生じている。 そうした状況の中、2022年3月に漁業構造改革推進集中プロジェクト中央協議会に提出した構造改革計画書が審議を経て認定され、国のもうかる漁業創設支援事業による助成金の交付が決定した。今後、沖合底びき網漁船団1ヶ統の新船への更新と収益性改善の実証事業に取り組むこととなる。こうしたことから、リシップ事業の目的とする漁船の更新に向けた収益性の改善等による漁業構造改革については、一定の成果が得られたと考える。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
② まき網漁業構造改革取組統数 ※まき網漁船2ヶ統存続のための漁業構造改革取組船団数	0ヶ統	2ヶ統	0ヶ統	0.0%	C	○	水産振興課 （漁港活性化室）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	0ヶ統	0ヶ統	0ヶ統	0ヶ統	0ヶ統	1ヶ統	0ヶ統	C	
	0.0%	10.0%	20.0%	20.0%	20.0%	50.0%	0.0%		
	C	C	C	C	C	B	C		
【進捗状況】 2021年3月にまき網漁船の本船（網船）が沈没する海難事故が発生し、以降、操業の再開に至っていない。この事故に遭ったまき網漁船が、2022年度に着工を予定していた本船（網船）の新船建造については取り止めとなった。 地元を根拠地とするまき網漁船団は残る1ヶ統のみとなったが、新船建造に向けた具体的な検討は、これからといった状況である。									
【総合戦略の総括】 新船建造に向けて具体的に準備を進めていたが、不慮の事故のため、取り止めとなり大変残念である。この事故を受けて地元まき網漁船団が1ヶ統のみとなり、漁獲の減少が懸念されるため、漁船団の存続対策について、一層力強く推進する必要性が生じている。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
③ 新規漁業研修者数 ※若者漁業者・ふるさと漁業研修生の7年間の累計 <									

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
④ 高度衛生管理型荷捌所整備率 ※沖底用・まき網用 計画期間2年延長に伴い、目標値を100%に修正	0%	70%						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	0%	5%	10%	24%	54%	57%	72%	
	0.0%	7.1%	14.3%	33.6%	76.7%	81.4%	102.9%	
	A	B	B	A	A	-	-	
	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	0%	100%	72%	71.7%	B	○	水産振興課 （漁港活性化室）	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	0%	5%	10%	24%	54%	57%	72%	B
	-	-	-	-	-	57.1%	71.7%	
	-	-	-	-	-	B	B	
【進捗状況】 高度衛生管理型4号荷さばき所（沖底用）の建設工事に着手した。								
【総合戦略の総括】 高度衛生管理基本計画に基づき、2016年度から7号荷さばき所（まき網用）の整備に着手し、2020年4月に竣工、同年8月に供用を開始するなど、概ね計画通りに進捗した。								

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
⑤ 「どんちっち」ブランド加盟 業者数 ※ブランド規格に基づく「どんちっち三 魚」の取扱業者（団体）数		130店	137店						
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		130店	136店	138店	143店	143店	142店	146店	
		0.0%	85.7%	114.3%	185.7%	185.7%	171.4%	228.6%	
		B	A	A	-	-	-	-	
2018年度以降、目標値を150店に上方修正		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		130店	150店						
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		130店	136店	138店	143店	143店	142店	146店	
		-	-	-	65.0%	65.0%	60.0%	80.0%	
		-	-	-	B	C	-	-	
	計画期間2年延長に伴い、目標値を162店に 修正		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課
		130店	162店	146店	50.0%	B	○	水産振興課	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
		130店	136店	138店	143店	143店	142店	146店	
		-	-	-	-	-	37.5%	50.0%	
		-	-	-	-	-	B	B	

【進捗状況】
4店の事業者の新規加盟があった。

【総合戦略の総括】
どんちっちブランドは推進組織が設立されて20年が経過し、消費地市場を中心に認知度が向上している。顧客に信頼されるブランドづくりのため、今後も関係機関と協力し、規格を遵守した良質な商品の供給を続けていきたい。加盟業者数について、目標達成には至らなかったが、一定の成果が得られたと考える。

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課		
⑥ ヒラメ稚魚育成尾数 ※7年間の累計 計画期間2年延長に伴い、目標値を56万尾に修正 ＜目標達成＞	8万尾	40万尾							
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計	
	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	56万尾	
	20.0%	40.0%	60.0%	80.0%	100.0%	120.0%	140.0%	－	
	A	A	A	A	A	－	－	－	
	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課		
	8万尾	56万尾	56万尾	100.0%	A	○	水産振興課		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	8万尾	A	
	－	－	－	－	－	85.7%	100.0%		
	－	－	－	－	－	A	A		
	【進捗状況】 計画どおり8万尾のヒラメ稚魚を中間育成し、放流を行った。								
	【総合戦略の総括】 中間育成の業務委託先である生湯町の古和養魚場にて、徹底した飼育管理をしていただいたお蔭で病気や斃死などの事故も発生せず、計画どおり毎年8万尾の育成目標を達成することができた。								

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
⑦ アワビ稚貝放流数 ※7年間の累計 計画期間2年延長に伴い、目標値を112,000個に修正		16,000個	80,000個						
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
		21,400個	16,000個	16,000個	0個	20,000個	15,700個	16,000個	105,100個
		26.8%	46.8%	66.8%	66.8%	91.8%	111.4%	131.4%	－
		A	A	A	B	A	－	－	－
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		16,000個	112,000個	105,100個	93.8%	A	○	水産振興課	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
		21,400個	16,000個	16,000個	0個	20,000個	15,700個	16,000個	B
		－	－	－	－	－	79.6%	93.8%	
	－	－	－	－	－	B	A		
【進捗状況】 単年度の目標値と同数の16,000個の稚貝を放流した。									
【総合戦略の総括】 2018年度に種苗育成施設において斃死事故が発生し、稚貝の確保ができず、放流が取り止めとなったことが影響し、目標の達成には至らなかった。 また、稚貝の価格高騰などにより目標値よりも少ない放流数となる年もあったが、逆に安い価格で入手できる年は放流数を増やすなどの柔軟な対応を行った。 目標達成には至らなかったが、一定の成果が得られたと考える。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
⑧ 漁港機能保全計画策定箇所数 ※津摩、古湊、福浦漁港の3か所 ＜目標達成＞		1か所	3か所	5か所	200.0%	A	○	水産振興課	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
		2か所	3か所	3か所	3か所	3か所	5か所	5か所	A
		50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	200.0%	200.0%	
		A	A	A	A	A	A	A	
【進捗状況】 機能保全計画を基に、漁港施設の簡易点検を適宜実施した。									
【総合戦略の総括】 市管理漁港である津摩、古湊、福浦、今浦、折居の5か所全ての機能保全計画を策定し、当初目標を上回る達成率となった。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
⑨ 漁港海岸長寿命化計画策定箇所数 ※折居漁港海岸 ＜目標達成＞		0か所	1か所	3か所	300.0%	A	○	水産振興課	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
		0か所	0か所	0か所	0か所	0か所	3か所	3か所	A
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	300.0%	300.0%	
		A	C	C	C	C	A	A	
【進捗状況】 長寿命化計画を基に、海岸施設の簡易点検を適宜実施した。									
【総合戦略の総括】 市管理漁港海岸である津摩、古湊、折居の3か所全ての長寿命化計画を策定し、当初目標を上回る達成率となった。									

2 農林業の振興

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 新規就農者の新規認定数 ※就農計画が新たに認定された農業経営体数 									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
② 認定農業者数の新規認定数	※農業経営改善計画が新たに認定された農業経営体数	1経営体	毎年1経営体 (5経営体)						
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計
		3経営体	5経営体	1経営体	3経営体	5経営体	1経営体	4経営体	22経営体
		60.0%	100.0%	180.0%	240.0%	340.0%	360.0%	440.0%	－
		A	A	A	－	－	－	－	－
2018年度以降、目標値を13経営体に上方修正		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	1経営体	13経営体							
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	合計	
	3経営体	5経営体	1経営体	3経営体	5経営体	1経営体	4経営体	22経営体	
	－	－	－	92.3%	130.8%	138.5%	169.2%	－	
	－	－	－	A	A	－	－	－	
	2020年度以降、目標値を23経営体に上方修正		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課
1経営体		23経営体	22経営体	95.7%	B	○	農林振興課		
2015年度		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
3経営体		5経営体	1経営体	3経営体	5経営体	1経営体	4経営体	A	
－		－	－	－	－	78.3%	95.7%		
－		－	－	－	－	B	B		
【進捗状況】 新規の認定農業者の希望者に対し、ヒアリングにより状況を確認し、農業経営改善計画認定申請書の策定の支援を行っている。 2021年度は、新たに4経営体を新規認定した。									
【総合戦略の総括】 当初毎年1経営体の増加を目標としたが、それを上回る成果を出し、2度目標を更新した。最終的には目標達成とならなかったが、担い手の確保について大きな成果を得られた。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
③ 集落営農組織数	※集落営農組織の規約が作成されている組織数	30組織	32組織						
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		32組織	33組織	33組織	35組織	35組織	36組織	－	
		100.0%	150.0%	150.0%	250.0%	250.0%	300.0%	－	
		A	A	A	－	－	－	－	
2018年度以降、目標値を35組織に上方修正		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		30組織	35組織						
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		32組織	33組織	33組織	35組織	35組織	36組織	－	
		－	－	－	100.0%	100.0%	120.0%	－	
		－	－	－	A	B	－	－	
	計画期間2年延長に伴い、目標値を37組織に修正		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課
		30組織	37組織	36組織	85.7%	B	○	農林振興課	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
		32組織	33組織	33組織	35組織	35組織	36組織	36組織	B
		－	－	－	－	－	85.7%	85.7%	
		－	－	－	－	－	B	B	
【進捗状況】 新たな組織化に向けて、集落等に働きかけを行っている。 2021年度は、複数の集落において、集落営農組織設立に向けた相談・協議を行ったが、設立には至らなかった。引き続き、相談・協議を行っている。									
【総合戦略の総括】 新たな集落営農組織の設立に向けた支援を行い、当初の目標を上回る実績となったが、新型コロナウイルス感染症の発症が確認された2019年度から、会合等が行えない状況となり、最終的には目標を下回った。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
④ 森林経営計画に基づく原木生産量 ※森林経営計画策定済み団地からの原木生産量 2018年度以降、目標値を28,000m³に上方修正 計画期間2年延長に伴い、目標値を32,000m³に修正 ＜目標達成＞		8,069m³	12,500m³						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	12,995m³	15,000m³	20,000m³	26,979m³	26,166m³	43,260m³	51,242m³		
	111.2%	156.4%	269.3%	426.8%	408.4%	794.2%	974.3%		
	A	A	A	-	-	-	-		
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		8,069m³	28,000m³						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	12,995m³	15,000m³	20,000m³	26,979m³	26,166m³	43,260m³	51,242m³		
	-	-	-	94.9%	90.8%	176.6%	216.6%		
	-	-	-	A	A	-	-		
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		8,069m³	32,000m³	51,242m³	180.4%	A	○	農林振興課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	A
	12,995m³	15,000m³	20,000m³	26,979m³	26,166m³	43,260m³	51,242m³		
	-	-	-	-	-	147.1%	180.4%		
	-	-	-	-	-	B	A		
【進捗状況】 発電用バイオマスチップ（C材）及び合板用原木（B材）に加え、杉檜の伐採や製材用原木（A材）も増加している。 ※素材生産量については、江津市を含めた概算数値。									
【総合戦略の総括】 県の働きかけにより、素材生産量は順調に伸びている。引き続き、素材流通協同組合や木材協会等と連携して素材生産量の拡大に努める。									
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
⑤ 苗木生産量 ※コンテナ苗等の苗木生産量		22,550本	91,000本	27,480本	7.2%	C	○	農林振興課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	C
	12,305本	22,460本	26,310本	12,800本	16,180本	37,000本	27,480本		
	-15.0%	-0.1%	5.5%	-14.2%	-9.3%	21.1%	7.2%		
	D	C	C	D	C	C	C		
【進捗状況】 2021年度は、防風設備の改善や猛暑時の散水など、天候に気を使いながら育苗に努めたが、病気等による枯損もあり、結果として2020年を下回る27,480本の生産にとどまった。									
【総合戦略の総括】 育苗場所・施設を移設したり、天候不順等もあり、安定的な生産ができなかったものの、伐採者と造林者の連携により、コンテナ苗の需要は増加傾向にある。									

3 商工業の振興

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 新商品の開発件数 ※本市の助成金を活用した新商品の開発累積件数 2018年度以降、目標値を年間10件以上に上方修正 計画期間2年延長に伴い、目標値を年間10件以上（134件）に修正 									

4 国際貿易港浜田港など港湾を活用した産業振興

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 外貨内貨貨物取扱量 ※浜田港の取扱い貨物量 計画期間2年延長に伴い、目標値を70万トンに修正		52万トン	65万トン						
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		46万トン	41万トン	44万トン	52万トン	49万トン	47万トン	45万トン	
		-46.2%	-84.6%	-61.5%	0.0%	-23.1%	-38.5%	-53.8%	
		C	D	C	C	C	-	-	
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		52万トン	70万トン	45万トン	-38.9%	C	○	産業振興課	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
		46万トン	41万トン	44万トン	52万トン	49万トン	47万トン	45万トン	C
		-	-	-	-	-	-27.8%	-38.9%	
	-	-	-	-	-	C	C		
【進捗状況】 林産品や鉱産品は増加したが、その他品目は減少。 国際定期コンテナ航路の減便も影響。									
【総合戦略の総括】 浜田港の物流機能の強化を図り、外貨内貨貨物取扱量の増加を図るため、アクセス道路である臨港福井4号線が開通、ガントリークレーンの供用が開始されるなど地域経済を支える物流拠点として港湾整備の推進が図られた。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
② コンテナ貨物取扱量 ※浜田港と韓国・釜山港との国際定期コンテナ航路のコンテナ取扱量 計画期間2年延長に伴い、目標値を4,500TEUに修正		3,414TEU	4,200TEU						
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		2,481TEU	2,918TEU	3,604TEU	3,777TEU	4,113TEU	4,539TEU	3,725TEU	
		-118.7%	-63.1%	24.2%	46.2%	88.9%	143.1%	39.6%	
		C	C	B	B	B	-	-	
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		3,414TEU	4,500TEU	3,725TEU	28.6%	B	○	産業振興課	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
		2,481TEU	2,918TEU	3,604TEU	3,777TEU	4,113TEU	4,539TEU	3,725m ³	B
		-	-	-	-	-	103.6%	28.6%	
	-	-	-	-	-	A	B		
【進捗状況】 2020年度に貨物取扱量の目標値を達成したが、2社の船社のうち1社が就航中止。 また世界的なコンテナ不足、海上輸送混乱もあり、国際定期コンテナ航路開設以来最小寄港数であったことが影響し、取扱量貨物量は減少した。									
【総合戦略の総括】 堅調に増加基調であったものの、新型コロナウイルス感染症を端にした海上輸送混乱により、先を見通すことが困難な状況となった。									

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
③ クルーズ客船の寄港回数 ※浜田港へ寄航するクルーズ客船の年間回数	2回	4回						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	4回	1回	2回	3回	2回	0回	0回	
	100.0%	-50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	-100.0%	-100.0%	
	A	D	C	B	C	-	-	
計画期間2年延長に伴い、目標値を5回に修正	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	2回	5回	0回	-66.7%	C	○	産業振興課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	4回	1回	2回	3回	2回	0回	0回	D
	-	-	-	-	-	-66.7%	-66.7%	
	-	-	-	-	-	C	C	
	【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症により、予定されていた国内クルーズ船の寄港は中止となったものの、受入れ時のため観光マップを作成。 なお、外国船籍クルーズ船は、寄港ができない状況が続いている。							
【総合戦略の総括】 島根県や浜田港振興会をはじめとした関係機関と連携し、誘致活動に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響により受入れが難しい状況となった。特に外国船籍クルーズ船の誘致は、継続的な寄港が絶たれたため、極めて厳しい環境となった。 クルーズ船の受入れのため、石見圏域の市町で連携した取り組みが図れるよう体制整備に取り組んだ。								

5 観光・交流の推進

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課		
① 浜田の五地想ものがたり協賛 店舗数 ※浜田の食材にこだわった地産地消メ ニュー提供店舗数		34店舗	38店舗							
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		33店舗	34店舗	31店舗	32店舗	36店舗	39店舗	33店舗		
		-25.0%	0.0%	-75.0%	-50.0%	50.0%	125.0%	-25.0%		
		C	C	C	C	B	-	-		
	計画期間2年延長に伴い、目標値を40店舗 に修正		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
			34店舗	40店舗	33店舗	-16.7%	C	○	観光交流課	
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
			33店舗	34店舗	31店舗	32店舗	36店舗	39店舗	33店舗	
			-	-	-	-	-	83.3%	-16.7%	
		-	-	-	-	-	B	C		

【進捗状況】
1店舗の新規加盟があった。
事業の整理が決まったことや、廃業などもあり加盟店が大幅に減少した。

【総合戦略の総括】
加盟店の廃業や退会などもあった中、新規店舗の加盟や継続してもらえよう取り組んだ。

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課		
② はまごちツープライス料 理提供食数 ※浜田の五地想ものがたり協賛店の 1,400円、2,800円の提供食数	1,400円	17,009食	24,000食							
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		15,500食	12,072食	11,543食	11,706食	-	-	-		
		-21.6%	-70.6%	-78.2%	-75.9%	-	-	-		
		C	D	D	D	-	-	-		
	2,800円	10,629食	17,000食							
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		11,152食	11,299食	10,386食	10,990食	-	-	-		
		8.2%	10.5%	-3.8%	5.7%	-	-	-		
		A	B	C	C	-	-	-		
	2019年度以降、目標値を3,000円以 下、50,000食に変更		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
			27,638食	50,000食	25,571食	-9.2%	C	○	観光交流課	
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
			26,652食	23,371食	21,929食	22,696食	25,864食	25,754食	25,571食	
			-	-	-	-	-7.9%	-8.4%	-9.2%	
		-	-	-	-	C	C	C		

【進捗状況】
提供食数を増やすため、ホームページやパンフレット、SNS等を活用しPRに努めた。

【総合戦略の総括】
食の魅力をPRし、提供食数の増加に努めることができた。
新型コロナウイルス感染症の影響で大人数での食事や外食の機会が減ったこともあり、食数は目標に届かなかった。

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
③ 宿泊客数 〔再掲〕 ※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数 計画期間2年延長に伴い、目標値を250,000人に修正 ＜目標達成＞		225,043人	240,000人						
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		261,903人	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	209,006人	309,462人	
		246.4%	82.3%	-38.4%	-6.7%	-42.2%	-107.2%	564.4%	
		A	A	C	C	C	-	-	
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		225,043人	250,000人	309,462人	338.3%	A	○	観光交流課	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
		261,903人	237,352人	219,299人	224,046人	218,736人	209,006人	309,462人	B
		-	-	-	-	-	-64.3%	338.3%	
		-	-	-	-	-	C	A	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、県のキャンペーンの効果や、工事関係等の長期宿泊により、宿泊者数が大幅に伸びた。									
【総合戦略の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊者数が減少した時期もあったが、浜田駅周辺エリアにホテルが2軒新設され、市内の宿泊キャパシティが増加したことや、工事関係の長期宿泊などの影響もあり2021年は宿泊者数が増加した。									
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
④ 合宿等誘致人数 〔再掲〕 ※合宿等誘致事業の年間利用人数		3,642人	5,000人	1,267人	-174.9%	D	○	観光交流課	
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
		3,831人	3,634人	4,036人	3,297人	2,483人	478人	1,267人	C
		13.9%	-0.6%	29.0%	-25.4%	-85.3%	-233.0%	-174.9%	
		A	C	B	C	C	D	D	
【進捗状況】 広島PRセンターとの連携等により合宿誘致を進めている。2021年度は、県内の修学旅行の利用が増えたことで、2020年度より増加した。 県内、県外へも営業活動も行った。									
【総合戦略の総括】 広島方面への営業活動を実施したものの、大口のリピーター団体からの申請が減少した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により合宿自体が開催されなかったこともあり、目標値に届かなかった。 要綱改正も行い、利便性向上を図った。									

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
⑤ <u>交流機会の創出</u> ※主催イベント等の開催回数の7年間の累計 計画期間2年延長に伴い、目標値を 年間10件以上（134件）に修正 ＜目標達成＞	0回	15回						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	4回	2回	2回	4回	12回	0回	1回	
	26.7%	40.0%	53.3%	80.0%	160.0%	160.0%	166.7%	
	A	A	A	A	A	-	-	
	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	0回	21回	25回	119.0%	A		観光交流課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	4回	2回	2回	4回	12回	0回	1回	A
	-	-	-	-	-	114.3%	119.0%	
	-	-	-	-	-	A	A	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大によりイベントの開催が難しかった。								
【総合戦略の総括】 新型コロナウイルス感染拡大によりイベントを開催すること自体が難しくなった。また開催方法の検討などこれまで通りの開催が難しくなったため、今度の開催方法についてはよく検討する必要がある。								

6 企業立地による雇用の推進

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 新規立地企業数 ※企業立地優遇制度による7年間の累計		1社	10社						
	計画期間2年延長に伴い、目標値を12社に修正	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		1社	3社	1社	0社	1社	0社	0社	
		10.0%	40.0%	50.0%	50.0%	60.0%	60.0%	60.0%	
		B	A	A	B	B	-	-	
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	1社	12社	6社	50.0%	B	○	産業振興課 （商工労働課）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	1社	3社	1社	0社	1社	0社	0社	B	
	-	-	-	-	-	50.0%	50.0%		
	-	-	-	-	-	B	B		
	【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ここ数年企業誘致活動ができておらず、島根県においても立地計画認定は1件にとどまるなど影響が大きかった。								
【総合戦略の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響で企業招聘ができていない。全体目標の達成へまだままだの状況である。									
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
② 新規学卒地元就職者数 〔再掲〕 ※地元の高校・大学を卒業して市内企業に就職する学生数		57人	90人						
	計画期間2年延長に伴い、目標値を100人に修正	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
		59人	63人	43人	46人	37人	53人	39人	
		6.1%	18.2%	-42.4%	-33.3%	-60.6%	-12.1%	-54.5%	
		B	B	C	C	C	-	-	
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	57人	100人	39人	-41.9%	C	○	商工労働課 （産業政策課）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	59人	63人	43人	46人	37人	53人	39人	C	
	-	-	-	-	-	-9.3%	-41.9%		
	-	-	-	-	-	C	C		
	【進捗状況】 浜田・江津地区雇用推進協議会と連携し新規学卒者向けの事業を実施したが、広島県や関西地域等都市部への就職希望者の増加に伴い、依然として厳しい状況にある。								
【総合戦略の総括】 地元就職への働きかけや浜田・江津地区の合同企業説明会、働き@浜田での地元企業の魅力発信を行ったが、広島県や関西地域等都市部への就職希望者が多く、目標値には届かなかった。									

【基本目標2】子どもを安心して産み育てる環境づくり	4項目	4個
---------------------------	-----	----

数値目標	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
出生数	442人	450人						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	407人	392人	396人	374人	342人	296人	302人	
	-437.5%	-625.0%	-575.0%	-850.0%	-1250.0%	-1825.0%	-1750.0%	
	C	D	D	D	-	-	-	
	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
2019年度以降の目標値を400人に下方修正	442人	400人	302人	-233.3%	D		子ども・子育て支援課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	407人	392人	396人	374人	342人	296人	302人	D
	-	-	-	-	-138.1%	-247.6%	-233.3%	
	-	-	-	-	D	D	D	
	【進捗状況】							
妊娠期からの切れ目ない人的支援の継続と、不妊治療費の助成拡充、新生児子育て応援金の新設、第3子以降保育料及び保育所等給食費無償化など、経済的支援を拡充し、対前年度比6人の増となった。								
【総合戦略の総括】								
市全体の人口と共に減少傾向は続き、2018年度以降の減少幅は特に大きく、2019年度から目標値を下方修正した。2020年度には300人を下回ったが、妊娠期からの切れ目ない人的支援の継続と、経済的支援の拡充を行い、2021年度は微増となった。								

1 健やかな育ちに向けた支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 子育て世代包括支援センター （仮称）の施設数	0か所	1か所	1か所	100.0%	A	○	子ども・子育て支援課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	0か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	A
	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	A	A	A	A	A	A	A	
<目標達成>								
【進捗状況】								
2016（H28）年10月に市役所本庁舎（子ども・子育て支援課）内に設置以来、妊娠期から子育て期にわたり切れ目のない支援を実施している。 2022（R4）年4月、野原町への新築移転により、子育て支援センターと同じ建物内に設置され、より連携を強化し、支援している。								
【総合戦略の総括】								
子育て世代包括支援センターとして2016年10月に本庁舎内に設置し、全ての妊産婦の状況を継続的に把握するとともに、妊娠期から子育て期までの総合的相談及び支援をワンストップで行い、安心して妊娠・出産・育児ができるよう、切れ目のない支援を実施している。 同センターの母子保健の機能と、老朽化した子育て支援センターで実施している子育て支援の機能を併せて新たに施設整備の上、2022年4月に開所する方針となり、新築移転に向けて、より連携が強化されるよう、検討・準備を行った。								

2 ゆとりある子育てへの支援

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 認可保育所定員数	1, 875人	1, 955人						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	1,875人	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	1,845人	1,820人	
	0.0%	0.0%	131.3%	75.0%	75.0%	-37.5%	-68.8%	
	A	A	A	B	-	-	-	
2019年度の目標値を2,000人に上方修正	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	1, 875人	2, 000人	1, 820人	-44.0%	B	○	子ども・子育て支援課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	1,875人	1,875人	1,980人	1,935人	1,935人	1,845人	1,820人	B
	-	-	-	-	48.0%	-24.0%	-44.0%	
	-	-	-	-	B	B	B	
	【進捗状況】 児童数が減少する中、保護者及び施設ニーズを踏まえた定員設定を行った。							
【総合戦略の総括】 少子化の影響により、目標値には届かなかったが、保護者ニーズに応じた定員設定を行い、待機児童はゼロだった。また、少子化の中でも民間の保育事業者が安定した経営を行えるよう、施設ニーズに沿った定員設定を行った。								

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
② 放課後児童クラブ定員数	740人	850人						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	790人	790人	825人	875人	875人	905人	915人	
	45.5%	45.5%	77.3%	122.7%	122.7%	150.0%	159.1%	
	A	B	A	-	-	-	-	
2018年度以降、目標値を875人に上方修正	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	740人	875人						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	790人	790人	825人	875人	875人	905人	915人	
	-	-	-	100.0%	100.0%	122.2%	129.6%	
	-	-	-	A	-	-	-	
	2019年度以降、目標値を905人に上方修正	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課
740人		905人	915人	106.1%	A	○	子ども・子育て支援課	
2015年度		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
790人		790人	825人	875人	875人	905人	915人	A
-		-	-	-	81.8%	100.0%	106.1%	
-		-	-	-	B	A	A	
【進捗状況】								
2020年10月に30名の定員増となり、目標を達成した。								
【総合戦略の総括】								
放課後児童クラブの増設等により、目標値である905人を達成し、現在、待機児童はいない状況である。								

3 安心・安全な子育て環境の整備

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 地域子育て支援拠点数	2施設	3施設						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	2施設	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	4施設	
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	200.0%	200.0%	200.0%	
	C	A	A	A	-	-	-	
2019年度以降、目標値を4施設に上方修正 ＜目標達成＞	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	2施設	4施設	4施設	100.0%	A	○	子ども・子育て支援課	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	2施設	2施設	2施設	3施設	4施設	4施設	4施設	A
	-	-	-	-	100.0%	100.0%	100.0%	
	-	-	-	-	A	A	A	
	【進捗状況】 2018年度に三隅地域、2019年度に旭地域に新たに子育て支援拠点施設が開所した。 また、当市の子育て支援ネットワークの中核施設である「子育て支援センターすくすく」について、2022年度の新築移転に向けて整備を行った。							
【総合戦略の総括】 地域バランスを考慮しながら、新たに子育て支援拠点施設2施設を開所することができた。このことにより、子育て中の親子の交流、育児相談、子育てに関する情報提供等を実施し、地域における子育て力の向上に寄与した。								

【基本目標3】U・Iターンや定住の促進とふるさと郷育の推進	9項目	11個
--------------------------------------	------------	------------

数値目標	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
<u>社会増減数（転入－転出）</u>	-319人	-260人	-458人	-235.6%	D			
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	-392人	-118人	-473人	-366人	-296人	-170人	-458人	C
	-123.7%	340.7%	-261.0%	-79.7%	39.0%	252.5%	-235.6%	
	D	A	D	C	B	A	D	
【進捗状況】								
対前年度比で、転入は1,505人で270人減、転出は1,963人で18人増となり、転入者が大幅に減少した。新型コロナウイルス感染症による影響が読みづらいが、今後も新たな生活様式への取組を一層進める必要がある。								
【総合戦略の総括】								
7年間の平均値としては-324人の社会減となり、策定時現状値を下回る結果であった。転入転出については2～3年に一度大きな変動があり、分析やアンケート調査を実施しているが、新型コロナウイルス感染症による影響もあり大きな改善は見込めなかった。今後は、2021年度から取組を進めている総合戦略プラスで掲げた「浜田で出会い・結婚・出産・子育て」応援プログラム等の若者対策を着実に展開していく必要がある。								

1 人がつながる定住環境づくりの推進

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① U・Iターン者数 ※各支援制度等を通じたU・Iターン者の 数(うちIターン者数)	34人	45人						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	73人 (36人)	57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	110人 (94人)	
	354.5%	209.1%	554.5%	436.4%	509.1%	845.5%	690.9%	
	A	A	B	-	-	-	-	
2018年度以降、目標値を100人に上方修正 ＜目標達成＞	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	34人	100人	110人 (94人)	115.2%	A	○	定住関係人口推進課 (政策企画課)	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	73人 (36人)	57人 (37人)	95人 (52人)	82人 (45人)	90人 (67人)	127人 (77人)	110人 (94人)	A
	-	-	-	72.7%	84.8%	140.9%	115.2%	
	-	-	-	B	B	A	A	

【進捗状況】

市の各種支援制度等を通じたU・Iターン者数は2020年度に比べて減少した。また、島根県人口動態調査による数値も減少した。【参考】石見部他市の2021年度U・Iターン者数（島根県人口移動調査）浜田市183人（2020年度浜田市209人）

【総合戦略の総括】

定住相談員を中心に、関係機関と連携しながら、移住相談をワンストップで対応した。さらに、移住相談者の名簿管理を行い、移住希望者の近況やニーズを把握し、定住支援情報を提供するなど、丁寧なフォローを行うことで、移住促進に努めた。

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
② U・Iターン者との意見交換会の開催回数 ※年間開催回数	1回	3回	1回	0.0%	B	○	定住関係人口推進課 （政策企画課）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	1回	2回	2回	2回	3回	2回	1回	B	
	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	100.0%	50.0%	0.0%		
	B	B	B	B	A	A	B		
【進捗状況】 年2回計画していたU・Iターン者との意見交換会及び交流会は、新型コロナウイルス感染症の状況により、直前で交流会が中止となったため、1回の実施となった。									
【総合戦略の総括】 シングルペアレント就労人材育成事業の新規研修生受入時の歓迎交流会と、U・Iターン者と地域住民との意見交換会及び交流会を移住定住支援組織と連携して行うことで、浜田市での生活の良さや戸惑いなどを情報共有しながら仲間づくりと地域に馴染めるように努めた。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
③ U・Iターン相談件数 ※定住フェア、空き家バンク制度等を通じた年間相談件数	255人	290人							
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	343人	286人	251人	202人	326人	327人	524人		
	251.4%	88.6%	-11.4%	-151.4%	202.9%	205.7%	768.6%		
	A	A	C	C	A	-	-		
計画期間2年延長に伴い、目標値を300人に修正 <目標達成>	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課		
	255人	300人	524人	597.8%	A	○	定住関係人口推進課 （政策企画課）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	343人	286人	251人	202人	326人	327人	524人	A	
	-	-	-	-	-	160.0%	597.8%		
	-	-	-	-	-	A	A		
	【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響による、東京圏から地方への移住の流れがある中で、新たな施策の取組や定住相談員の丁寧なフォロー等により、相談件数の増加に繋がった。								
【総合戦略の総括】 定住相談員を中心に、定住フェアや各種相談会等の移住相談をワンストップサービスで対応した。あわせて、移住相談者の名簿管理を行い、移住希望者の近況やニーズを把握し、定住支援情報を提供するなど、丁寧なフォローを行うことで、移住促進に努めた。									

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
④ 空き家バンク登録件数 ※空き家バンクへの年間登録物件数	13件	18件						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	30件	66件	71件	81件	70件	74件	58件	
	340.0%	1060.0%	1160.0%	1360.0%	1140.0%	1220.0%	900.0%	
	A	A	A	-	-	-	-	
2018年度以降、目標値を60件に上方修正	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	13件	60件						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	30件	66件	71件	81件	70件	74件	58件	
	-	-	-	144.7%	121.3%	129.8%	95.7%	
	-	-	-	A	A	-	-	
	計画期間2年延長に伴い、目標値を71件に修正	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課
13件		71件	58件	77.6%	B	○	定住関係人口推進課 （政策企画課）	
2015年度		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
30件		66件	71件	81件	70件	74件	58件	A
-		-	-	-	-	105.2%	77.6%	
-		-	-	-	-	A	B	
【進捗状況】 専用IPや市報、浜田地域以外の4地域にチラシを全戸配布するなど、制度周知に努めるとともに、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努めたが、新型コロナウイルス感染症による行動制限が長期化したことにより、登録件数は減少した。								
【総合戦略の総括】 制度周知と、空き家相談員を中心に丁寧な相談対応に努めた結果、空き家バンクの認知度が高まり、空き家の利活用に繋がった。								

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
⑤ 婚活イベント参加者数 <small>※市主催又は助成団体が開催する婚活イベントの年間延べ参加者数</small>	162人	200人						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	374人	373人	355人	294人	327人	94人	82人	
	557.9%	555.3%	507.9%	347.4%	434.2%	-178.9%	-210.5%	
	A	A	B	-	-	-	-	
2018年度以降、目標値を250人に上方修正	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	162人	250人	82人	-90.9%	C	○	定住関係人口推進課 （政策企画課）	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	374人	373人	355人	294人	327人	94人	82人	B
	-	-	-	150.0%	187.5%	-77.3%	-90.9%	
	-	-	-	B	A	C	C	
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントが実施しにくい状況となり、参加者数も減少した。 【参考】 2021年度市内のイベント等による成婚組数5件								
【総合戦略の総括】 市内結婚支援団体が行うイベントへの周知等に加え、結婚支援団体と定期的に会議を行い、結婚支援のあり方について協議を重ね、連携を深めた。市が主催するセミナーについては、2019年度に業務委託を行い、2021年度からは、民間団体が自主事業として行うこととなった。								

2 ふるさと郷育の推進

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課		
① 「総合的な学習の時間」 で学習したことが普段の 生活や社会に出たときに 役立つと思う子どもの割 合 ※全国学力・学習状況調査による肯定率 計画期間2年延長に伴い、目標値を 90%に修正	小6	83.5%	88.0%							
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		85.5%	79.7%	－	86.9%	88.8%	89.5%	88.2%		
		44.4%	－84.4%	－	75.6%	117.8%	133.3%	104.4%		
		A	C	－	B	A	－	－		
	小6	83.5%	90.0%	88.2%	72.3%	B	○	学校教育課		
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
		85.5%	79.7%	－	86.9%	88.8%	89.5%	88.2%	B	
		－	－	－	－	－	92.3%	72.3%		
		－	－	－	－	－	B	B		
	② 2020年度以降、目標値を90%に上方 修正 <目標達成>	中3	74.1%	78.0%						
			2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
			78.6%	71.6%	－	85.8%	91.2%	88.3%	90.9%	
			115.4%	－64.1%	－	300.0%	438.5%	364.1%	430.8%	
A			C	－	A	A	－	－		
中3		74.1%	90.0%	90.9%	105.7%	A	○	学校教育課		
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
		78.6%	71.6%	－	85.8%	91.2%	88.3%	90.9%	A	
		－	－	－	－	－	89.3%	105.7%		
		－	－	－	－	－	B	A		
【進捗状況】 中学校においては、地域を題材にして生徒自らが地域についての課題を設定し、情報を収集・整理し、解決に向けた取組について考え、表現をする総合的な学習に取り組んでいる。このような身近な課題の解決に向かった主体的な学びの積み重ねが、役に立つとの思いを抱かせ、目標を達成したことにつながったと考える。小学校においては、目標達成には至っていないが、目標値に近い数値である。学習したことを地域に発信したり、地域からの評価によって学びの充実感を味わえるようにしていくことが必要である。										
【総合戦略の総括】 中学校においては、2020年度に目標値を80%から90%に上方修正をしたが達成した。小学校においては、当初設定した目標値90%に0.8%届かなかったが、目標値に迫っている。各学校においては、地域の「ひと、もの、こと」を題材としながら、児童生徒が課題を設定し、解決のゴールを明確にした取組を継続してきた。このことにより、学習したことが身近な生活につながっていることや、このような学び方が将来に役立つとの実感をもつことにつながったと考える。小学校においては、まずは児童が自分事として課題を捉え設定していく取組を充実する必要がある。 ※2017（平成29）年度は全国学力調査から質問が削除されたため現状値不明。2018（平成30）年度意向は独自アンケートを実施。										

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課		
③「総合的な学習の時間」 において、自分で調べ学 習活動に取り組んでいる と思う子どもの割合 ※全国学力・学習状況調査による肯定率 2020年度以降、目標値を80%に上方 修正	小6	57.7%	63.0%							
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		65.9%	67.3%	72.6%	75.9%	76.0%	75.6%	76.5%		
		154.7%	181.1%	281.1%	343.4%	345.3%	337.7%	354.7%		
		A	A	A	A	A	-	-		
	小6	57.7%	80.0%	76.5%	84.3%	B	○	学校教育課		
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
		65.9%	67.3%	72.6%	75.9%	76.0%	75.6%	76.5%	B	
		-	-	-	-	-	80.3%	84.3%		
		-	-	-	-	-	B	B		
④ 2020年度以降、目標値を80%に上方 修正 <目標達成>	中3	52.7%	58.0%							
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
		59.9%	60.3%	71.9%	78.7%	79.8%	86.5%	84.0%		
		135.8%	143.4%	362.3%	490.6%	511.3%	637.7%	590.6%		
		A	A	A	A	A	-	-		
	中3	52.7%	80.0%	84.0%	114.7%	A	○	学校教育課		
		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
		59.9%	60.3%	71.9%	78.7%	79.8%	86.5%	84.0%	A	
		-	-	-	-	-	123.8%	114.7%		
		-	-	-	-	-	A	A		
【進捗状況】 中学校においては目標を達成し、小学校においても目標値に近い数値となっている。総合的な学習の時間において意欲的に主体的に学んでいくためには、課題設定が重要である。身近な課題を児童生徒自らが設定することで、情報収集、整理・分析、まとめ・表現といった探究的な学習が可能となっていると考える。小学校においては、児童自らが課題を設定していくための営みを重視していく必要がある。										
【総合戦略の総括】 小中学校共に2020年度に目標値を小学校は65%から80%、中学校は60%から80%に上方修正をした。中学校においては、この目標を達成した。小学校については、3.5%届かなかったが目標値に迫っている。策定時の現状値と2021年度の数値を比較すると、小学校は18.8%の伸び（57.7%→76.5%）、中学校は31.3%（52.7%→84.0%）伸びている。総合的な学習の時間の指導で大切にしなければならない課題設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現といった一連の探究活動をサイクル化しながら各学校が取り組んできた成果であると考え										
重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課		
⑤公民館におけるふるさと郷育 (地域住民対象)の実施数	52事業	78事業	62事業	38.5%	C		学校教育課 (生涯学習課)			
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価		
	61事業	62事業	79事業	83事業	105事業	74事業	62事業	B		
	34.6%	38.5%	103.8%	119.2%	203.8%	84.6%	38.5%			
	A	A	A	A	A	B	C			
【進捗状況】 26の全てのまちづくりセンターにおいて事業実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画していた事業を中止するセンターが複数見られたことにより、例年と比較して達成率が減少した。										
【総合戦略の総括】 7年間の事業実施数の平均は約75事業と目標値から劣後しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止をしたことが要因であると考えられる。今後も各まちづくりセンターにおいて、感染症対策を徹底したうえで事業実施できるよう取り組む。										

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
⑥ ふるさと郷育ネットワーク団体数 ※中学校区でふるさと郷育を協議するネットワーク団体の数 ＜目標達成＞	3団体	9団体	9団体	100.0%	A	○	学校教育課 （生涯学習課）	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	8団体	8団体	8団体	9団体	9団体	9団体	9団体	A
	83.3%	83.3%	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
	A	A	A	A	A	A	A	
【進捗状況】 各中学校区エリアにおいて、例年通りエリアコーディネーターを設置し、各中学校区ネットワーク会議の開催や事業支援を行った。また、事業説明や取組の振り返り、意見交換、実践発表等を行い、ふるさと郷育を推進した。								
【総合戦略の総括】 各中学校区エリアにおいてエリアコーディネーターを設置し概ね目標を達成することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、ネットワーク会議や事業の頻度は減少したが、地域と学校を繋ぐ役割を務め、連携を取りながらふるさと郷育の推進に努めた。								

【基本目標4】地域の特性を活かした安心して暮らせるはまだづくり

11項目

11個

数値目標	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
地区まちづくり推進委員会の組織率 ※地区まちづくり推進委員会に参画する町内の組織率	66%	90%	81%	60.4%	B	○	地域活動支援課 (まちづくり推進課)	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	66%	70%	71%	71%	75%	75%	81%	B
	0.0%	16.7%	20.8%	20.8%	37.9%	37.5%	60.4%	
	A	A	B	B	B	C	B	
【進捗状況】 新たに2つの地区まちづくり推進委員会が設立された。また、複数の地区において、設立に向けた取組の支援を行い、地区まちづくり推進委員会設立準備会が立ち上がった地区もあった。								
【総合戦略の総括】 地区まちづくり推進委員会の設立促進のため、認定要綱の見直し、まちづくり総合交付金制度の活用促進等を行い、2016年度以後に、新たに10団体が設立された。 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での話し合いの場を持つことが難しい時期もあったが、組織化に向けての取組を進めることができた。								

1 地域コミュニティの形成

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 地区まちづくり推進委員会の組織率〔再掲〕 ※地区まちづくり推進委員会に参画する町内の組織率	66%	90%	81%	60.4%	B	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	66%	70%	71%	71%	75%	75%	81%	B
	0.0%	16.7%	20.8%	20.8%	37.9%	37.5%	60.4%	
	A	A	B	B	B	C	B	
【進捗状況】 新たに2つの地区まちづくり推進委員会が設立された。また、複数の地区において、設立に向けた取組の支援を行い、地区まちづくり推進委員会設立準備会が立ち上がった地区もあった。								
【総合戦略の総括】 地区まちづくり推進委員会の設立促進のため、認定要綱の見直し、まちづくり総合交付金制度の活用促進等を行い、2016年度以後に、新たに10団体が設立された。 新型コロナウイルス感染症の影響により、地域での話し合いの場を持つことが難しい時期もあったが、組織化に向けての取組を進めることができた。								

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課		
② 人材育成研修会等の開催回数 ※地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数	2回	5回							
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	1回	3回	3回	3回	2回	2回	1回		
	-33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	-33.3%		
	C	B	B	B	B	-	-		
	計画期間2年延長に伴い、目標値を6回に修正	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	2回	6回	1回	-25.0%	C	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	1回	3回	3回	3回	2回	2回	1回	B	
	-	-	-	-	-	0.0%	-25.0%		
	-	-	-	-	-	B	C		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業を一部中止したことにより開催回数は目標達成には至らなかった。実施した事業は、オンデマンドにより開催した。									
【総合戦略の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりの開催はできなかったものの、研修会等の開催により、地域リーダーの育成や協働のまちづくりの必要性など住民主体のまちづくりの推進に向けた機運の醸成を図ることができた。									
③ 市民団体の補助事業申請件数 ※市民協働活性化支援事業の年間実施件数	7件	12件							
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	7件	6件	9件	12件	13件	11件	15件		
	0.0%	-20.0%	40.0%	100.0%	120.0%	80.0%	160.0%		
	B	C	B	A	A	-	-		
	計画期間2年延長に伴い、目標値を15件に修正 ＜目標達成＞	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	7件	15件	15件	100.0%	A	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	7件	6件	9件	12件	13件	11件	15件	A	
	-	-	-	-	-	50.0%	100.0%		
	-	-	-	-	-	B	A		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、事業実施における感染症対策に係る経費も補助の対象となることを周知した。感染症対策を実施しながら活動を再開された団体が多く、申請件数がコロナ前程度に回復した。									
【総合戦略の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも最終年度において、目標達成することができた。市民活動団体が行う公益活動の促進と、市民参加機会の創出に寄与することができた。									

2 大学等高等教育機関と連携した地域づくり

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 市民交流促進事業実施件数 ※大学等と市民団体とが実施する交流事業の7年間の合計件数 計画期間2年延長に伴い、目標値を50件に修正 ＜目標達成＞		6件	42件						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	12件	12件	10件	16件	12件	1件	1件		
	28.6%	57.1%	81.0%	119.0%	147.6%	158.3%	161.1%		
	A	A	A	A	A	-	-		
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		6件	50件	64件	131.8%	A	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	A
	12件	12件	10件	16件	12件	1件	1件		
	-	-	-	-	-	129.5%	131.8%		
-	-	-	-	-	A	A			
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染症の影響により、大学等が市民との交流活動を自粛された結果、補助金の交付件数は1件のみだった。									
【総合戦略の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度以後申請件数が伸びなかったものの、2018年度に学生等から申請できるように見直しを図ったことや事業の積極的な周知によって、大学等と市民との交流促進に寄与することができた。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
② 県立大学との共同研究実施件数 ※県立大学と浜田市が実施する共同研究の7年間の合計件数 計画期間2年延長に伴い、目標値を24件に修正 ＜目標達成＞		4件	20件						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度		
	6件	7件	6件	5件	5件	6件	6件		
	30.0%	65.0%	95.0%	120.0%	145.0%	193.8%	231.3%		
	A	A	A	A	A	-	-		
		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
		4件	24件	41件	185.0%	A	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	A
	6件	7件	6件	5件	5件	6件	6件		
	-	-	-	-	-	155.0%	185.0%		
-	-	-	-	-	A	A			
【進捗状況】 教育、交通、福祉及び観光振興等、様々な分野をテーマとした共同研究が6件実施された。 新型コロナウイルス感染症対策のため報告会はオンラインで実施された。									
【総合戦略の総括】 市の活性化に資する様々な分野の調査研究の実施、市に対する政策提言がなされた。 市が抱える様々な課題に対し、市と大学が課題解決の必要性について共通認識を持ち、連携して取り組むことができたことにより、実施件数増加につながった。									

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
③ 新入生浜田探索ツアー参加者数 ※大学等の新入生を対象に実施する浜田探索ツアー参加者の7年間合計人数 計画期間2年延長に伴い、目標値を1,000人に修正 ＜目標達成＞	38人	850人						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	248人	273人	251人	258人	288人	0人	29人	
	29.2%	61.3%	90.8%	121.2%	155.1%	157.6%	161.2%	
	A	A	A	A	A	-	-	
	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	38人	1,000人	1,347人	136.1%	A	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	248人	273人	251人	258人	288人	0人	29人	A
	-	-	-	-	-	133.1%	136.1%	
-	-	-	-	-	A	A		
【進捗状況】 新型コロナウイルス感染拡大防止のためバスツアーは実施できず、オンライン形式で行った。 オンラインツアーの形式に馴染みがないことや、新型コロナウイルス感染症の影響により、十分な周知ができなかったことから参加者数が伸びなかった。								
【総合戦略の総括】 新型コロナウイルス感染症の影響により、近年はバスツアーの実施ができなかったが、多くの新入生に参加していただき、浜田の魅力を 知っていただく機会を提供することができた。								

3 公共交通の充実

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 生活路線バス1便当たり利用者数 ※1便当たりの年間利用者数の維持	2.0人／便	2.0人／便以上	1.5人／便	-25.0%	C	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	2.0人／便	1.6人／便	1.5人／便	1.5人／便	1.4人／便	1.1人／便	1.5人／便	C	
	100.0%	-20.0%	-25.0%	-25.0%	-30.0%	-45.0%	-25.0%		
	A	C	C	C	C	C	C		
【進捗状況】 従来からの課題である人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇、バス利用（バス停までの移動等）困難者の増加に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響も継続しており、目標達成には至らなかった。									
【総合戦略の総括】 人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇、バス利用（バス停までの移動等）困難者の増加の影響が予想以上に大きく、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて運行計画の見直しを行ったものの利用者の維持を計画どおり進めることは困難であった。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えも大きく影響した。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
② 予約型乗合タクシー1便当たり利用者数 ※1便当たりの年間利用者数の維持	1.8人／便	1.8人／便以上	1.3人／便	-27.8%	C	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	1.6人／便	1.5人／便	1.6人／便	1.8人／便	1.7人／便	1.4人／便	1.3人／便	C	
	-11.1%	-16.7%	-11.1%	100.0%	-5.6%	-22.2%	-27.8%		
	B	C	B	A	C	C	C		
【進捗状況】 従来からの課題である人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えの影響が継続しており、目標達成には至らなかった。									
【総合戦略の総括】 人口減少や高齢者の運転免許保有率の上昇の影響が予想以上に大きく、第2次浜田市地域公共交通再編計画に基づいて運行計画の見直しを行ったものの利用者の維持を計画どおり進めることは困難であった。 また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外出控えも大きく影響した。									

重要業績評価指標（KPI）		基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
③ 輸送事業に取り組む地域自主組織数 ※主体的に輸送事業に取り組む地域自主組織の数 <目標達成>	1団体	3団体	3団体	100.0%	A	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）		
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価	
	1団体	1団体	3団体	3団体	3団体	3団体	3団体	A	
	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
	A	B	A	A	A	A	A		
【進捗状況】 3地区においてコミュニティワゴン運送（市からの無償貸与の自家用車を使用した輸送活動）が継続され、その活動を支援した。									
【総合戦略の総括】 コミュニティワゴン運送に取り組む地区では、貴重な移動手段として定着している。 一方で、ドライバーの維持や財源の確保等、活動継続に向けた課題解決が必要となっている。									

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
④ 環境整備を実施したバス停数 ※市がベンチや上屋の設置等、環境改善に取り組んだバス停数の累計	3か所	5か所						
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
	3か所	4か所	5か所	5か所	6か所	6か所	6か所	
	0.0%	50.0%	100.0%	100.0%	150.0%	150.0%	150.0%	
	A	A	A	A	A	-	-	
計画期間2年延長に伴い、目標値を6か所に修正 ＜目標達成＞	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
	3か所	6か所	6か所	100.0%	A	○	地域活動支援課 （まちづくり推進課）	
	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	7年間の評価
	3か所	4か所	5か所	5か所	6か所	6か所	6か所	A
	-	-	-	-	-	100.0%	100.0%	
	-	-	-	-	-	A	A	
	【進捗状況】 関係機関に働きかけを行ったが、新たなバス停の環境整備には至らなかった。							
【総合戦略の総括】 交通事業者の協力もあり、目標達成することができた。 利用者の多い合庁前バス停の待合所整備や交通結節点となる旭支所前バスロータリー整備が実施できたことで利用者の利便性の向上につながった。								

4 公民館における人材育成と拠点整備

重要業績評価指標（KPI）	基準値	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	総合振	担当課	
① 地域課題の解決支援事業を実施する公民館数 								

1 出会い・結婚・出産への支援 ～子どもの数を0人から1人へ～

重要業績評価指標（KPI）	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課
① <u>結婚新生活支援事業交付件数</u> ※5年間の累計件数	0件	550件	127件	23.1%	A	定住関係人口推進課
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	127件	－	－	－	－	
	23.1%	－	－	－	－	
	A	－	－	－	－	
<p>【進捗状況】</p> <p>広報はまだ、市IPやケーブルテレビ等による広報に加え、婚姻届提出時のチラシ配布、未申請者に対する案内など、積極的に制度周知をしたこともあり、申請件数は見込件数を上回った。</p>						
<p>【今後の取組】</p> <p>引き続き、結婚に伴う経済的な支援を行い、定住促進及び少子化対策の推進を図る。</p>						
重要業績評価指標（KPI）	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課
② <u>認定事業所数</u> ※5年間の累計事業所数	0事業所	70事業所	0事業所	0.0%	D	子ども・子育て支援課
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	0事業所	－	－	－	－	
	0.0%	－	－	－	－	
	D	－	－	－	－	
<p>【進捗状況】</p> <p>2021年度末に実施要綱を制定し、2022年度から事業開始となった。</p>						
<p>【今後の取組】</p> <p>事業の周知をホームページで行っているが、他の方法を検討し、事業の周知を図る。</p>						

重要業績評価指標（KPI）	2019年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課
③ <u>一般不妊治療費助成件数</u> ※5年間の累計件数	63件	350件	48件	13.7%	B	子ども・子育て支援課
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	48件	－	－	－	－	
	13.7%	－	－	－	－	
	B	－	－	－	－	
【進捗状況】 2009年度に市の独自事業として助成限度額1回あたり3万円で開始。順次助成額を引き上げ、2021年度には助成限度額10万円に拡充した。2021～2025年度の累計件数として350件を目標値としており、1年あたり70件とすると、少し下回っているが、不妊治療を受ける方の経済的負担の軽減につながった。						
【今後の取組】 治療の保険適応に伴い、事業を拡充し、引き続き安心して治療を行えるよう支援する。						

重要業績評価指標（KPI）	2019年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課
④ <u>特定不妊治療費助成件数</u> ※5年間の累計件数	32件	200件	57件	28.5%	A	子ども・子育て支援課
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	57件	－	－	－	－	
	28.5%	－	－	－	－	
	A	－	－	－	－	
【進捗状況】 2016年度から県の特定不妊治療費助成限度額に75,000円上乗せする形で市の助成を開始し、2021年度には助成限度額125,000円に拡充した。2021～2025年度の累計件数として200件を目標値としており、1年あたり40件とすると、大きく上回る結果となり、不妊治療を受ける方の経済的負担の軽減につながった。						
【今後の取組】 治療の保険適応に伴い、事業を拡充し、引き続き安心して治療を行えるよう支援する。						

2 第3子以降の出生に向けた支援 ～理想の子どもの数へ～

重要業績評価指標（KPI）	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課
① <u>第3子以降出生祝い金交付件数</u> ※5年間の累計件数	0件	350件	57件	16.3%	C	子ども・子育て支援課
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	57件	－	－	－	－	
	16.3%	－	－	－	－	
	C	－	－	－	－	
【進捗状況】 2021年度から新生児子育て応援金として支給開始。対象を第3子以降に限らず第1子、第2子も対象とした。支給額は第1子・第2子は5万円、第3子以降は30万円とした。 年間70件を見込んでいたが、目標値を下回った。						
【今後の取組】 幅広い周知方法を検討する。						

3 若者の暮らしやすいまちづくり ～若者の社会減を減らす～

重要業績評価指標（KPI）	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課
① <u>15歳から39歳までの人口</u> ※各年度人口(対前年度増減数)	10,740人	10,000人 -150人/年度	10,090人 (-650人)	12.2%	B	政策企画課
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	10,090人 (-650人)	-	-	-	-	
	12.2%	-	-	-	-	
	B	-	-	-	-	
【進捗状況】 10,000人を維持するという目標は達成しているが、減少幅を毎年150人程度にとどめることに対しては、2020年10月1日現状値10,740人から650人減と大幅な減となった。 島根県人口動態調査による15-39歳の主な移動理由は、転入転出ともに「転勤」「就職」であった。						
【今後の取組】 社会動態を調査・分析し、状況を把握するとともに、地元企業への就業者の増加に向けた施策や「浜田で出会い・結婚・出産・子育て」応援プログラム等の若者対策を着実に展開し、若者が暮らしやすいまちづくりの推進に向けた横断的な取組を図っていく。						

4 新たな生活様式への対応 ～新たな生活様式へ～

重要業績評価指標（KPI）	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課
① <u>高速情報通信網 市内カバー率</u>	80.72%	100%	100%	100.0%	A	政策企画課
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	100%	-	-	-	-	
	100.0%	-	-	-	-	
<目標達成>	A	-	-	-	-	
【進捗状況】 市内全域の幹線を光回線に整備した。 2022年度以降は各世帯の宅内工事を実施していく。						
【今後の取組】 2025年度までに全ての対象世帯の宅内工事を実施し、光回線を利用できるよう整備を行う。						
重要業績評価指標（KPI）	2020年度 基準値	2025年度 目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課
② <u>地域情報化計画の策定</u>	0%	100%	100%	100.0%	A	政策企画課
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
	100%	-	-	-	-	
	100.0%	-	-	-	-	
<目標達成>	A	-	-	-	-	
【進捗状況】 「浜田市地域情報化推進計画」を策定した。 2022年度以降は計画に沿った情報化を行っていく。						
【今後の取組】 策定した計画を推進し、情報化を進めるとともに、毎年度進捗確認および事業の見直しを行うことにより、情報通信技術の進化に対応する。						

地方創生推進交付金

【高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト】

重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課	
① 「高校を核とした関係人口」 の数 （＝地域みらい留学生徒数＋ 卒業後も地元に関わった大学 生・社会人数＋地域外からの 高校への応援者数） ※県内外32市町村の5年間の累計	2,360人	4,855人	3,948人	81.3%	B	学校教育課 （生涯学習課）		
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
	目標値	2,560人	4,855人	4,403人	－	－		
	実績値	4,239人	3,984人	－	－	－		
	達成率	165.6%	81.3%	－	－	－		
	評価	A	B	－	－	－		
重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課	
② 「都市部での地方高校全国説 明会」参加者数 ※県内外32市町村の5年間の累計 ＜目標達成＞	2,093人	3,706人	4,004人	108.0%	A	学校教育課 （生涯学習課）		
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
	目標値	2,293人	3,706人	4,360人	－	－		
	実績値	3,456人	4,004人	－	－	－		
	達成率	150.7%	108.0%	－	－	－		
	評価	A	A	－	－	－		
重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課	
③ 「地域課題解決学習全国大 会」エントリープロジェクト 件数 ※県内外32市町村の5年間の累計 ＜目標達成＞	292件	593件	773件	130.4%	A	学校教育課 （生涯学習課）		
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
	目標値	322件	593件	970件	－	－		
	実績値	439件	773件	－	－	－		
	達成率	136.3%	130.4%	－	－	－		
	評価	A	A	－	－	－		
重要業績評価指標（KPI）		事業開始前	目標値	2021年度 現状値	達成率	進捗評価	担当課	
④ 「共学共創ネットワーク」参 加自治体・学校数 ※県内外32市町村の5年間の累計 ＜目標達成＞	55団体	74団体	78団体	105.4%	A	学校教育課 （生涯学習課）		
		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度		
	目標値	60団体	74団体	86団体	－	－		
	実績値	68団体	78団体	－	－	－		
	達成率	113.3%	105.4%	－	－	－		
	評価	A	A	－	－	－		
【進捗状況】 本プロジェクトは、全国に広がっており、共学共創ネットワークに参加する自治体や学校が増えている。これにより、連携自治体が増えたことから、申請主体の島根県では、目標値の再設定を行っている。 本市においては、HAMADA教育魅力化コンソーシアムを設立し、1年が経過する中、各学校の特色を活かした学びによる人づくりを支援する体制が着実に進んでいる。 HAMADA教育魅力化コンソーシアムでは、市内の高校との協働を通じて、高校生の「探求的な学習」や主体的な地域活動への参画を支援することで、自分のことだけでなく、「地域」や「未来」のことを考える人づくりを目指している。 本市としてもHAMADA教育魅力化コンソーシアムの取組への支援を通じて、地域活性化の好循環に繋げていく。								
【今後の取組】 「高校を核とした関係人口」の数については、2020年度実績で大幅に増加させることができたため、その反動もあり2021年度は2020年度に比較すると減少した。ただし、2020年度では、目標値を大きく上回っていることから、高水準を維持できていると考えている。 本市においては、HAMADA教育魅力化コンソーシアムを通じて、浜田市内の県立高等学校及び県立特別支援学校の「地域とともにある学校づくり」を推進し、卒業した生徒を還流させる仕組みとして、卒業生ネットワークの構築を目指す。								

石見まちづくりセンター（仮称）長沢サブセンター建設整備計画に係る検討状況について

1 令和 4 年 3 月定例会議以降の状況

(1) 建設候補地等の検討状況

令和 4 年度浜田市一般会計予算に対する附帯決議にある、「より最適な立地を再考すること。」を受け、キヌヤ長沢店の敷地内での建設が可能かどうか、株式会社キヌヤと協議を行った。

これに併せて、「浜田教育センター」及び「陶芸の里」など、これまでの建設候補地と、事業費や改修案について比較検討した結果、キヌヤ長沢店での新規整備が最適であると判断した。

(2) 地元陳情（令和 4 年 8 月 17 日）

長沢町まちづくり推進委員会会長及び長沢公民館館長の連名による陳情書「（仮称）長沢サブセンター建設に係る陳情について」が提出される。

【陳情概要】

「地元として地域住民の利便性及び災害避難場所としての安全性等を十分に考慮した立地場所として、キヌヤ長沢店敷地内への新規建設を求める」

2 キヌヤ長沢店での新規整備方針

株式会社キヌヤとの協議を進める中で、キヌヤとして社会・地域貢献の観点から浜田市に協力したい強い思いを持たれていることや、地元陳情等にもあった住民の利便性、災害避難場所としての安全性や交通アクセスの良さなどといった立地条件等を総合的に鑑み、キヌヤ長沢店の敷地内での新規整備の方向で、今後具体的に検討を進めていく。

整備方針については、現店舗の一部を解体した後にサブセンターを建設する方向で調整中。

また、事業費については、店舗の一部解体及びテナント移転に係る補償費の発生や用地取得費の増額等により、中期財政計画上の事業費（394,000 千円）を上回ることが想定されるため、事業の詳細が整理でき次第、改めて議会等への報告を行う。

3 施設整備の概要

(1) 整備予定地

キヌヤ長沢店敷地内（長沢町 3068 番地 外）

※店舗を一部解体後、敷地面積 1,400 m²程度を株式会社キヌヤから購入予定

(2) 建物

軽量鉄骨造平屋建（太陽光発電設備有）

床面積 400 m²程度（集会室、会議室、和室、事務室、トイレ等）

(3) その他

運用開始は令和 7 年度中を予定

【参考１：想定する施設概要について】

部屋名	(仮称) 長沢 サブセンター	石見まちづくり センター	備 考
集会室	133.00 m ²	150.30 m ²	
会議室	49.00 m ²	57.62 m ²	
和 室	30.00 m ²	兼会議室	
調理室	—	57.62 m ²	
図書室	—	37.89 m ²	長沢は図書スペースを想定
その他	188.00 m ²	273.57 m ²	事務室、玄関、トイレ、ホール等
合 計	400.00 m ²	577.00 m ²	

【参考２：整備予定地について】



令和 4 年浜田市成人式（延期分）の開催について

延期した令和 4 年浜田市成人式（令和 4 年 1 月 9 日（日））について、次のとおり開催します。

1 開催日時

令和 4 年 10 月 9 日（日）13 時 30 分～14 時 00 分（受付開始 12 時 30 分）

※再延期の場合は、令和 5 年 1 月 8 日（日）13 時 30 分～14 時 00 分

2 会 場

石央文化ホール 大ホール（浜田市黒川町 4175 番地）

3 対 象 者

平成 13 年 4 月 2 日～平成 14 年 4 月 1 日生まれで、次のいずれかに該当する方

（1）浜田市在住者（浜田市出身でなくても可）

（2）浜田市出身の市外在住者

※新成人対象者 484 人（平成 29 年 3 月浜田市内中学校卒業生）

【過去 3 年間の参加者数及び出席率について】

令和 3 年：258 人／467 人（55.2%）※開催 1 年延期

令和 2 年：378 人／468 人（80.8%）

平成 31 年：365 人／478 人（76.4%）

4 主 な 内 容（予 定）30 分間

（1）浜田市民歌演奏

（2）主催者挨拶及び来賓祝辞

（3）成人代表挨拶

（4）ビデオレター上映

5 出席者（主催）

久保田市長、砂川副市長、岡田教育長

6 来 賓

島根県議会議員

浜田市議会議員

（新型コロナウイルス感染拡大の場合は浜田市議会議長のみ）

7 参加案内（案内状送付）

- （1）浜田市在住者
- （2）浜田市出身の市外在住者

※対象者が市外へ転出している場合は、市内に住所を有する対象者の世帯主に案内状を送付

8 参加申込（申込期限：9月22日（木））

参加希望者は「しまね電子申請サービス」により参加申込を行う。

※電話、メール等での申込も可能。

9 入場券等の送付（9月中旬より順次送付予定）

参加申込者に対して次の書類等を送付。

- （1）入場券兼健康チェックシート（受付時に回収）
- （2）成人式参加に係る注意喚起資料（新型コロナウイルス感染症関連）

10 延期前の令和4年浜田市成人式出席予定者への支援対策

新型コロナウイルス感染症関連の浜田市支援策（第11弾）により、延期前の令和4年浜田市成人式の出席予定者に対し、開催延期に伴って生じた次の費用を助成。

- （1）貸衣裳等のキャンセル料（上限10万円）
- （2）今回の成人式への参加に伴い、市外から帰省するために必要な
交通費（片道につき上限2万円）【令和4年10月9日参加者のみ】

11 令和4年浜田市成人式に参加できない対象者への対応について

今回の成人式にやむを得ず参加できない対象者については、令和5年1月3日（火）開催予定の「令和5年二十歳の集い」に参加可能とする。

※令和5年1月3日（火）に開催予定の「令和5年二十歳の集い」に参加される場合には、交通費の補助制度はありません。

(仮称) 浜田市人権尊重のまちづくり条例の制定について

令和 4 年 2 月に浜田市の人権施策に関する最上位の計画として人権教育・啓発の指針として「浜田市人権教育・啓発推進基本計画（第 4 次）」を策定しました。

今年度、人権が尊重されるまちづくりの実現に向けた条例の制定に当たり、準備に取り組んでおります。

条例制定の概要は、以下のとおりです。

1 制定の考え方

この条例は、平成 20 年 6 月 25 日に制定した「浜田市人権尊重都市宣言」及び令和 4 年 2 月に改定した「浜田市人権教育・啓発推進基本計画（第 4 次）」の趣旨を踏まえ、市全体が協力し、人権尊重の理念の普及を推進するために制定します。

人権を尊重する上で、最も根本となる考えは生命尊重です。しかし、現代の社会においては、様々な面で人のいのちを軽く考える出来事が起こっています。生きることと人権がどうつながっているかを知り、理解を深める必要があります。

また、依然として様々な人権問題が存在している上に、社会経済情勢や時代の変化の中で新たな人権問題が生じています。条例を制定することにより、人権を取り巻く環境の変化や多様化・複雑化する人権課題に対応し、本市全体における人権尊重の理念の普及と人権尊重のまちづくりを一層推進し、市民一人一人の意識の向上を図ります。

2 (仮称) 浜田市人権尊重のまちづくり条例検討委員会

(仮称) 浜田市人権尊重のまちづくり条例の制定に関し、広く市民の意見を伺うため、15 人の委員で構成する「(仮称) 浜田市人権尊重のまちづくり条例検討委員会」を設置します。委員の選定は、国の人権教育・啓発に関する基本計画に定めている各種人権課題に関する各種団体等に推薦を依頼予定です。

※次ページに委員会（案）記載

3 制定スケジュール（案）

令和 4 年 9 月	第 1 回 条例検討委員会
10 月	第 2 回 条例検討委員会
11 月	第 3 回 条例検討委員会
12 月	パブリックコメント
令和 5 年 1 月	第 4 回 条例検討委員会
	3 月定例会議へ上程

(仮称) 浜田市人権尊重のまちづくり条例検討委員会 (案)

No.	団体名	主な分野等
1	浜田管内学校・福祉連携推進教員 (島根県立石見養護学校)	(識見者) 人権・同和教育
2	浜田児童相談所	(識見者) 子ども
3	全日本同和会島根県連合会浜田支部	同和問題
4	部落解放同盟島根県連合会石央支部	同和問題
5	浜田人権擁護委員協議会	人権・同和教育
6	浜田女性ネットワーク	女性
7	浜田市民生児童委員協議会	高齢者、子ども
8	浜田市身体障害者福祉協会	障がいのある人
9	浜田国際交流協会	外国人
10	浜田地区保護司会	刑を終えて 出所した人
11	浜田商工会議所	企業・商工団体
12	浜田市まちづくりセンター合同連絡会	社会教育
13	浜田市教育研究会 人権・同和教育部会	学校教育
14	浜田市地域政策部	担当部長
15	浜田市教育委員会教育部	担当部長

浜田高校硬式野球部甲子園出場への応援に向けたふるさと納税型 クラウドファンディングの実施結果について（速報値）

浜田高校硬式野球部が、第 104 回全国高等学校野球選手権大会へ出場することを応援する、ふるさと納税型クラウドファンディングを実施しましたので、寄附の受入状況について報告します。

- 1 目標寄附金額 10,000,000 円
- 2 募集期間 令和 4 年 8 月 5 日（金）～令和 4 年 8 月 31 日（水）27 日間
- 3 寄附受入状況 寄附金額： 2,536,000 円 寄附件数：162 件
(※返礼品代金を差し引いた 2,026,000 円を支援金として贈呈)

寄附の内訳

市内からのご寄附	232,000 円	20 件
市外からのご寄附	2,304,000 円	142 件

4 実施概要

- (1) 掲載サイト ふるさとチョイス（株式会社トラストバンク）
島根県浜田市ふるさと納税特設サイト
- (2) 寄附のお礼 寄附額に応じた返礼品を選択してもらいます。
※通常のふるさと寄附と同様に、市外からの寄附の場合には返礼品を送付し、市内寄附者への返礼品は無しとします。
なお、市外の寄附者が、返礼品辞退を選択された場合は送付しません。
- (3) 寄附の使途 甲子園出場に伴う旅費及び選手強化費用、選手応援に係る費用などに活用します。

浜田郷土資料館見学会の開催状況について

浜田郷土資料館の常設展示や企画展示をご覧いただくと共に、建物や収蔵庫などを見ていただき、現在の状況を理解していただくため、市職員の解説による見学会を開催しました。

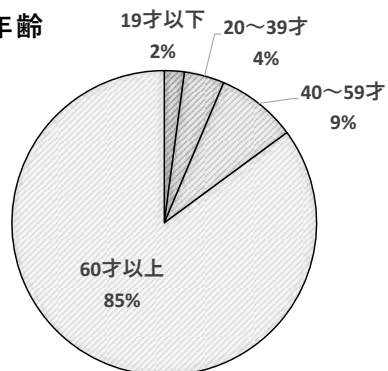
開催にあたっては、各まちづくりセンターのご協力を得て参加者を募集していただき、見学の終わりにアンケートを実施しました。

1 参加状況

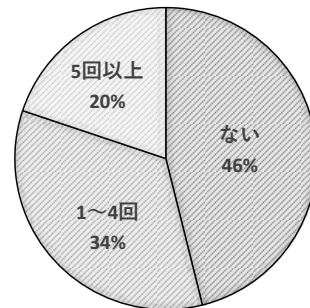
No.	日時	まちづくりセンター名等	参加者数
1	2022 年 7 月 1 日(金) AM	美川	8 人
2	2022 年 7 月 11 日(月) AM	岡見	3 人
3	2022 年 7 月 13 日(水) AM	長浜	7 人
4	2022 年 7 月 22 日(金) AM	浜田	15 人
	2022 年 7 月 23 日(土) PM	今市(コ叶拡大で参加者が取り止め)	
5	2022 年 7 月 26 日(火) AM	三隅・三保・白砂・黒沢・井野	11 人
6	2022 年 7 月 27 日(水) AM	周布	12 人
7	2022 年 7 月 28 日(木) AM	国府	8 人
8	2022 年 7 月 29 日(金) AM	大麻	10 人
9	2022 年 8 月 1 日(月) AM	安城・杵束	5 人
10	2022 年 8 月 5 日(金) AM	石見	5 人
11	2022 年 8 月 8 日(月) AM	都川・木田	8 人
12	2022 年 8 月 19 日(金) AM	和田・市木	7 人
13	2022 年 8 月 19 日(金) PM	美又・久佐・今福	12 人
14	2022 年 8 月 20 日(土) AM	①フリー見学会	5 人
15	2022 年 8 月 20 日(土) PM	②フリー見学会	1 人
16	2022 年 8 月 25 日(木) AM	雲城	8 人
17	2022 年 8 月 26 日(金) AM	波佐・小国	11 人
18	2022 年 8 月 28 日(日) AM	③フリー見学会	2 人
19	2022 年 8 月 28 日(日) PM	④フリー見学会	3 人
		合計	141 人
		1 回平均	7.4 人

2 アンケートの状況

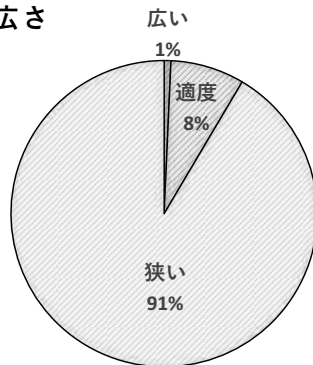
参加者の年齢



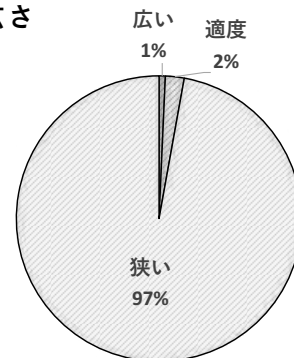
過去の来館回数



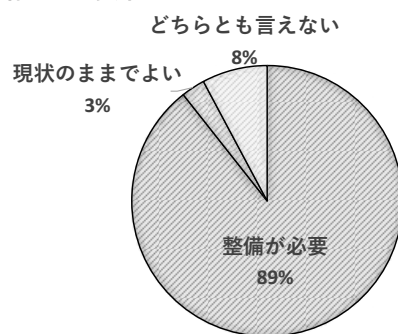
展示室の広さ



収蔵庫の広さ



整備の必要性



年齢	19才以下	3人
	20～39才	6人
	40～59才	12人
	60才以上	120人
	合計	141人
過去の来館回数	ない	65人
	1～4回	48人
	5回以上	28人
	合計	141人
展示室の広さ	広い	1人
	適度	11人
	狭い	129人
	合計	141人
収蔵庫の広さ	広い	1人
	適度	3人
	狭い	137人
	合計	141人
整備の必要性	整備が必要	126人
	現状のままでよい	4人
	どちらとも言えない	11人
	合計	141人

浜田郷土資料館見学会 アンケート

令和 年 月 日

今後の参考とするため、以下の設問についてご記入をお願いします。
記入にあたっては、該当する数字に○をしてください。

問1 年齢についてご記入ください。

1 : 19 歳以下 2 : 20 歳～39 歳 3 : 40 歳～59 歳 4 : 60 歳以上

問2 これまで資料館に来館されたことがありますか。

1 : ない（今回初めて） 2 : 1 回～4 回目 3 : 5 回以上

問3 展示室の広さについてどう思われますか。

1 : 広い 2 : 適度 3 : 狭い

問4 収蔵庫の広さについてどう思われますか。

1 : 広い 2 : 適度 3 : 狭い

問5 施設の状況を見学して、資料館の整備が必要だと思いますか。

1 : 整備は必要と思う 2 : 現状のままでよい 3 : どちらとも言えない

上記の1～3について、選択された理由等のご意見があれば、ご記入ください。

問6 その他、見学をして、資料館のあり方や活用方法等、感想やご意見があればご記入ください。

浜田郷土資料館見学会 アンケート集計（問5 整備の必要性に関する意見）

問5-1 整備は必要と思う

番号	選択した理由等の意見	募集地域
1	浜田市の資料で、知らないことが多く、学校（小学校）でも余り詳しく勉強しなかったように思います。殿町に住んでいましたので、城山を遊び場として育ちました。資料館を見学させてもらってなつかしく感じました。	美川
2	現況として厳しい状況では有るが、浜田市の財政及び優先順位を考えれば難しいと思う。	美川
3	資料等の管理が雨もりや地震等を考えると整備が必要と思う。	美川
4	整備は絶対必要。文化に対して力をいれるべきだ。	岡見
5	このままでは大事な資料が失われる。早急に整備してもらいたい。	岡見
6	歴史文化を大事に思う。保存を早急に整備するため、建物を建替える必要がある。	岡見
7	資料館と云えばマニアックな感じがしますが、大切な資料はもっと大切に保存、保護されるべきです（もう二度と作れないもの）。側道からでも見えるように市のシンボリックなものとして位置づけ、日頃から関心を持って取り組むことも大切。	長浜
8	貴重な資料を少しでも多く、展示し、郷土愛を市民の皆さんに育んでほしい。	長浜
9	浜田の歴史が目に見える形で、市民が見れるということは、大切なことだと思います。	長浜
10	他市の資料館と比較してもスペースが狭い。見やすい字の大きさと理解してもらうためにも展示スペースは必要と感じる。	長浜
11	建物自体が60年以上も経過しており、また、歴史資料館専用のものではないので、新しく建て直すか、どこか適当な施設があれば移転した方が良いでしょう。	長浜
12	せっかく重要な資料等がたくさんありますので、有意義に展示する為、施設を作ってください。	長浜
13	とても古く感じました。出来たら新しく成ると良いと思いました。	浜田
14	だいぶ古くなっている様子でした。	浜田
15	展示して見られる様にしてほしい。	浜田
16	これだけの資料を保管、展示するための施設は必要だと思います。城跡などの場所を活用してみるなど、ぜひ、検討されたらよいと思います。	浜田
17	資料館を見学して資料が沢山有るのに展示場が狭いと感じた。	浜田
18	管理のご苦労が大変な事が良く分かりました。	浜田
19	整備必要で、もう少し広い所がほしい。	浜田

番号	選択した理由等の意見	募集地域
20	収蔵品の整理（必要・不要の区別）が必要と思う。	浜田
21	郷土の大切な品物をながく保管するためには、もっと広いスペースが必要と思う。使われなくなった建物などを使うという事もありだと思う。	浜田
22	もう少しゆとりがあればいいかなと思います。	浜田
23	保管が大変だと思います。選別して少なくとも良いと思います。	浜田
24	現状では大切な資料が活用されていない様に感じる。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
25	もう少し大きいのがいい。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
26	現状の施設は倉庫としての機能しかないように思います。学習施設として機能を中心とした本来の文化施設としての整備が必要だと思います。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
27	整備は必要だが、新たな建物は必要ないと思う。現在使っていない建物（小学校）などを再利用した方が良い。全てを新しくする必要は感じられない。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
28	乱雑であり、展示のみりよくに欠けるから（整備が必要）。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
29	今のままで良いとは思いますが、投資コスト、ランニングコスト、そしてコロナ等と社会情勢の変化の中、極力コストを押さえ市民の学びの場として考える必要があると思います。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
30	展示物が多いのに対し、狭すぎると思います。	周布
31	新しい資料館は、維持、管理は最小になるように。省エネの良い資料館を。少しコストがかかってもいい。	周布
32	早急に新しい資料館を新設した方がよいと思う。市議も資料館を見学したらいいのではないか。	周布
33	資料が多すぎて整理する事が大変だと思う。御苦労が多いと思う。	周布
34	膨大な資料があるのに、展示品はその一部しかない。	周布
35	色々な資料や説明を見たり聞いたりして素晴らしいと思った。	周布
36	思ったよりも資料が多くて、ぜひ施設を広くしてほしいです。	周布
37	資料館としては、非常に狭く、広いスペースが望ましい。	周布
38	新しい資料館が、ぜひとも必要と思った。	周布
39	現状では、貴重な資料を展示するには、あまりにも狭く、もっと市民に、この事を知ってもらい、郷土資料館として役目を果たす建物を希望します。	周布
40	管理、設備の充実が早急に必要と感じました。	周布
41	あまりにもひどい状態だと実感した。宝が宝としての扱いを受けていない。石見・浜田の人や郷土（資料）へのぼうとくだとさえ思う。	周布
42	改めて資料館を見学して、浜田の歴史の深さを知り、その後に繋がる流れを知りたくなりました。	国府

番号	選択した理由等の意見	募集地域
43	合併を繰り返して現在の浜田市がありますので、各地（三隅とか）に資料館があるが、これらとのかねあいは、どうなるのか。市としてまとめることが、是かどうかも考えてもらいたい（まとめると狭くなるのかも）。	国府
44	城山下に新しい施設を造った方が良い。ここでは人が来ない。郷土資料館の事務は頑張っておられます。もっと人をふやしてやれば良いけど、ここはせま過ぎる。	国府
45	雑多なところでの管理をされていないようで、大変であろうと思った。	国府
46	資料が埋もれていて利用されていない。資料がないています。	国府
47	展示品を見学している時、説明して下さり大変うれしく思い、すばらしい展示品を見せてもらいました。	国府
48	もう少し広いスペースで展示をすれば、もっと見やすいと思います。国分の昔の様子が、もっと分かるようになると思います。	国府
49	係の方にていねいに説明をうけて、わかり易く良かったように思います。	大麻
50	建物も古く、せまい、市として、もっと大きなものがほしいと思った。	大麻
51	エアコンが必要。	大麻
52	浜田の宝を見せて頂きました。良い時間でした。今まで知らなかった事が知る事が出来た。これからは浜田の宝を大切に展示してほしい。	大麻
53	空調せつびの見直し。バリアフリーの取り入れ。	大麻
54	少しせまく感じました。夏場でしたので、熱くゆっくりできませんでした。せつめいはとてもよかったです。	大麻
55	郷土の大事な資料があるので、ゆっくり見学が出来る様になれば良いと思います。保存が大変そうで、1ヶ所にまとめることが出来ると良いと思います。	大麻
56	狭いので展示品が出せないと思った。	大麻
57	重要なものがあると思うので、時間をかけず出来るだけ早い内に整備するのが良い。	安城・杵束
58	初めて見学させていただき、展示、整理されるのが非常に大変だと思いました。	安城・杵束
59	財源の見通しがつくなら、成るべく早期建替えが必要と強く思った。	安城・杵束
60	貴重な資料が収蔵されている期間のほうが、展示期間よりも長いと思うので、有効活用が図られていない。	安城・杵束
61	歴史資料がまだ増えそうに思うし、見学するにも、ゆっくりと出来たら良いと思う。	石見
62	今回初めて見学させてもらって、説明を聞き、なんとかしたらよいという感想をもちました。今日のような企画をもっと市民に周知して理解を深めていったら、良いのではないのでしょうか。	石見

番号	選択した理由等の意見	募集地域
63	歴史ある浜田の文化、歴史の資料は、とても大切です。しかし、現在の施設では貧弱で情けないです。。他の施設も見学することがありますが、とても立派です。管理する人も大変、参加者も複雑すぎます。しっかりした施設が必ずほしいです。	石見
64	浜田の歴史をのこす爲に。	都川・木田
65	初めて来館しましたが、なかなかいじするのが大変です。	都川・木田
66	暑くて狭い。	都川・木田
67	大事な多くの資料が、人の目にとどいていない。	都川・木田
68	見学するのに狭すぎる。収蔵庫が狭く、保存が大変。	都川・木田
69	展示室に空調設備を設置し、快適な環境で見学したい。狭い。大人数の団体客は見学が不便だと思う。	都川・木田
70	照明の改善が必要と思う。	和田・市木
71	早く整備しないと資料がいたむ。	和田・市木
72	1980～1990年代、バブル期に郷土資料館が全国各地に造られ、資料が収集された。今の時代、それをいかに保持散いつしないようにするかが、重要である。今の時期をのがすと二度と保存できないと思います。	和田・市木
73	他の文化施設との共同運営で新築する。各地の施設を統合する。	和田・市木
74	可能ならば、参考までに現段階のプラン（特に金額面）で例示していただくと、それにあわせて意見も出しやすい。	和田・市木
75	もっと広くした方が良い。	美又・久佐・今福
76	老朽化しているので、建替えは必要と考えますが、デジタル化できるものは、デジタル保存することも検討し、最低限、必要な施設整備を行っていただきたい。	美又・久佐・今福
77	興味深い展示品を拝見し、楽しい時を過ごすことができました。貴重な品を展示、収納する施設としては、明らかに古く狭いと思われますが、なんといってもお金でしょう。	美又・久佐・今福
78	資料館整備については、是非進めていただきたい。その地域でしか集められない。歴史的実在を証明する。	美又・久佐・今福
79	1万点以上ある資料を今まで収集、保存、展示をされていて、案内していただきながら、ゆっくり見ました。今後も保存、展示していくには、ぜひ整備してください。	20日午前 フリー
80	歴史を大事にしようとしている姿勢に感銘しました。展示場、保管場所とも狭すぎる。	20日午前 フリー
81	歴史に興味があり参加しました。資料館がなんとか新しい形で出来上ることを願っています。	20日午前 フリー
82	収蔵資料がバックヤードにあれだけ多数ある事に驚き、それらの資料が常時展示できない状況なので、広い展示場が必要ではないかと。	20日午前 フリー

番号	選択した理由等の意見	募集地域
83	展示スペースがなく、見せたい物と思われるものも展示出来ないと思う。	20日午前 フリー
84	企画展の広さをもう少し広くしてもらいたい。	20日午後 フリー
85	浜田市の文化財が展示以外に、すごくあるのにびっくりしました。早急に展示が必要です。	雲城
86	資料が展示できていない（一部しか）。	雲城
87	収蔵庫に多くの展示品等が有りますし、今、これと思って出して展示したいと思っても大変な労力が必要で有り、早く整備された方が良いと思います。	雲城
88	もう少し広ければ、もっと沢山の資料がおけると思う。収蔵庫をもっと広げれば、職員の方も仕事がしやすいと思います。	雲城
89	老朽化している現状を見て、文化財を大切にすることが、必要だと思う。行政として、やるべきことは、多いのも十分解りますが、教育・文化面に力を入れることは、二の次、三の次にするのは、避けて欲しい。 経済（財政）面での問題が云われています。経費がどのくらいかかるか、よくわかりませんが、ふるさと納税とかの活用をすることも、いいかと思います。文化財を大切にしたい浜田市であって欲しいです。	雲城
90	手狭の一言。折角の資料展示を生かし切れない。ゆったりとした気持ちで鑑賞等をしたかった。資料の整理の難しさ、新しい持込の資料への対応。	雲城
91	企画展をされたりしているのに、狭すぎて展示内容のすばらしさが半減していて、もったいない。浜田の歴史を次世代に伝えるためにも、もっと広い場所で数多くの資料を展示してもらいたい。	雲城
92	常設展示の充実（浜田市の歴史に添ったもの）。企画展（個人的寄贈を含む）専門学芸員の成果とする。他館、豪州博物館、シリア博物館、海外（対岸）等施設と比較。 空調設備が必要。	雲城
93	コロナの中での説明など、広く場所をとった方が良い。	小国・波佐
94	歴史に関心があるから。	小国・波佐
95	せっかく資料が在ります。今の状態で管理できますか。	小国・波佐
96	資料館にてきしていない。	小国・波佐
97	資料保存の爲、ぜひ修理をされた方が良い。	小国・波佐
98	展示、収蔵スペースが小さい。ここまでとは知らなかった。資料館を新たに建物をということではなく、市にあるスペース活用もできるのではないのでしょうか。	小国・波佐
99	せっかくの資料が保存（箱入）では残念である。展示スペースがあれば良いと、今回せつに感じました。	小国・波佐

番号	選択した理由等の意見	募集地域
100	展示室の床や天井に、古くなったところがあり、雨もりがあると、貴重な資料の保存に問題がないといいなと思いました。	小国・波佐
101	老朽化が激しい。機能、あり方を再検討し、市民に愛される施設にして欲しい。	28日午前 フリー
102	収蔵施設の整備は、必要と感じる。展示については、企画展を中心に解説者をつけていただくとおもしろい。常設はストーリー性をもたせてほしい。	28日午前 フリー

問5-2 現状のままで良い

番号	選択した理由等の意見	募集地域
1	資料館を建替えるのは、反対である。未だ大きなお金を使用するのはやめてほしいと考えています。他方面に使用する事がたくさんあると思っています。	美又・久佐・今福
2	展示物の質からして、今のままで良いのでは。	美又・久佐・今福

問5-3 どちらとも言えない

番号	選択した理由等の意見	募集地域
1	郷土資料館の建物が古いのはわかった。重要な資料があるのもわかった。	美川
2	施設については確かに収蔵スペースに関しては手狭な感じがするが、展示スペースについては、企画展の内容などによって受けるイメージが変わると思います。	長浜
3	はじめて来館しました。何度も来館に来られるところではないので、魅力ある展示の仕方、各地域で空いている施設利用を使用してほしい。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
4	新しい施設を作るのは、大変費用もかかるので、市民の賛同を得るのは大変むずかしいと思いますので、現資料館の横に土地をもとめて建てられるようにされたらどうでしょうか。	和田・市木
5	必要とは思いますが、経費面で問題があるのではないかと。	美又・久佐・今福
6	旧那賀郡の遊休施設を活用して整備すれば、中山間地の活性化にもつながると思います。	美又・久佐・今福
7	もう少し、ゆったりであればいい。	小国・波佐

浜田郷土資料館見学会 アンケート集計（問6 その他感想や意見）

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
1	何か古いものはないかと担当の方が探していらっしゃると感じていました。	美川
2	建築ありきの問題提起が市民の賛同を得られないのだと思う。例えば、原井幼稚園を使えば、造成費が浮くし、市内なら歩いて行けるので、見学者が増えるのではないかな。我家はもっと古い家屋です。コロナで浜田市の財政も大変です。専門家の希望ではなく、玄武岩などはしょっちゅう見学会をしている。資料館ももっとアピール（浜田歴史展等）すべきではないかな。	美川
3	資料の展示がせまくてわかりにくい。見学をしてみて今まで言われた事がわかりました。	美川
4	もっとこのような活動をしていただいてもらうと良いと思う。話だけではなく動かせる物は動かせるといいな（特に小学生）と思う。そのためにも、もっと広いスペースがあればと思う。	美川
5	現在所蔵されている物のみの資料館を建替える予定なのか。それとも、他に関係ありそうな物も併設される予定か。石見神楽に関する物は？	美川
6	はじめて見学をしました。浜田の成り立ちなど改めて気づきました。多分、知らない人が多いんだろうと思います。多くの人に知ってもらえることが、大切だと思いました。	美川
7	本日は資料館見学会第1回ということで、大変貴重な体験をさせていただき、勉強させていただきました。今後の資料館のあり方は一言では言えませんが、市民に負担のかからない様、検討して下さい。	美川
8	もっと市民にアピールしていただきたい。	岡見
9	早々に建物を建設頂きたい。資料館の存在意義を市民にPRして頂きたい。	岡見
10	特別展等、幅広く来館して貰いたい意図は理解できますが、身近で親近感のある企画が重要だと思います。新しい資料館を建替するにしても、市民に理解が広がらなければ盛り上がりません。	長浜
11	資料館の建替えが必要と感じます。	長浜
12	浜田市に外から来て、見学するときに場所がいろいろな所に点在していて、とても不便に感じます。公共交通の整備がもう少し考えて欲しいと思います。	長浜
13	経費のことも大事ではあるが、歴史を伝えることの価値を市民に理解してもらえようPRした方が良い。古代、中世、近世を通じて浜田の良さがあるので。	長浜
14	私自身、初めての見学でしたが、来てみてわかったことは、ものすごくきちょうな資料があるなと思いました。もう少し、PRを工夫されると来館者が増えるのではないのでしょうか。	長浜
15	初めて見学に来ましたが、くわしい説明をわかり易く聞かせて頂き、大変勉強になりました。これからはまだの爲、ぜひ、新しい施設を作ってほしいです。	長浜

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
16	ある程度整備は必要と思ったが、浜田城資料館や各まちづくりセンターに分散展示する方法も考えられると思う。少子高齢化が進む中でどれだけニーズがあるか考えてみる必要もあるのでは。収蔵品の整理（貴重なものの度合）など大変だと思いました。	長浜
17	せっかくの資料の展示が、出来ていない。もったいない。	浜田
18	昔を知る事が出来た。忘れていました。	浜田
19	説明がわかりやすかったです。有難うございました。	浜田
20	熱心に説明して頂き良くわかりました。有難うございました。	浜田
21	早く新しい資料館が出来ます様（何年も資料館のえん期で大変ですね）。	浜田
22	市民1人1人に現状がわかるよう何かで公表してもらい、寄付をするとかして作るようにする。	浜田
23	歴史資料の相談窓口が常設されると良い。1度収蔵品の全ての展示が出来ないものか。	浜田
24	今日のようなイベントをどんどんやっていく。少し遠くてもバスを使えば、皆さん見学に来られると思う。	浜田
25	新しく建物を造るより、市の所有する既存の建物の有効利用が望ましい。現在の建物の整備は投資が無駄になる。常設展や企画展で市民へ保管資料の重要性をアピールし、資料館の必要性に対する理解を深める事が最優先。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
26	建物自体も古さがあり、私は好きです。きれいな建物よりも補強して、このままの姿でみて頂くのも味があって良いなと思いました。空調設備、収蔵庫等は、早めに何とかした方が良いでしょう。お話をききながら、市内の小中学生が、授業等で来られるように、展示もみやすく黒TV、黒でんわ等も研修室に置くのではなく、展示してあれば、市内の学校をはじめ、多くの見学者も来て頂けるのではないかと思います、そう考えると今のこの広さは、やはり狭いのかなと思いました。今後もっと浜田の人が来館しやすい場所になると良いなと思いました。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
27	大きな所にせっちした方がよい。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
28	浜田地域の資料館ではなく、合併後の新浜田市としての資料館が必要と思います。郷土愛を育てるためにも、市全体の歴史発展が理解出来る学習施設が出来ることを希望します。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
29	郷土資料館の建て直しでは、市長のいう観こう客は見込めないもので、浜田城を再建した方がまだ良いと思う。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
30	同規模の資料がたくさんあり、整理した方が良いでしょう。特に民具は集まりやすいので、浜田地域以外の方が見学に来て期待がもてる物にしてもらいたい。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
31	平成21年、平成27年の整備案の方が良かった。浜田城周辺整備案の際、なぜ出来なかったのか、とても疑問に感じている。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
32	浜田城資料館も市民に浸透していない中、新しく建物を整備しても意味が無いように感じます。市民の皆さんに興味、関心を持ってもらえるような工夫が必要だと思います。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
33	郷土資料館は狭くて古い建物ですが、もっと市民の意見を聞き、過疎化していく地域の方へ目のかたむけ、健康長寿が短いといわれる浜田市を元気にしていける方へ活動してほしい。資料館は空き施設が多くなってきているので、そこを再利用して展示をして行けば良いと思う。	三隅・三保・白砂・井野・黒沢
34	たくさん資料がねむったままでは、もったいないです。多くの方に、見ていただきたいです。	周布
35	営業は市民・学生・市と連携してイベントを実施して、皆さんに知ってもらうようにする。	周布
36	保管されている資料が見える状態で保管されたら、入館料は今まで通り無料にしてもらいたい。	周布
37	施設が狭すぎる。	周布
38	前回来館した際は、ただ、ひたすら見学しただけの爲、興味がわからなかったが、今回は学芸員さんの説明があり、時間が短く足らなかった。	周布
39	格納されている物が多く、もったいないと思う。	周布
40	市民の人達が気楽に来れる様な館を作してほしい。特に子供達が来て浜田の事を知ってほしい。	周布
41	ゆっくり見学したくても狭く、エアコンもなく、改善して欲しい。	周布
42	もう少し広い展示場と、見学体制などの充実が必要と思います。石見地域の歴史も広く知れるようにして頂きたい。	周布
43	早急に新しい郷土資料館を設立されたい。このままでは、浜田の恥をさらすことになる。旧那賀地区との綱ひきなど解決課題があるのかも知れないが、大同に就く心構えで、当たってもらいたい。	周布
44	家庭で使わないで物置の隅にある物に、もしかして、関心と呼ぶ物になるかと思った事に気付きました。	国府
45	現資料館の駐車場に新たに（分館を）建て、その後、今の資料館を解体してから本館を建てる。3～4階建ての建物でも現地を望む。	国府
46	私は資料館をこども美術館に併設は賛成できない。城山下はまだ空いている。長州軍（現在で言えばテロ）に敗れた浜田藩の人達は、悲しいと思う。文化が乏しい町は魅力が無い。それが分からない市議会議員が多過ぎる。今日は詳しい説明をありがとうございました。多くの貴重な資料があるので、もっと多くの市民に見てもらいたいけど、ここでは無理です。	国府
47	勉強不足のものの意見ですが、浜田城資料館が出来た時になど、一緒にしないのかなと思いました。学習施設としてのあり方も大事だが、市外・県外の方が来ても興味が出るようなものにしていけたらと思う。アニメの映画などで取り上げられた聖地巡礼みたいなものも企画すると、より若い世代の方の関心もあがるのでは？と思います。	国府

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
48	移転は必要。市長の決断で早期に実現してほしい。	国府
49	温度差のある展示品大変と思うので建て替えを希望します。	国府
50	収蔵庫に置かれているお宝の多さにびっくりしました。説明の中で見てみたいなど、ぜひ展示をしていただきたらと思いました。	国府
51	大へんわかりやすいせつめい、ありがとうございました。	大麻
52	なんと言っても、せまいのが第一に思われた。もう少し広く、明るい建物にしたら良いなあ・・・。	大麻
53	これから先、展示される内容を知った時は、又見学等に公民館の事業としてもらって、1人でも多くの人に知ってほしいと心から思いました。大変良い時間をありがとうございました。	大麻
54	浜田の郷土資料を生かして若い世代、又子供たちに伝えて行く事は非常に重要であり、その爲にもどうしたら資料館に足を運ぶようになるかを、前向きに取り組む必要があると思う。その1つが資料館の整備、又来館時に資料等の説明がわかりやすく出来る等が必要だと思います。将来の浜田市の活性化の爲にも、子供たち等に浜田市の歴史を知ってもらう事が必要だと思います。	大麻
55	倉庫にしまっている展示物が、まだまだ、たくさんあったので、すごいなーと思いました。せっかくなので、それらも、表にだして展示できるスペースがあると、いいなーと思いました。本日はありがとうございました。	大麻
56	すばらしい展示物があるのを知り、ゆっくり展示したのを見たいです。	大麻
57	旧那賀郡の資料館の資料も一つにまとめて展示したらどうか。旧那賀郡の資料館は倉庫につめこんだようだった。1回見学にいったことがある。	大麻
58	今回、浜田の歴史について説明を受け認識不足を痛感しました。建物の老朽化は無論、スペースも狭く、魅力ある資料館ではない様に思いました。市民の皆が浜田の歴史を再認識できる魅力ある資料館になる事を希望します。	安城・杵束
59	展示等について旧浜田市中心はやむを得ないが、全市的な配慮が特に必要ではないか。	安城・杵束
60	整備費用の優先順位付けが必要。現資料館は全て収蔵庫とし、展示は既存の他施設を利用するなど。	安城・杵束
61	縄文時代からの浜田の歴史を初めて詳しく聞いて、関心しました。ありがとうございました。	石見
62	浜田の歴史を知る上で、資料館はあったほうが良いという感想を持ちました。	石見
63	新しくするのは反対でしたが、これでは狭いので、よくわかりました。	都川・木田
64	狭くて見学はらくですが、余りにも物が多くて、もう少し広い方が良いのでは・・・。	都川・木田
65	市の資料館としては、いかにもさびしい気がします。	都川・木田

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
66	大至急、新しい資料館を作る必要がある。	都川・木田
67	楽に見学できるスペースにしてほしい。	都川・木田
68	浜田城関係の資料や、郷土の歴史の資料など、あちら、こちらの建物に展示せず、一つの建物に展示すれば、より利用価値が高くなると思う。	都川・木田
69	御便殿の近接が適地と考えられる。こども美術館近接では遠い（相手へ効果が期待できる）。	和田・市木
70	施設が狭いので保存が大変である。郷土の子供達に歴史を知る機会が大切である。早急の資料館検討をお願いします。城跡の整備は？	和田・市木
71	資料館見学会等は、土・日・祭日にした方が、現役世代の方も参加しやすいのではないかな。	和田・市木
72	皆様が来られて、見学が出る様にする。イベントが必要となる。車の駐車場が必要になる。	和田・市木
73	資料館の整備はなるべく早く行った方がよいと思うが、一から建てるのではなく、空き施設や廃校などを改築して利用することもよいのではないかなと思う。まちセン等へ出張展示会等をするのもよいのではないかなと思う。山間部は高齢者も多く、なかなかわざわざ市内まで行くことは難しい。身近な場所であれば、興味のある方も来て下さる方もおられるのでは。お話されていたように、イベントの開催もよいと思った。	和田・市木
74	浜田に生まれ、金城に行き、とても見学してよかったです。	美又・久佐・今福
75	見学中、室内が暑いとの声がありました。空調も整った施設が必要だと思います。	美又・久佐・今福
76	資料館を建替えるのは、反対である。未だ大きなお金を使用するのはやめてほしいと考えています。他方面に使用する事がたくさんあると思っています。	美又・久佐・今福
77	新しい建物を作るのではなく、図書館を利用するとか、現在使用していない建物等の再利用も検討すべきではないかな。	美又・久佐・今福
78	浜田の事が良く理解できた。	美又・久佐・今福
79	重要な資料を保存することは、大切だと思います。	美又・久佐・今福
80	今日の説明、とてもわかり易く、楽しかったです。ありがとうございました。	美又・久佐・今福
81	本日見学して説明を聞き、学ぶこと大でした。館内を前にして一番気付いた点は、とにかく手狭であること。早期整備見直しの検討をお願いします。	美又・久佐・今福
82	建物を新築した場合、入館料を維持費として徴収した方がよいと思います。展示の基本は、今のままでも十分よいと思います。説明があると、とてもわかりやすいです。	20日午前 フリー
83	郷土資料館を是非作って、お手本を示して下さい。浜田に比べ益田市はあまりにも歴史を粗末に扱っていることを痛感。	20日午前 フリー

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
84	収蔵館も見せて頂き、かんげきです。年に3回ぐらい入替わっての展示も大変に楽しみにしています。温古知新です。	20日午前 フリー
85	資料館は市内に置くべき。100円バスがあっても、遠く便利が悪い。	20日午前 フリー
86	平成12年の構想から時間が経ちすぎています。早く立派な歴史資料館を作ってください。	20日午後 フリー
87	建物が老朽化しており、文化財を展示するのには無理があるように思う。数の多さにびっくりしました。夥しい全ての文化財を展示して、浜田のPRと、もっと浜田を知ると共に、今後活かしてほしいと思いました。	雲城
88	広い場所へ移転すべきと思う。	雲城
89	今回入館して説明を受けて、良く解りました。有りがとうございました。	雲城
90	来て見ればよくわかる。見学者を増やすことを考える必要がある。見学者の募集。センターとしてやられて来たが 関心を持つ人が少ないことをつくづく感じた。根本的な市民教育が大切。	雲城
91	見学を通して、資料館の整備が必要であると感じた。収蔵庫もあまりにも狭すぎていると思う。せめて、収蔵庫だけでも廃校（小学校統合の結果）を利用されたらどうかと思います。	雲城
92	基本的には改正博物館法（4.19、6/27）に即したもので、事業、職員体制の推進。検討委員会には専門教育を受けた者で構成。行政サイド（教育委員会）はその案を重視し、市の現状を踏まえて将来的方向性を示す。既存の文化団体や従事者はギャラリーとして見守る。若年層の参加を促す（小、中、高の課外授業で一般の研究者と交えての場作り）。	雲城
93	早急に施設を建てた方が良いと思う。	小国・波佐
94	新しい資料館が必要です。	小国・波佐
95	場所が悪い。プレハブの資料館なんて見たことがない。早急に建設すべきです。	小国・波佐
96	暑くて話が耳に入らない部分あり。	小国・波佐
97	浜田歴史を見学させて頂き勉強になりました。	小国・波佐
98	もっと早く今回のような企画があれば、よかったと思いました。	小国・波佐
99	建物を建てると難しい点が沢山出て来るので、5箇所（分散型）に分けて展示して頂ければ、見学に行く事が出来ると感じた。、	小国・波佐
100	石見のすばらしい宝物、皆様に見て頂けるよう建物を作ってほしいです。	小国・波佐
101	たくさん資料があるので、見る事ができる様、機会があると良いと思った。	小国・波佐
102	新しい建物が必要と言う事が、良くわかりました。	小国・波佐

番号	見学会を通しての感想、意見	募集地域
103	貴重な資料がたくさんあるので、多くの市民に見てもらって、浜田に誇りを持ってもらいたい。	28日午前 フリー
104	人口が減少する中、新しく資料館を建設するなら、他の歴史関係の資料展示施設を、減らすべきと思う。	28日午前 フリー

市職員の特別休暇取得状況について

令和4年9月9日
総務文教委員会
所管事務調査資料
総務部 人事課

1 特別休暇月別累計取得者数

(単位:人)

部	R1				R2				R3				R4		
	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月
総務部	22	97	151	84	20	62	132	89	31	91	146	97	46	143	182
地域政策部	2	22	45	20	3	32	48	49	5	30	56	29	4	49	66
健康福祉部	65	107	184	114	71	110	160	131	83	118	204	145	23	141	266
市民生活部	28	74	170	94	50	54	145	86	28	82	136	85	68	118	162
産業経済部	19	49	133	60	40	77	145	40	37	55	106	104	27	58	99
都市建設部	12	47	119	42	22	34	93	51	14	53	80	47	18	81	139
金城支所	8	33	82	54	8	20	45	35	49	71	77	38	9	44	51
旭支所	7	16	53	20	4	11	44	38	2	15	27	44	4	28	51
弥栄支所	8	9	40	20	2	15	32	31	8	14	29	32	2	27	37
三隅支所	4	27	85	22	5	22	63	39	2	31	49	48	18	42	95
教育部	12	29	141	36	34	56	139	39	2	39	122	42	25	49	108
消防本部	57	237	137	47	12	288	74	42	7	299	66	40	32	370	134
上下水道部	13	56	63	21	10	56	56	37	7	49	46	32	10	51	77
計	257	803	1,403	634	281	837	1,176	707	275	947	1,144	783	286	1,201	1,467

※市長公室、会計課、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局は総務部に含む

※特別休暇:災害休暇(不可抗力事故)、夏季休暇、セルフケア休暇、産前休暇、産後休暇等

2 災害休暇(不可抗力事故)月別累計取得者数

(単位:人)

部	R1				R2				R3				R4		
	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月
総務部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3	4	43	40
地域政策部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	20	20
健康福祉部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	31	87
市民生活部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	3	31	28
産業経済部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	13	10	18	5
都市建設部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	33	33
金城支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	9	7
旭支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	10
弥栄支所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	20	2
三隅支所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	7	11	42
教育部	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0	9	18	12
消防本部	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	6	77	64
上下水道部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	5	11
計	0	0	0	1	0	0	3	0	0	5	25	29	42	325	361

※市長公室、会計課、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局は総務部に含む

※災害休暇(不可抗力事故):新型コロナウイルス感染症関係(陽性、濃厚接触、ワクチン副反応等)や交通機関の事故等の不可抗力に伴う休暇

3 時間外勤務状況

(単位:時間)

部	R1				R2				R3				R4		
	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月	9月	6月	7月	8月
総務部	837	654	627	559	601	513	268	313	663	471	359	363	703	530	424
地域政策部	93	61	86	37	98	59	79	50	155	180	158	114	200	189	177
健康福祉部	627	480	417	473	391	370	464	363	604	524	344	250	543	492	395
市民生活部	255	178	161	175	189	232	103	264	205	242	53	173	131	98	94
産業経済部	542	510	433	520	395	339	192	278	461	404	158	180	350	348	172
都市建設部	190	201	177	203	292	253	149	213	234	315	235	335	372	350	263
金城支所	195	105	74	62	157	233	256	156	66	108	49	70	102	84	61
旭支所	37	64	54	50	77	93	32	108	43	111	31	49	33	60	31
弥栄支所	237	322	226	314	226	250	159	223	128	132	82	129	145	78	94
三隅支所	182	173	184	226	184	311	187	186	169	132	54	55	301	195	190
教育部	514	377	319	400	316	269	185	144	287	173	119	102	255	141	106
消防本部	887	1525	541	487	755	603	526	265	613	705	471	396	767	1007	622
上下水道部	126	156	244	267	238	161	318	153	264	183	117	227	224	218	163
計	4,722	4,806	3,543	3,773	3,919	3,686	2,918	2,716	3,892	3,680	2,230	2,443	4,126	3,790	2,792

※市長公室、会計課、議会事務局、選挙管理委員会事務局、監査委員事務局は総務部に含む

※時間数は特殊要因(災害、選挙関係等)を除いた通常分

市職員の新型コロナウイルス感染症感染による業務への影響について

1 職員の感染者数

人数 84人（9/5日現在）

※非正規職員を含む。

2 感染発生時の業務対応

市民サービスに支障が生じることがないようにするため、状況に応じて次の対応を段階的に行う。

- (1) 業務の調整（業務の日程調整等）
- (2) 課内での支援体制
- (3) 部・支所内での支援体制
- (4) 全庁的な支援体制

3 職員の感染一覧

事案	発生日	発生場所	業務への影響等	人数
1	R3.9.18	本庁舎勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1人
2	R3.9.22	本庁舎勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1人
3	R4.1.18	本庁舎勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1人
4	R4.1.19	本庁北分庁舎勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1人
5-1	R4.1.20	本庁東分庁舎勤務の職員	・本庁東分庁舎の一部の窓口を閉鎖 ・臨時窓口設置	1人
5-2	R4.1.20	まちづくりセンターの職員	閉館（1/22から閉館予定のところ1日前倒しで閉館）	1人
6	R4.1.22	本庁舎勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1人
7	R4.1.23	本庁舎1階勤務の職員	・本庁舎1階を閉鎖（2日間） ・臨時窓口設置	2人
8	R4.1.27	本庁舎2階勤務の職員	・本庁舎2階を閉鎖（3日間。土日含む。） ・臨時窓口設置	1人
9	R4.2.14	金城支所勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1人
10	R4.3.29	本庁舎勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1人

事案	発生日	発生場所	業務への影響等	人数
11	R4.3.29	本庁舎勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1 人
12	R4.3.29	本庁舎勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1 人
13	R4.5.10	三隅支所勤務の職員	市民サービスへの影響なし	1 人
14	R4.5.10	まちづくりセンターの職員	5/10～5/12 臨時休館	1 人
15	R4.6.1	本庁北分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
16	R4.7.10	弥栄支所勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
17	R4.7.10	西部消防署勤務の職員	消防業務への支障なし	1 人
18	R4.7.10	本庁北分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
19	R4.7.11	弥栄支所勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
20	R4.7.14	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
21	R4.7.15	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
22	R4.7.19	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
23	R4.7.19	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
24-1	R4.7.21	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
24-2	R4.7.21	本庁東分庁舎の職員	市役所業務への支障なし	1 人
25	R4.7.24	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
26	R4.7.26	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
27	R4.7.27	本庁北分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
28	R4.7.27	環境衛生施設勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
29-1	R4.7.29	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
29-2	R4.7.29	社会福祉関係施設勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
30	R4.7.30	金城支所勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
31	R4.8.1	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
32	R4.8.4	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
33	R4.8.4	東部消防署所属の職員	消防業務への支障なし	1 人

事案	発生日	発生場所	業務への影響等	人数
34	R4.8.5	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
35	R4.8.5	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
36	R4.8.7	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
37	R4.8.8	本庁北分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
38	R4.8.9	本庁西分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
39	R4.8.9	本庁北分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
40	R4.8.11	本庁西分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
41-1	R4.8.11	旭支所勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
41-2	R4.8.11	三隅支所(出先)勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
42	R4.8.14	三隅支所(出先)勤務の職員	市役所業務への支障なし	2 人
43	R4.8.15	社会福祉関係施設勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
44-1	R4.8.17	弥栄支所勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
44-2	R4.8.17	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
45-1	R4.8.18	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
45-2	R4.8.18	三隅支所勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
46-1	R4.8.19	環境衛生施設勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
46-2	R4.8.19	社会福祉関係施設勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
47	R4.8.19	東部消防署所属の職員	消防業務への支障なし	1 人
48-1	R4.8.19	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
48-2	R4.8.19	社会福祉関係施設勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
48-3	R4.8.19	まちづくりセンター勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
49	R4.8.22	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
50	R4.8.21	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
51	R4.8.23	浜田消防署所属の職員	消防業務への支障なし	1 人
52	R4.8.22	本庁北分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人

事案	発生日	発生場所	業務への影響等	人数
53	R4.8.23	社会教育施設勤務の職員	図書館業務への支障なし	1 人
54-1	R4.8.23	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
54-2	R4.8.24	旭支所勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
55	R4.8.26	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
56-1	R4.8.27	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
56-2	R4.8.28	市内社会福祉関係施設勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
56-3	R4.8.28	本庁北分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
56-4	R4.8.28	金城支所勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
56-5	R4.8.28	本庁北分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
57	R4.8.27	本庁東分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
58-1	R4.8.30	本庁東分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
58-2	R4.8.30	本庁北分庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
58-3	R4.8.30	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
59-1	R4.8.30	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
59-2	R4.8.31	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
59-3	R4.8.31	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
59-4	R4.8.31	三隅支所勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
60-1	R4.9.1	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
60-2	R4.9.1	本庁舎勤務の職員	市役所業務への支障なし	1 人
61	R4.8.31	東部消防署所属の職員	消防業務への支障なし	1 人
62	R4.9.2	東部消防署所属の職員	消防業務への支障なし	1 人
総合計(R3.9～)				84 人

コロナ禍の部活動中止の対応について

中学校部活動の一時停止の決定までの経緯について報告します。

1 中学校部活動の一時停止の概要

- (1) 期 間 令和 4 年 8 月 29 日（月）から 9 月 11 日（日）まで
(2) 内 容

通常の活動及び他校との交流を伴う練習試合・合同練習等の実施を停止する。
ただし、この期間中に開催される公式大会（中体連・中央競技団体等が主催するもの）への参加については、学校長が認めるもののみに可とする。なお、この場合においても、大会参加以外の活動（大会までの練習等を含む。）は停止対象とする。

【活動停止の理由】

島根県知事、島根県教育委員会教育長からの依頼内容及び市内の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、学校活動や学校行事に支障が生じないようにするため、感染拡大の要因の一つとなっている部活動について一時停止を行うことで、学校における感染防止を図る。

2 決定の経緯

(1) 令和 4 年 8 月 25 日(木)

① 島根県からの事前連絡等

島根県政策企画局政策企画監室より 8 月 26 日 10 時に行われる記者発表において中学校・高校の部活動の自粛要請が予定されているとの情報提供があった。また、島根県教育庁保健体育課から県立学校における部活動停止の通知文(案)の提供があった。

② 浜田市教育委員会の対応

中学校長へ島根県保健体育課からの情報を提供するとともに、中学校における新型コロナウイルス感染に伴う欠席状況と部活動の制限に対する影響や考え方について、聞き取りを行った。また、近隣の益田市、江津市、大田市の対応を確認し、その上で対応を協議し、市長とも協議を行った。

【結果】島根県知事の要請内容、市内の感染状況を踏まえ、要請を受ける方向性を確認した。

(2) 令和 4 年 8 月 26 日(金)

① 島根県からの要請

島根県知事、島根県教育委員会教育長の連名による「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校部活動の一時停止について（依頼）」の通知を受ける。

島根県知事の記者発表において「各市町に対して中学校部活動の一時停止に係る協力要請」が行われた。

② 浜田市教育委員会の対応

正式要請の内容と中学校からの意見を踏まえ、最終(案)の取りまとめ、市長協議を経て方針決定を行い、同日中に中学校長に対して通知を行った。

※中学校からの意見:校内において試合の有無により部活動に差が生じないように、停止する場合の生徒の公平性を図りたい。

また、市内スポーツ少年団、体育協会加盟団体、学校施設開放事業利用団体に対し、市の対応に準じた対応の検討を依頼する文書を送付した。



教 学 第 1242 号
令和 4 年 8 月 26 日

各中学校長 様

浜田市長 久保田 章 市

浜田市教育委員会
教育長 岡 田 泰 宏

中学校部活動の一時停止について（通知）

令和 4 年 8 月 26 日付け島教保第 192 号にて島根県知事及び島根県教育委員会教育長から部活動の一時停止の検討依頼がありました。

つきましては、県からの依頼内容及び市内の感染状況等を踏まえ、下記のとおり部活動を一時停止しますので、適切な対応をお願いします。

記

1 期間 令和 4 年 8 月 29 日（月）から 9 月 11 日（日）まで

2 内容

通常の活動及び他校との交流を伴う練習試合・合同練習等の実施を停止します。

ただし、この期間中に開催される公式大会（中体連・中央競技団体等が主催するもの）への参加については、学校長が認めるもののみ可とします。なお、この場合においても、大会参加以外の活動（大会までの練習等を含む。）は停止対象とします。

3 その他

(1) 県立高校における特例（10 月 11 日までに開催される大会等のための練習は 1 か月前から可）については、本市では適用しません。

【理由】同期間中に新人戦等の大会が集中しており、特例を適用すると多くの部活動で練習が継続でき、当初の目的である感染拡大防止につながらないため。

(2) 駅伝大会のための練習も停止対象とします。

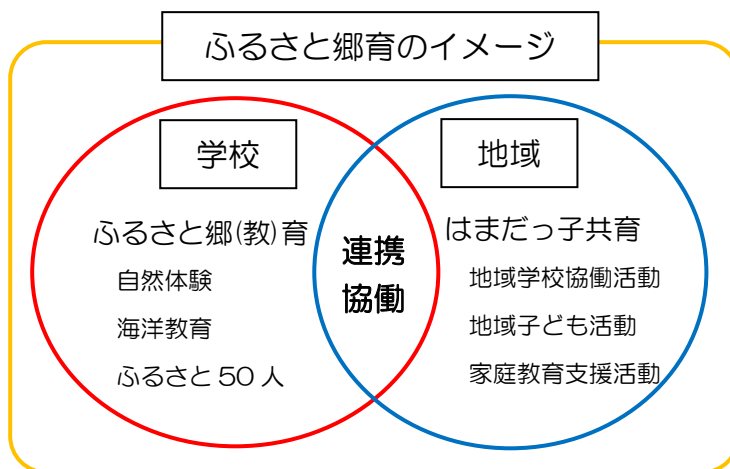
【連絡先】

浜田市教育委員会 学校教育課
担当：山口、上野
電話（0855）25-9710（直通）

ふるさとと郷育の現状について

1 ふるさとと郷育とは

子どもたち及び市民の郷土愛をより高く醸成し、地域で活躍する人材を育成するために、平成 27 年度よりふるさと教育の「教」の字を「郷里」の「郷」の字に置き換え、学校教育及び社会教育の両面から取り組んでいる施策です。



2 事業費の推移について

単位：千円

	R1	R2	R3	R4(予算額)
ふるさと郷育推進事業	11,976	6,855	9,773	5,129
はまだっ子共育推進事業	6,489	4,922	4,554	10,549
合計	18,465	11,777	14,327	15,678
対前年度比	0	▲ 6,688	2,550	1,351
主な増減要因	前年度の繰越分3,769千円含む(「ふるさと50人」増刷分) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業中止等による 「ふるさと50人」増刷 ふるさと郷育推進事業内のまちづくりセンターに関する事業費をはまだっ子共育推進事業へ移行拡充			

3 令和 3 年度の主な取組

【学校】原井小学校

海洋都市・浜田の未来をえがこう



海洋教育として、総合的な学習の中で水産業や海の仕事に携わる方の話を聞き、新たな気づきや学びをとおして、「海洋都市・浜田の未来」について生徒自らが考え、海の自然や資源を活用した取組について提案発表を行った。

【地域】三保まちづくりセンター

三保の豊かな自然で防災デイキャンプ！子どもも大人もつながろう！



地域の子どもから大人までが集い、体験活動をとおして、交流を図り、自然への愛着を育めるよう、まちづくりセンターと地区まちづくり推進委員会が連携して「防災」をテーマとした事業を企画した。

4 成果及び今後の方針について

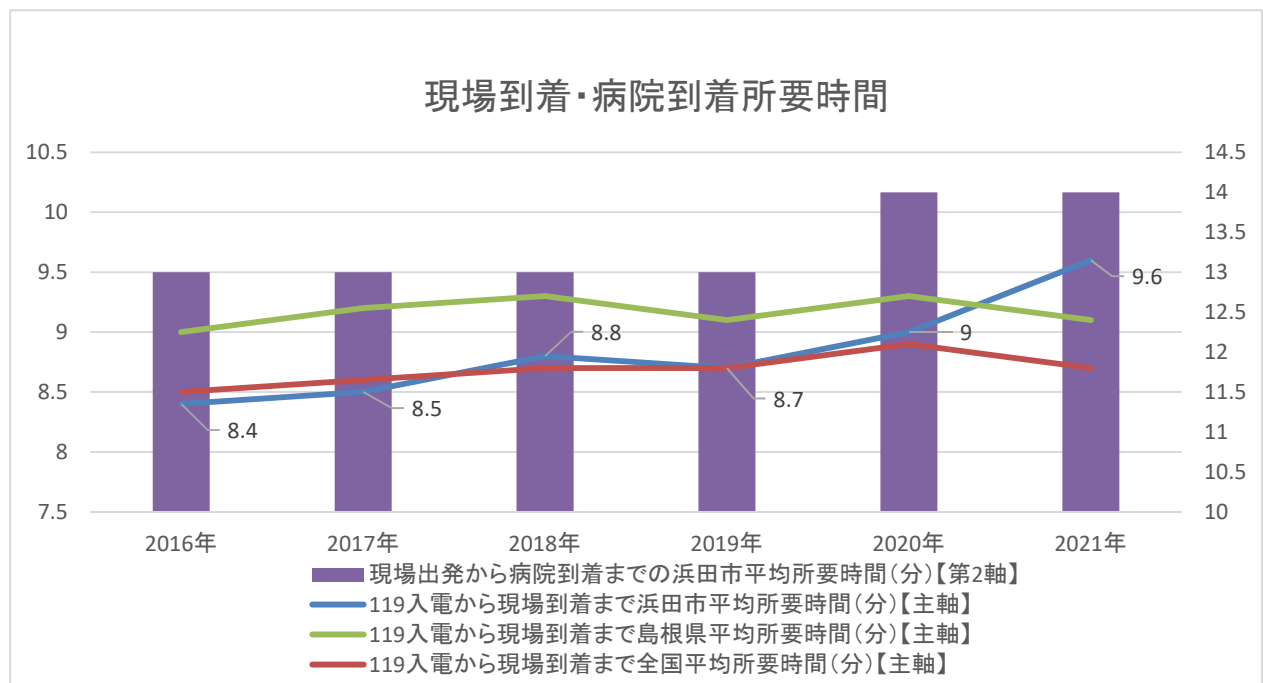
学校だけでなく、住んでいる地域においても各種事業を通じて様々な「ひと・もの・こと」に触れることにより、子どもたちのふるさとへの愛着が育まれています。また、それに関わる市民の皆さんの郷土愛の向上にもつながっています。

新しい時代に求められている資質や能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現を図るため、これまで以上に学校と地域の連携・協働を推進していきます。

救急搬送の現状について

救急出動件数

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
浜田市	2,824	3,025	3,060	2,913	2,754	2,839



119 入電から現場到着まで

最大：63 分

理由：豪雨により孤立した現場に行くため、重機を使用し道路上にある堆積物を除去しながら現場に至る。

※ 上記の期間中、現場到着までに交通事故による遅延はないが、通行障害による遅延あり。

現場出発から病院到着まで

最大：71 分

理由：現場出発後ドクターヘリと合流。医師の治療後に医療機関へ搬送。

※ 上記の期間中、現場出発から病院到着までに交通事故や通行障害による遅延はなし。